

建築分野におけるBIMの活用・普及 状況の実態調査 確定値 < 詳細 > (令和4年12月 国土交通省調べ)

- 建築分野における現時点のBIMの活用・普及状況を確認するため、アンケートによる下記の実態調査を実施。
 - アンケート名
令和4年度 BIMの活用状況・普及拡大に関するアンケート
 - 調査目的
現時点での建築分野におけるBIMの活用状況や活用における課題等を把握・整理、令和2年度調査との比較により、普及状況と今後の普及に向けた課題について分析
 - 実施時期
令和4年11月17日～令和4年12月16日
 - 実施方法
建築BIM推進会議に参加する下記の13団体に、広く会員の回答を依頼。
特に、団体ごとに各会員の関係部署単位での回答を依頼。

団体名		回答依頼部署	団体名		回答依頼部署
設計関係 団体 (7団体)	(公社) 日本建築士会連合会	意匠設計関連部署	施工関係 団体 (4団体)	(一社) 日本建設業連合会	①設計関連部署 ②施工関連部署
	(一社) 日本建築士事務所協会連 合会			(一社) 全国建設業協会	施工関連部署
	(公社) 日本建築家協会			(一社) 日本空調衛生工事業協会	空調衛生工事関連部署
	(一社) 日本建築構造技術者協会	(一社) 日本電設工業協会		電気設備工事関連部署	
	(一社) 日本設備設計事務所協会 連合会	設備設計関連部署	維持管理・ 発注者 関係団体等 (2団体)	(一社) 住宅生産団体連合会	戸建住宅関連部署
	(一社) 建築設備技術者協会			(公社) 日本ファシリティマネジ メント協会	ファシリティマネジメン ト関連部署
	(公社) 日本建築積算協会	積算業務関連部署			

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート（R4年12月 国土交通省調べ）

■アンケート調査全体の配布・回収状況

	配布数	回収数	回収率
アンケート調査全体	2,552	696 ^{※1}	27.3%

 ■13団体別の配布・回収状況^{※3}

	配布数	回収数	回収率
(公社) 日本建築士会連合会	94	23	24.5%
(一社) 日本建築士事務所協会連合会	107	60	56.1%
(公社) 日本建築家協会	36	22	61.1%
(一社) 日本建築構造技術者協会	125	23	18.4%
(一社) 日本設備設計事務所協会連合会	847	138	16.3%
(一社) 建築設備技術者協会	217	37	17.1%
(公社) 日本建築積算協会	20	2	10.0%
(一社) 日本建設業連合会	19	43 ^{※2}	226.3%
(一社) 全国建設業協会	472	221	46.8%
(一社) 日本空調衛生工事業協会	94	34	36.2%
(一社) 日本電設工業協会	294	57	19.4%
(一社) 住宅生産団体連合会	15	11	73.3%
(公社) 日本ファミリーマネジメント協会	212	14	6.6%
13団体合計	2,552	685 ^{※1}	26.8%

※1：所属団体未記載の回答票(11票)があり、合計数が相違している。

※2：同一企業の別部署（例えば設計部と施工部等）からの回答が含まれるため、回収数が上回っている。

※3：同一回答者で、複数の団体から同じ回答を提出している場合は、1件のみを有効回答としている。

アンケート調査項目

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R4年12月 国土交通省調べ)

企業	Q1-1	属性 (大分類)
	Q1-2	属性 (専門設計事務所)
	Q1-3	属性 (専門工事会社)
	Q1-4	規模 (従業員数)
所属部署	Q2-1	アンケート調査回答者の所属部署
	Q2-2	規模 (職員数)
	Q2-3	所在地 (都道府県)
	Q2-4	受注案件に占める公共工事の割合
企業	Q3	所属する企業におけるBIMの導入状況

Q3で「①導入している (BIMソフトとBIMを活用できるJPC等を購入済み)」と回答

Q3で②「導入していない」と回答

企業	QII-1	今後のBIMの導入について
	QII-2	BIMの導入に至らない理由
	QII-3	今後BIMの導入を決断する契機
	QII-4	「建築BIM推進会議」の取組とwebサイトに対する認識
	QII-5	「建築BIMの将来像と工程表」に対する認識
	QII-6	「BIMガイドライン (第2版)」に対する認識

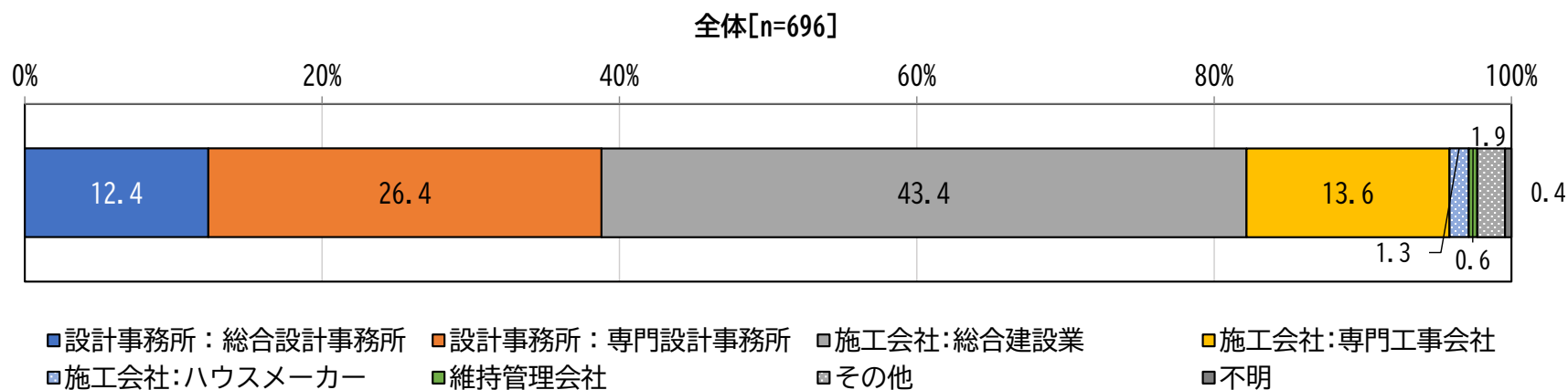
- 過年度調査から青色 の項目を追加
- 過年度調査の緑色 の設問・選択肢を精査
※変更点については第13回建築BIM環境整備部会資料4を参照

所属部署	Q4	BIMを導入した時期
	Q5	BIMを導入した背景やきっかけ
	Q6	Q5の背景やきっかけに対する、現時点の所属部署でのBIMの活用の成果に係る評価
	Q7	BIMを活用している人数の割合
	Q8	主にBIMを活用する建築物やプロジェクトの特徴
	Q9	主にBIMを活用する建築物の用途
	Q10	主にBIMを活用する建築物の構造種別
	Q11	過去1年に受託した案件のうち、BIMを活用している案件の割合
	Q12	BIMの活用状況
	Q13	Q12で「②積極的には活用していない」を選択した理由
	Q14	BIMを活用しているフェーズ等
	Q15	BIMの導入によりメリット・効果が得られたと実感できる場面
	Q16	BIMの導入によるメリット・効果が得られていないと感じる場面
	Q17	BIMを活用したことによるメリット・効果の程度
	Q18	自社内の他部署又は社外とのデータ連携の有無
	Q19	Q18で「①ある」を選択した場合の具体的なデータ連携
	Q20	Q19で「②社外とのデータ連携」を選択した場合の具体的なデータ連携の内容
	企業	Q21
Q22		Q21で「①ある」を選択した場合の具体的なCDE環境構築の内容
Q23		プロジェクト完了後のBIMデータの保管に関する社内ルールの有無
Q24		BIMデータの権利 (著作権や所有権) とBIM活用の推進の関係についての意見や考えの有無
Q25		Q24で「①ある」を選択した場合の具体的な意見や考え
Q26		BIMを活用する人材の充足状況
Q27		BIMの活用を推進するにあたって、今後、求められる人材についての意見や考えの有無
Q28		Q27で「①ある」を選択した場合の求められる人材
Q29		BIMを活用する人材を育成するための教育に必要な期間
Q30		BIMに関する教育の取組の有無
Q31		Q30で「①ある」を選択した場合の「BIMに関する教育の取組」の具体的な内容
回答者の考え	Q32	BIMの活用を推進するにあたり、行っている取組の有無
	Q33	Q32で「①ある」を選択した場合の「BIMの活用推進に向けた取組」の具体的な内容
	Q34	国内でBIMの普及を図る上で、今後の展開に特に期待すること
	Q35	「建築BIM推進会議」の取組とwebサイトに対する認識
	Q36	「建築BIMの将来像と工程表」に対する認識
	Q37	「BIMガイドライン (第2版)」に対する認識
	設計 または 工事監理 担当部署	Q38
Q39		Q38で「①ある」を選択した場合の具体的な活用方法
Q40		設計・工事監理における、BIM活用により追加的に発生している業務の有無
Q41		Q40で「①設計で、追加的に発生している業務がある」場合の具体的な内容とその位置づけ (契約との関係等)
Q42		Q40で「②工事監理で、追加的に発生している業務がある」場合の具体的な内容とその位置づけ (契約との関係等)

集計結果(単純集計) 基礎情報①

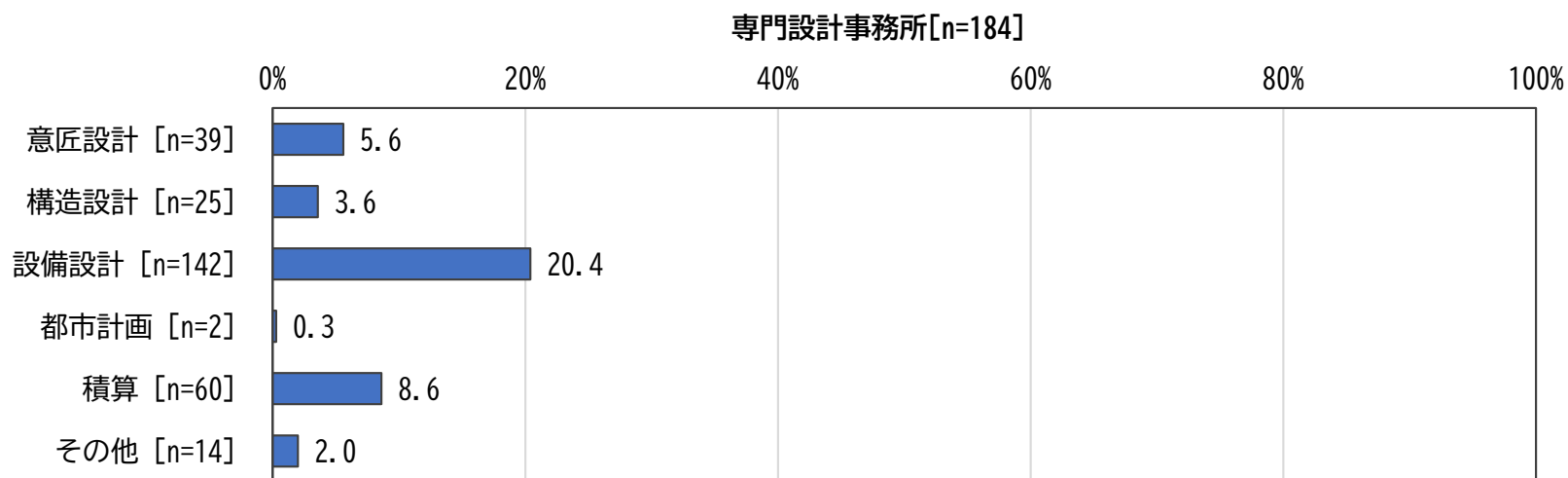
建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R4年12月 国土交通省調べ)

Q1-1:企業の属性 (単一回答/%)



・企業の属性(大分類)としては「総合建設業」の回答が最も多い。

Q1-2:「設計事務所:専門設計事務所」における専門分野 (複数回答/%)

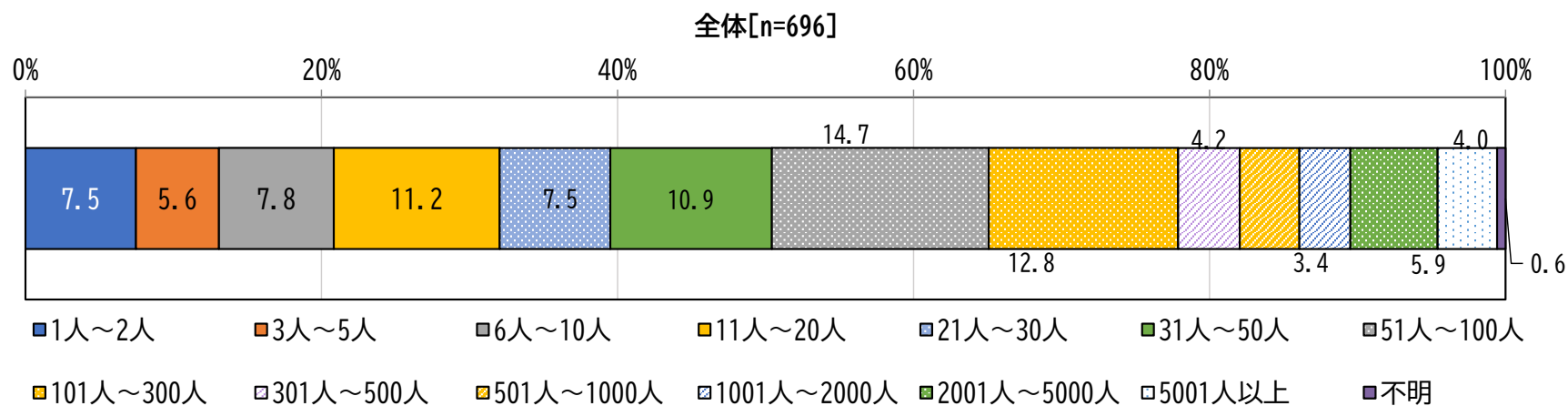


・企業の属性(専門設計事務所)としては「設備設計」の回答が最も多い

Q1-3:「施工会社:専門工事会社」における建設業許可を得た工事種別(自由回答)

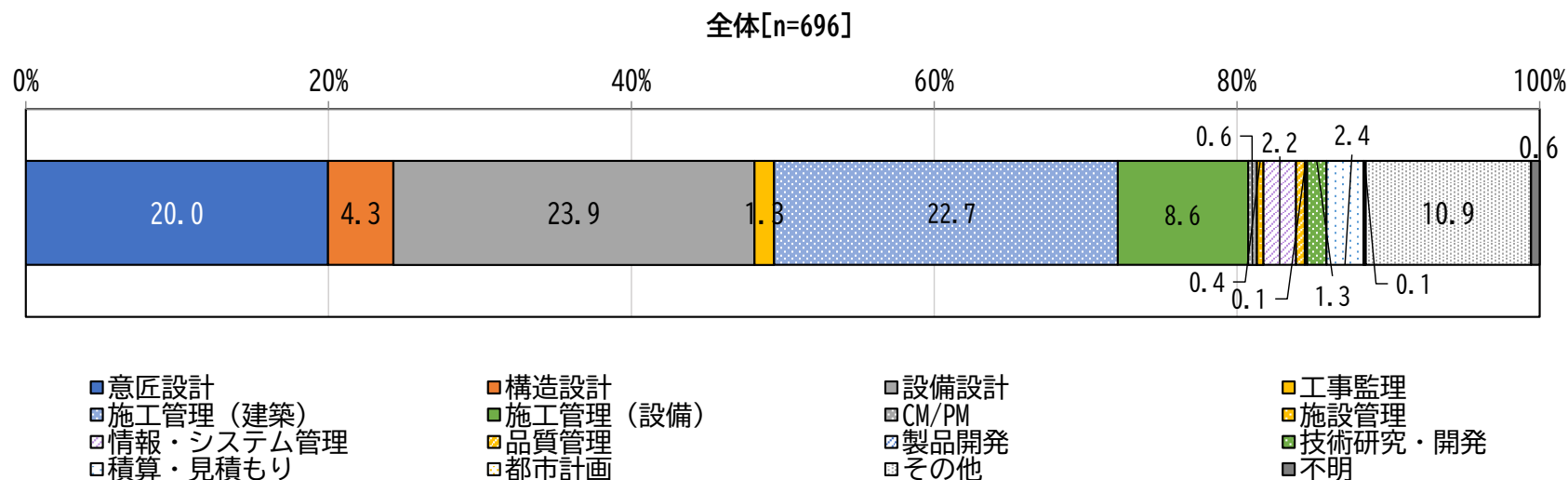
- 電気工事
 - 管工事
 - 建築一式工事
- などの回答が多くあった。

Q1-4:所属企業の規模(従業員数)(単一回答/%)



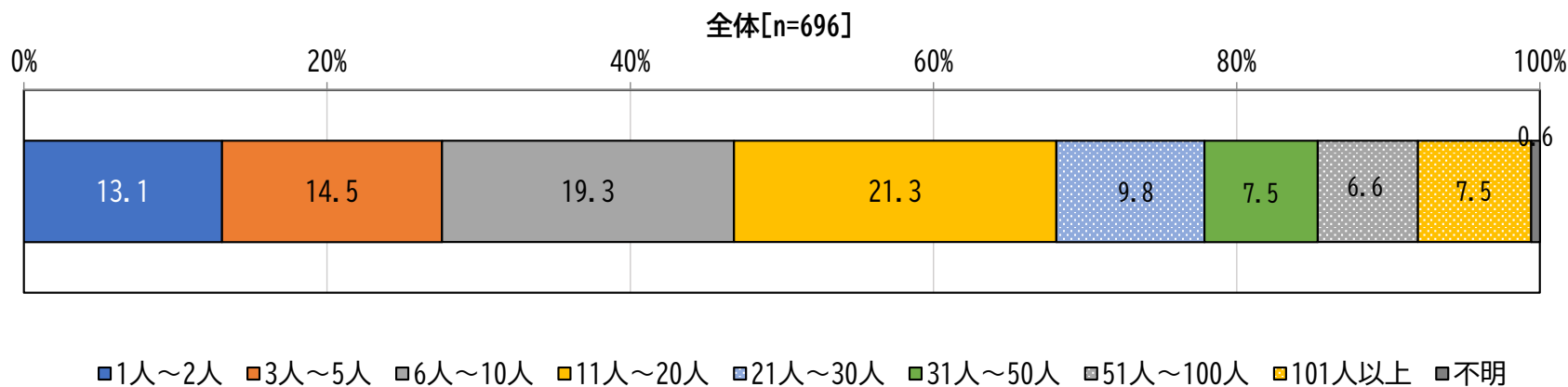
・企業の規模(従業員数)としては「51-100人」の回答が最も多い。

Q2-1:所属部署の主な業務内容 (単一回答/%)



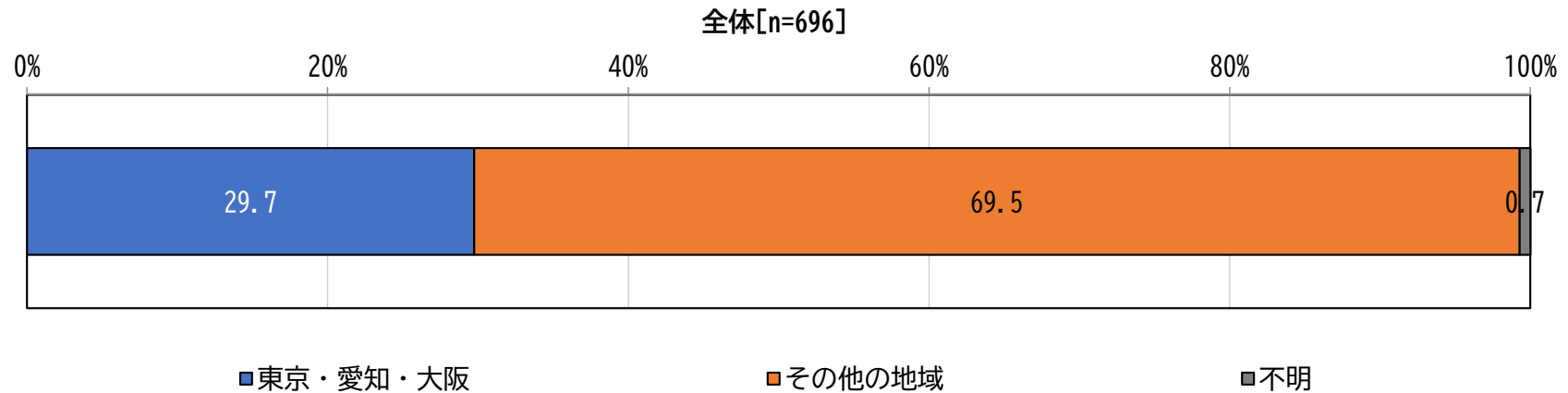
・所属部署としては「設備設計」の回答が最も多い。

Q2-2:所属部署の規模(職員数) (単一回答/%)



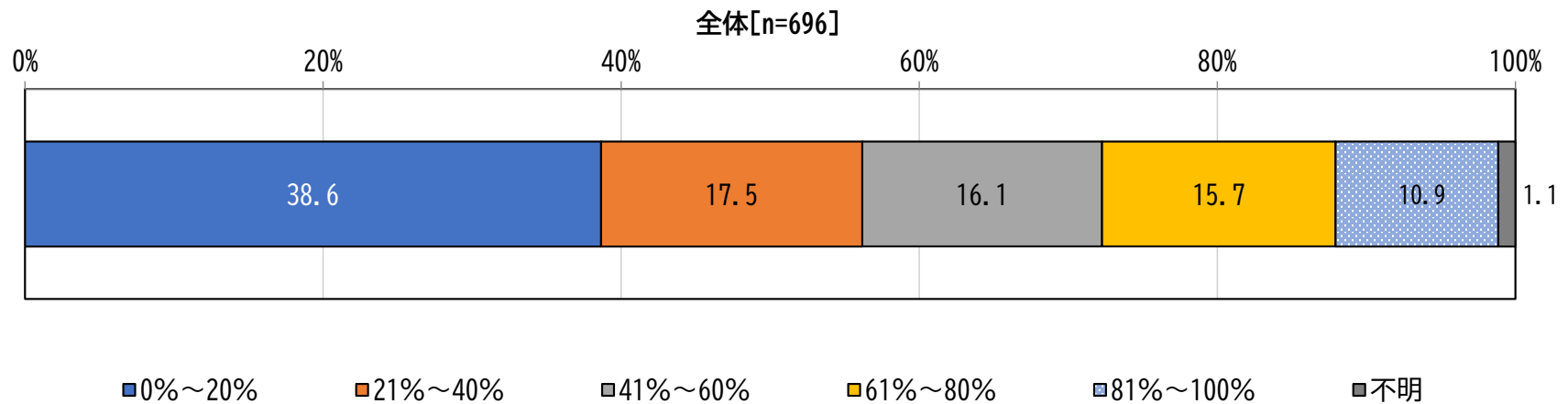
・所属部署の規模(職員数)としては「11人~20人」の回答が最も多い。

Q2-3:所属部署の所在地(都道府県) (単一回答/%)



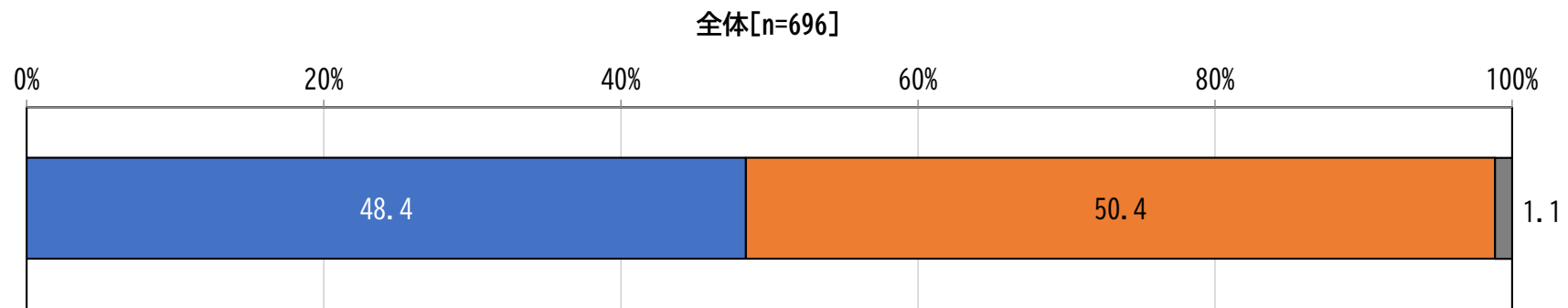
・所属部署の所在地としては東京・愛知・大阪が29.7%に対し、そのほかの地域が69.5%。

Q2-4:所属部署における受注件数に占める公共工事の割合(単一回答/%)



・受注案件に占める公共工事の割合としては「0%~20%」の回答が最も多い。

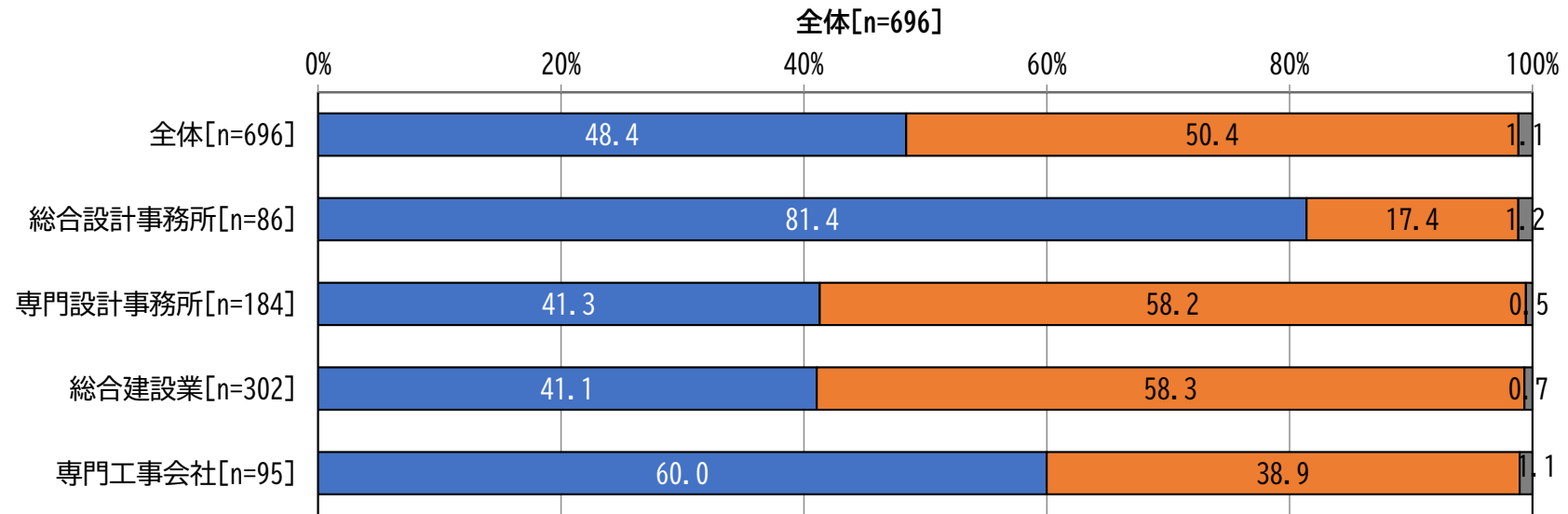
Q3:所属する企業におけるBIMの導入状況 (単一回答/%)



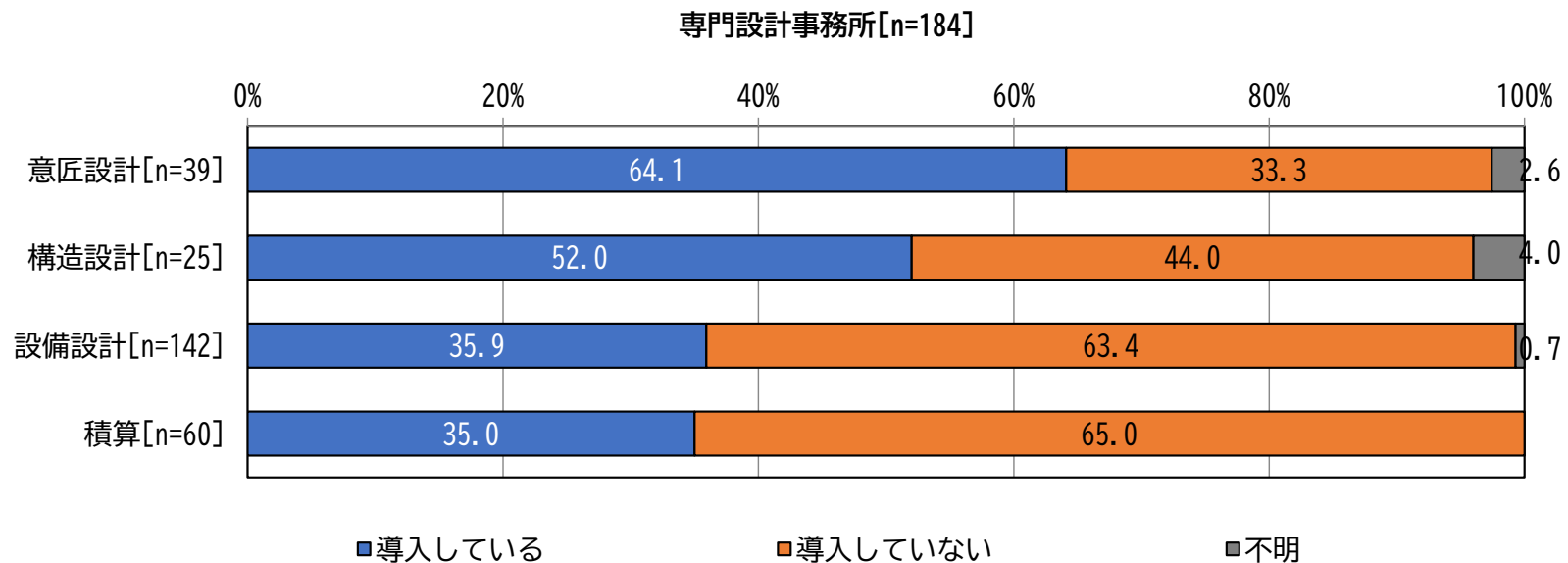
■ 導入している (BIMソフトとBIMを活用できるコンピュータ等を購入済み) ■ 導入していない ■ 不明

・BIMの導入状況としては「導入している」が48.4%に対し、「導入していない」が50.4%。

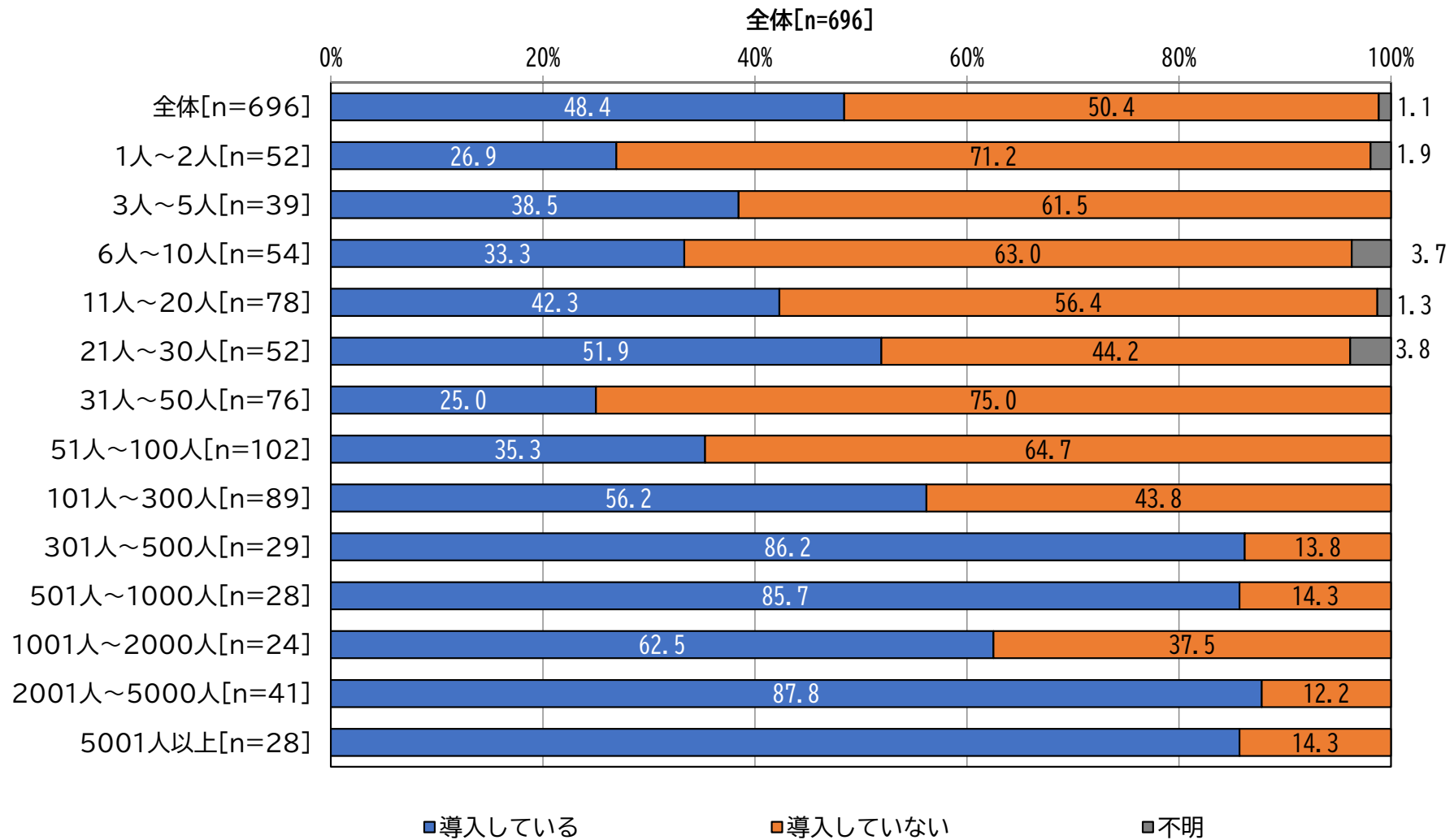
クロス集計:Q1-1,Q1-2 企業の属性×Q3 所属する企業(所属部署)におけるBIMの導入状況



<専門設計事務所の主な内訳>



クロス集計:Q1-4 所属する企業の規模(従業員数)×Q3 所属する企業におけるBIMの導入状況

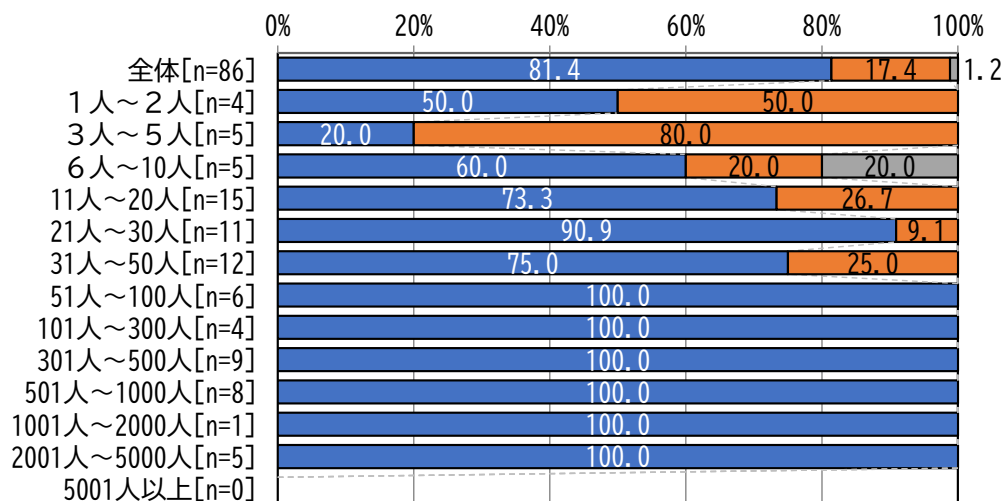


集計結果(クロス集計・企業規模別) BIMの導入状況

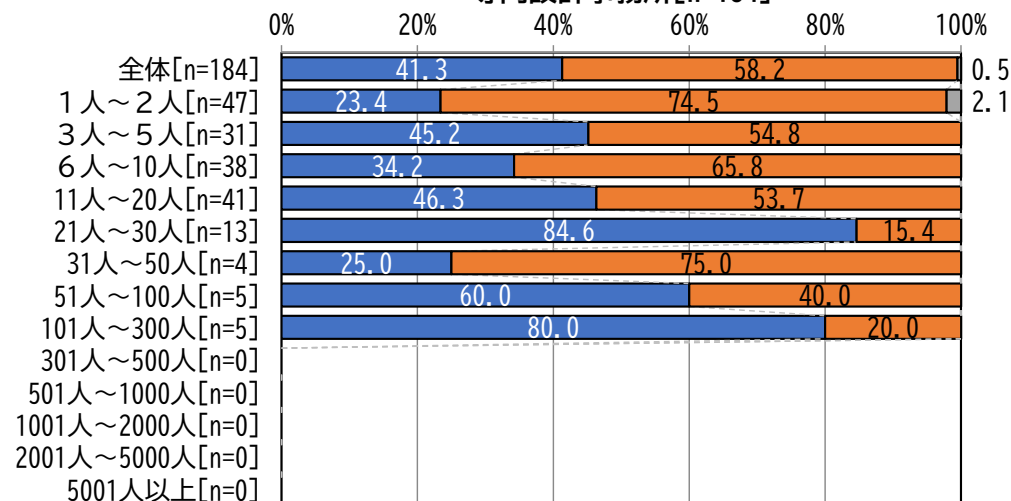
建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R4年12月 国土交通省調べ)

クロス集計:Q1-1 企業の属性(大分類) × Q1-4 所属する企業の規模(従業員数) × Q3 所属する企業におけるBIMの導入状況

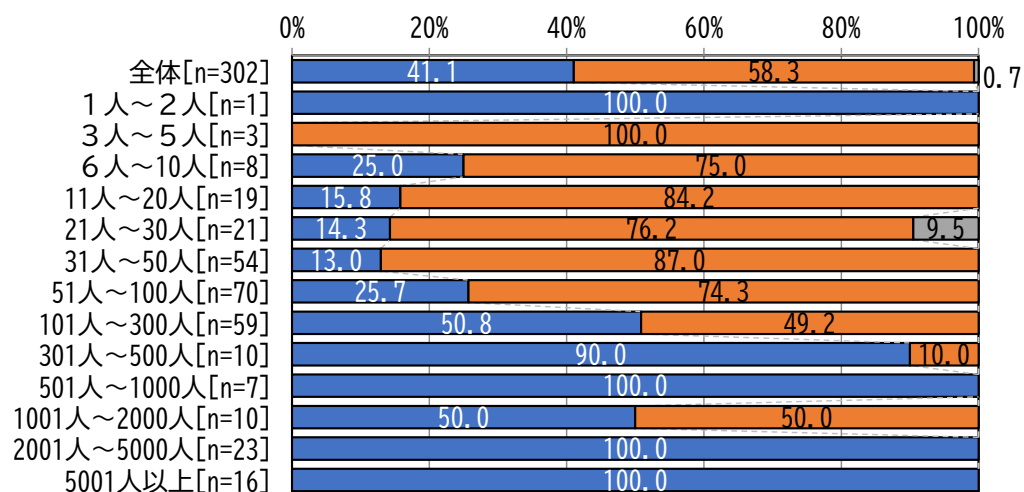
総合設計事務所[n=86]



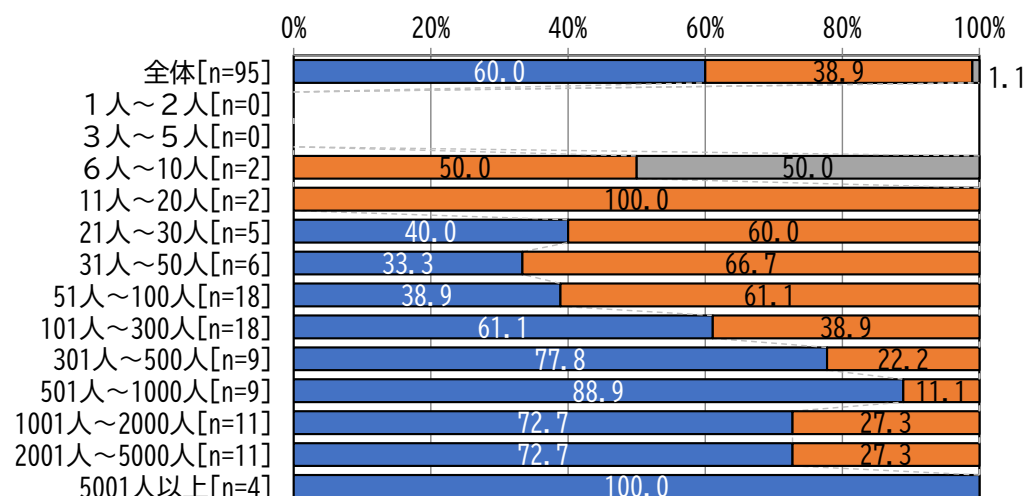
専門設計事務所[n=184]



総合建設業[n=302]

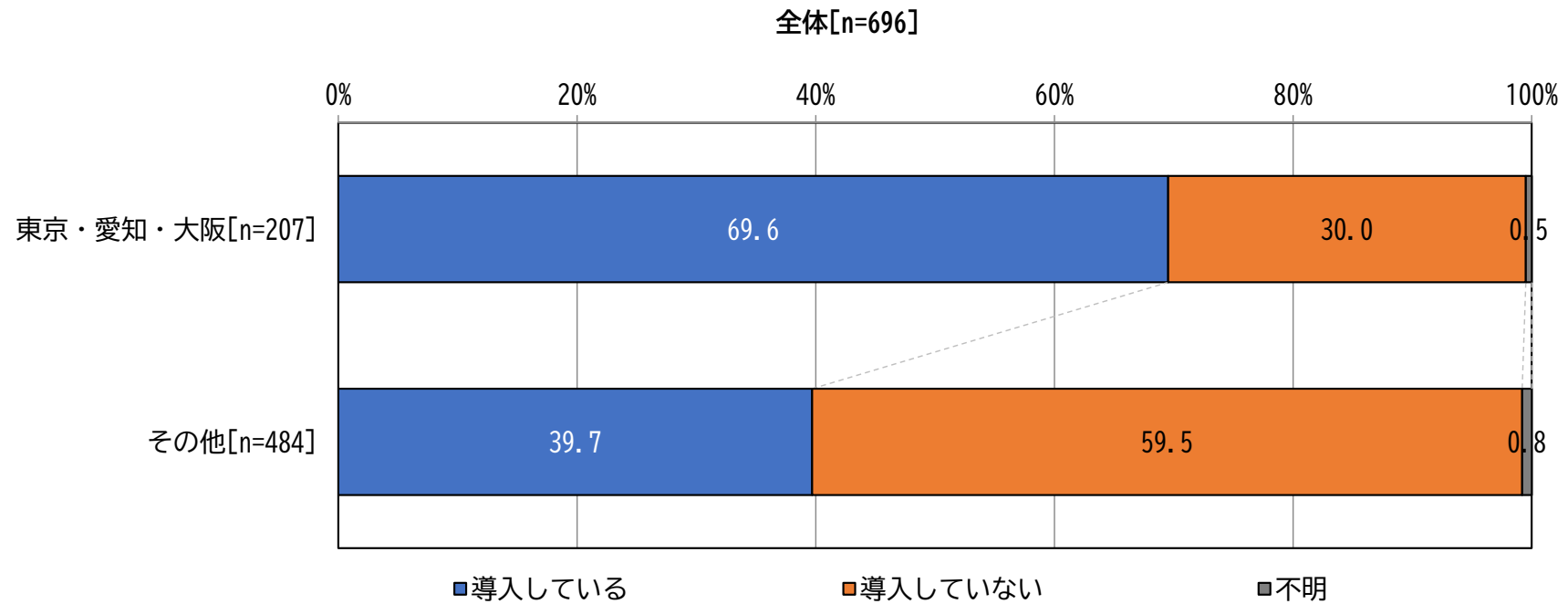


専門工事会社[n=95]

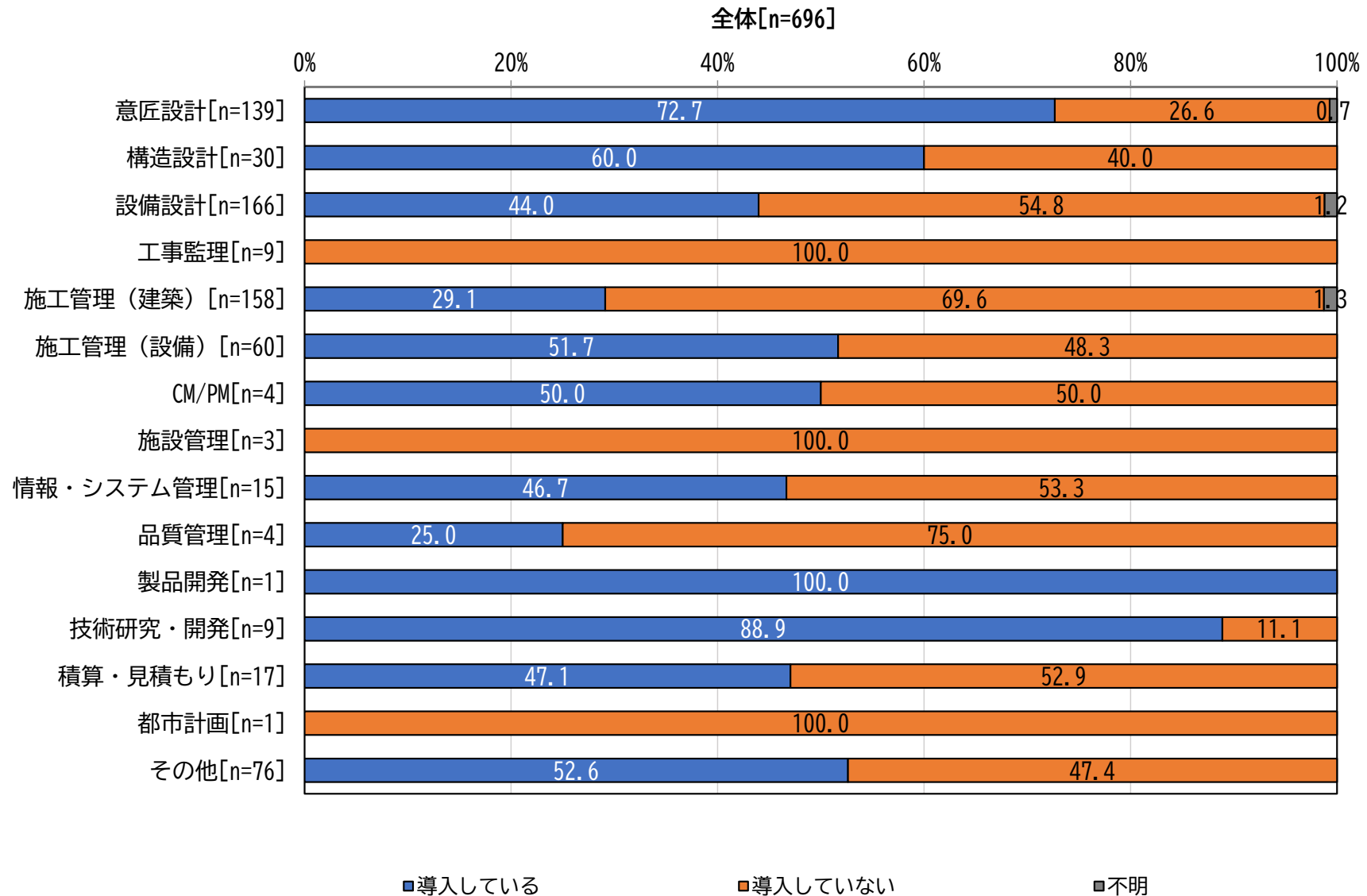


■導入している ■導入していない ■不明

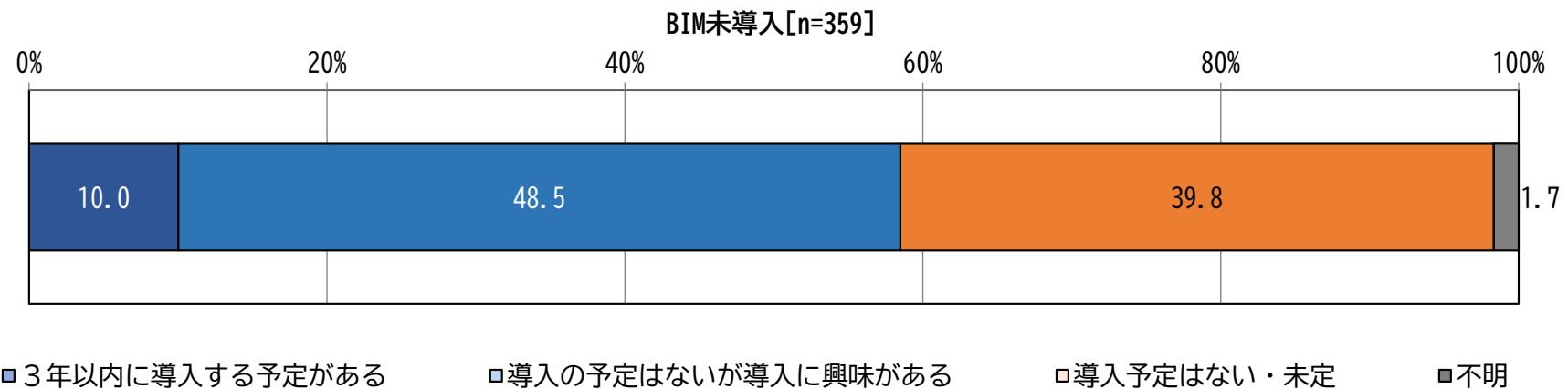
クロス集計:Q2-3 所属部署の所在地(都道府県)×Q3 所属する企業(所属部署)におけるBIMの導入状況



クロス集計: Q2-1 アンケート調査回答者の所属部署× Q3 所属する企業におけるBIMの導入状況

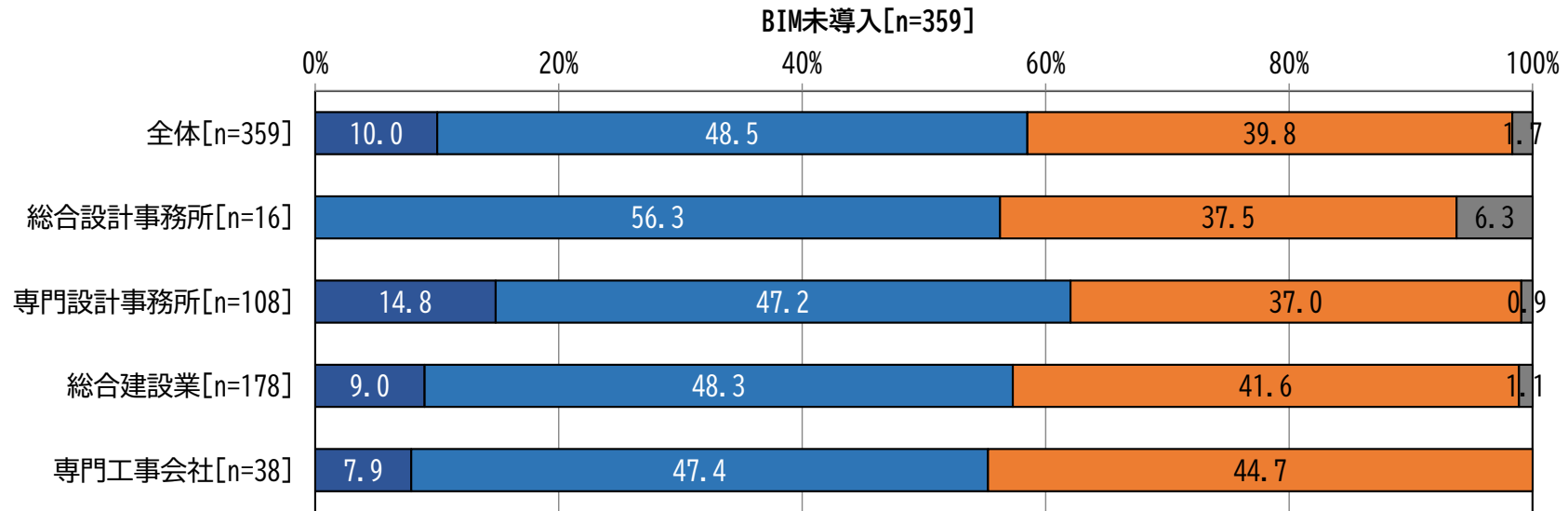


Q II-1: 今後のBIMの導入(単一回答/%)

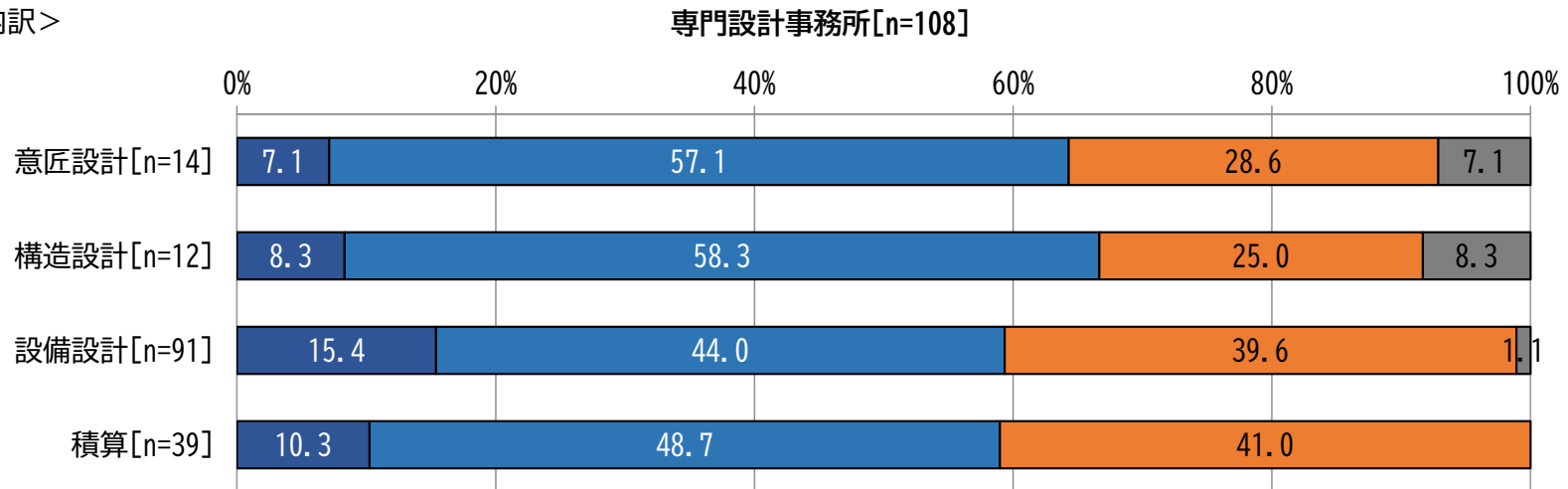


・今後のBIM導入の意向としては「導入の予定はないが導入に興味がある」の回答が最も多い。

クロス集計:Q1-1,Q1-2 企業の属性×QII-1 今後のBIMの導入について



<専門設計事務所の主な内訳>

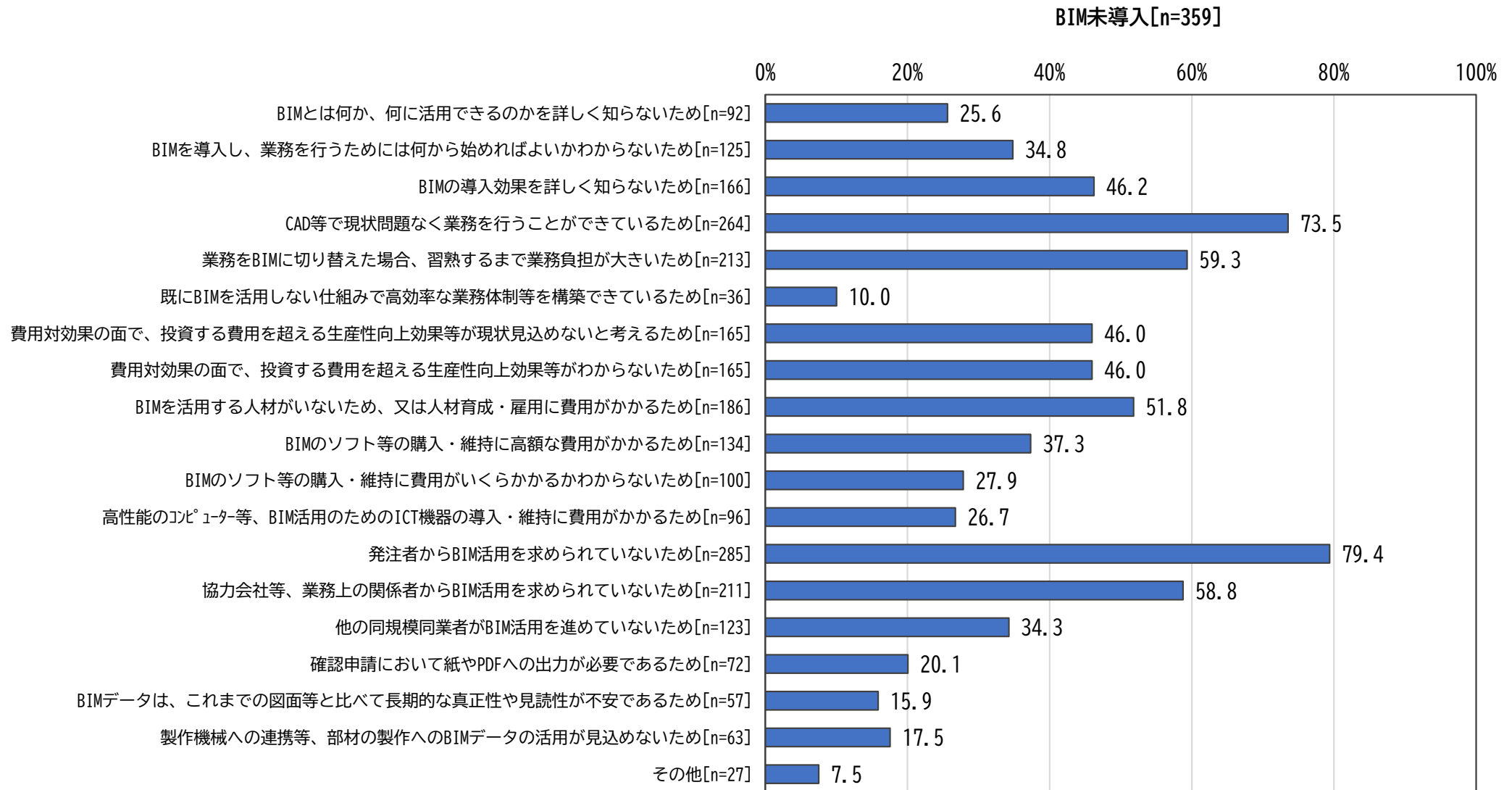


■ 3年以内に導入する予定がある ■ 導入の予定はないが導入に興味がある ■ 導入予定はない・未定 ■ 不明

集計結果(単純集計) BIMを導入していない企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R4年12月 国土交通省調べ)

Q II - 2 : BIMの導入に至らない理由 (複数回答/%)

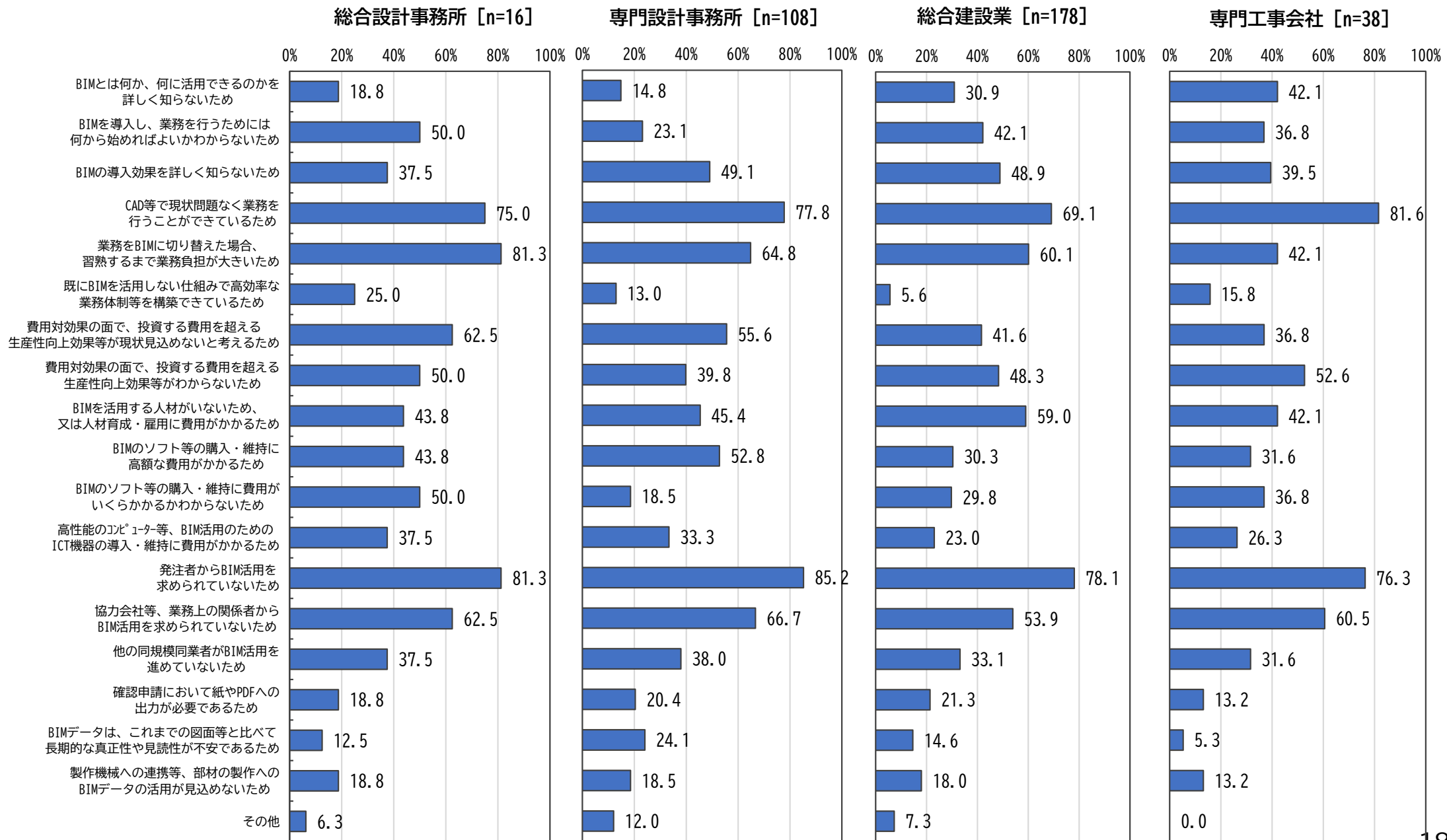


・ BIMの導入に至らない理由としては「発注者からBIM活用を求められていないため」の回答が最も多い。

集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入していない企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R4年12月 国土交通省調べ)

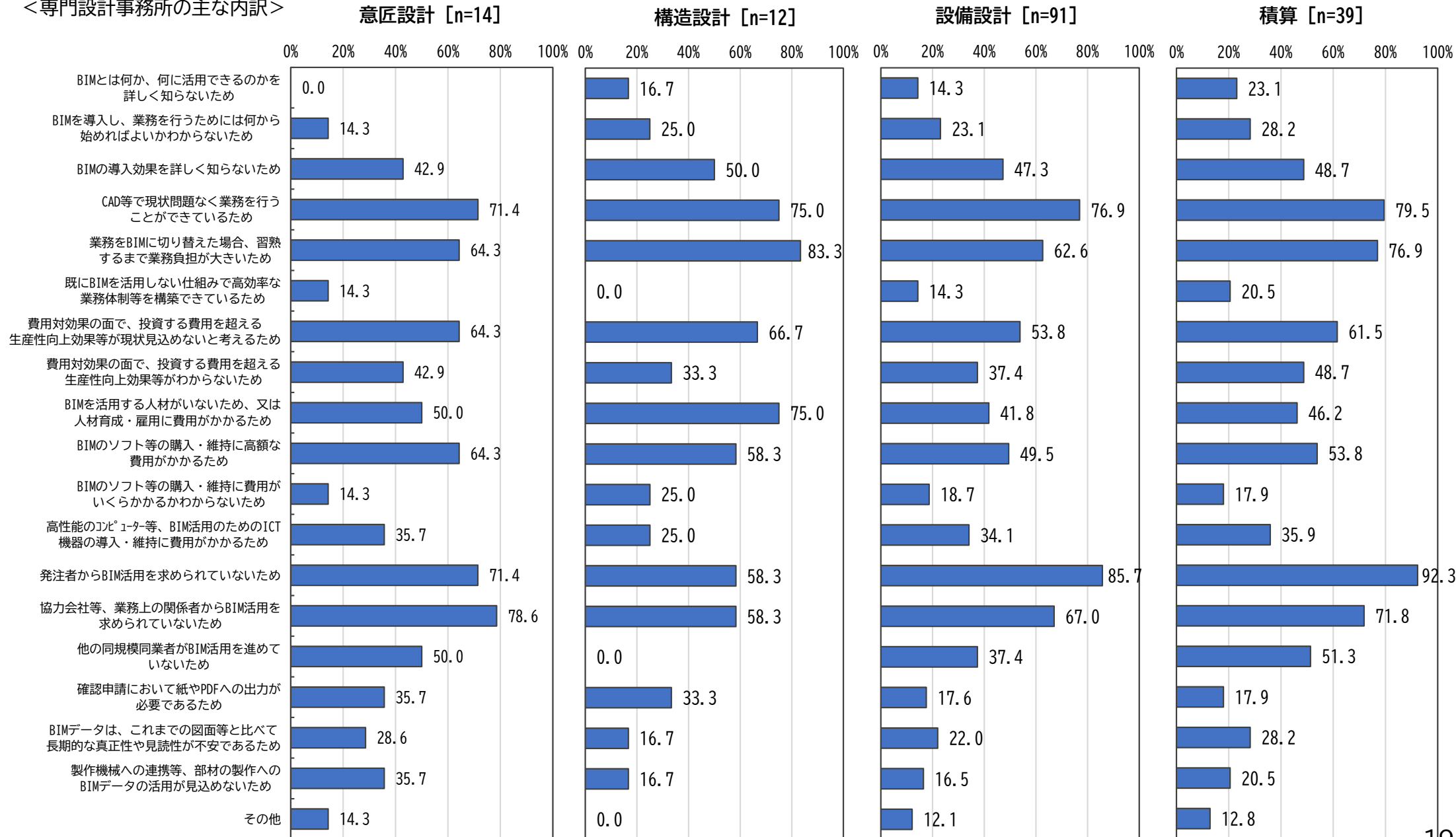
クロス集計:Q1-1 企業の属性(大分類)×QII-2 BIMの導入に至らない理由(%)



集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入していない企業

クロス集計:Q1-2 企業の属性(専門設計事務所の専門分野)×QII-2 BIMの導入に至らない理由(%)

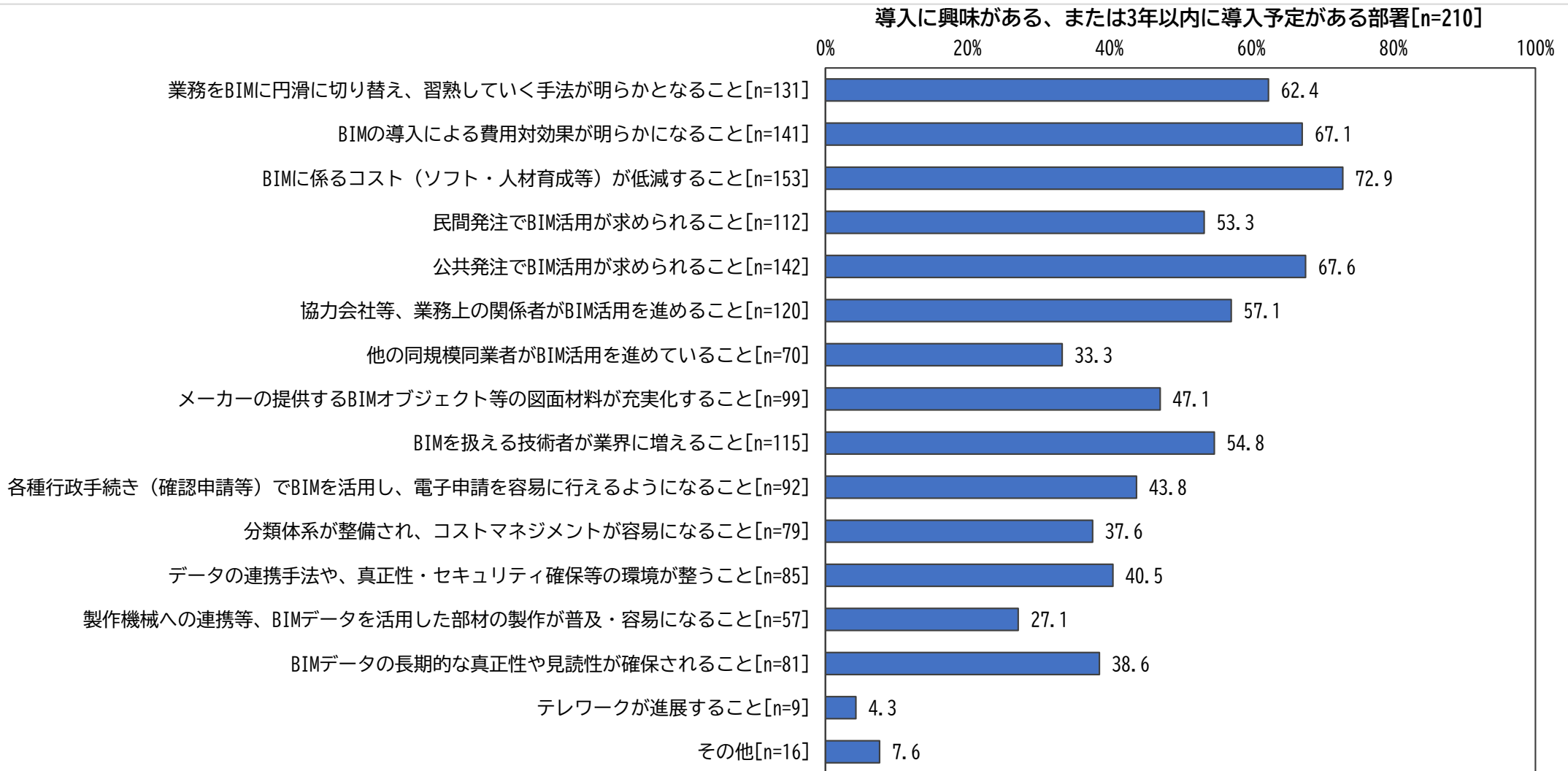
<専門設計事務所の主な内訳>



集計結果(単純集計) BIMを導入していない企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R4年12月 国土交通省調べ)

QⅡ-3: QⅡ-1で「②導入の予定はないが導入に興味がある」「③3年以内に導入する予定がある」を選択した場合、今後BIMの導入を決断する契機として考えられるもの(複数回答/%)

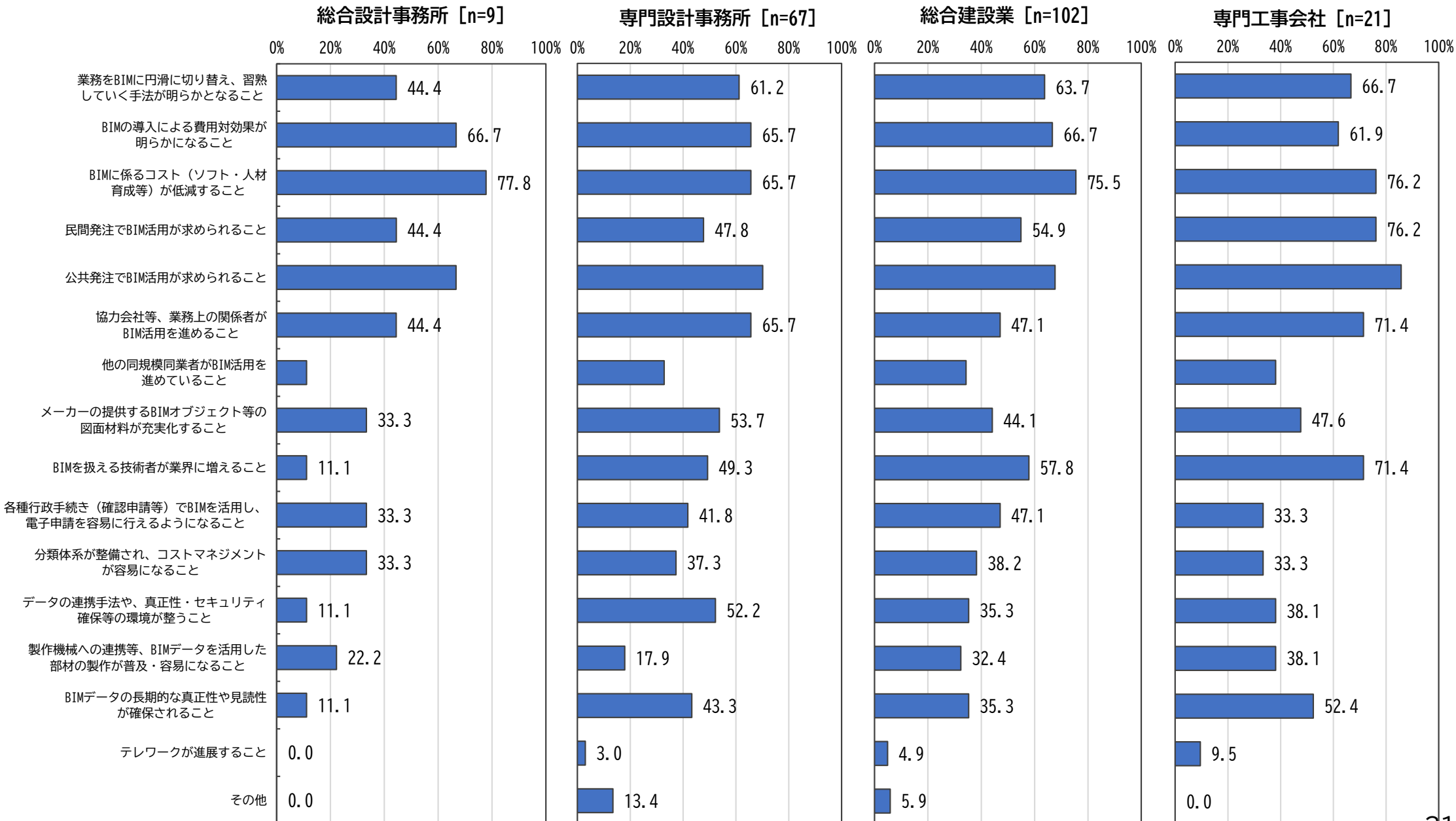


・導入に興味がある企業については、今後BIMの導入を決断する契機としては「BIMに係るコスト(ソフト・人材育成等)が低減すること」の回答が最も多い。

集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入していない企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R4年12月 国土交通省調べ)

クロス集計:Q1-1 企業の属性(大分類)×QII-3 QII-1で「②導入の予定はないが導入に興味がある」
「③3年以内に導入する予定がある」を選択した場合、今後BIMの導入を決断する契機



集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入していない企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R4年12月 国土交通省調べ)

クロス集計: Q1-2 企業の属性(専門設計事務所の専門分野) × QII-3 QII-1で「②導入の予定はないが導入に興味がある」「③3年以内に導入する予定がある」を選択した場合、今後BIMの導入を決断する契機

<専門設計事務所の主な内訳>

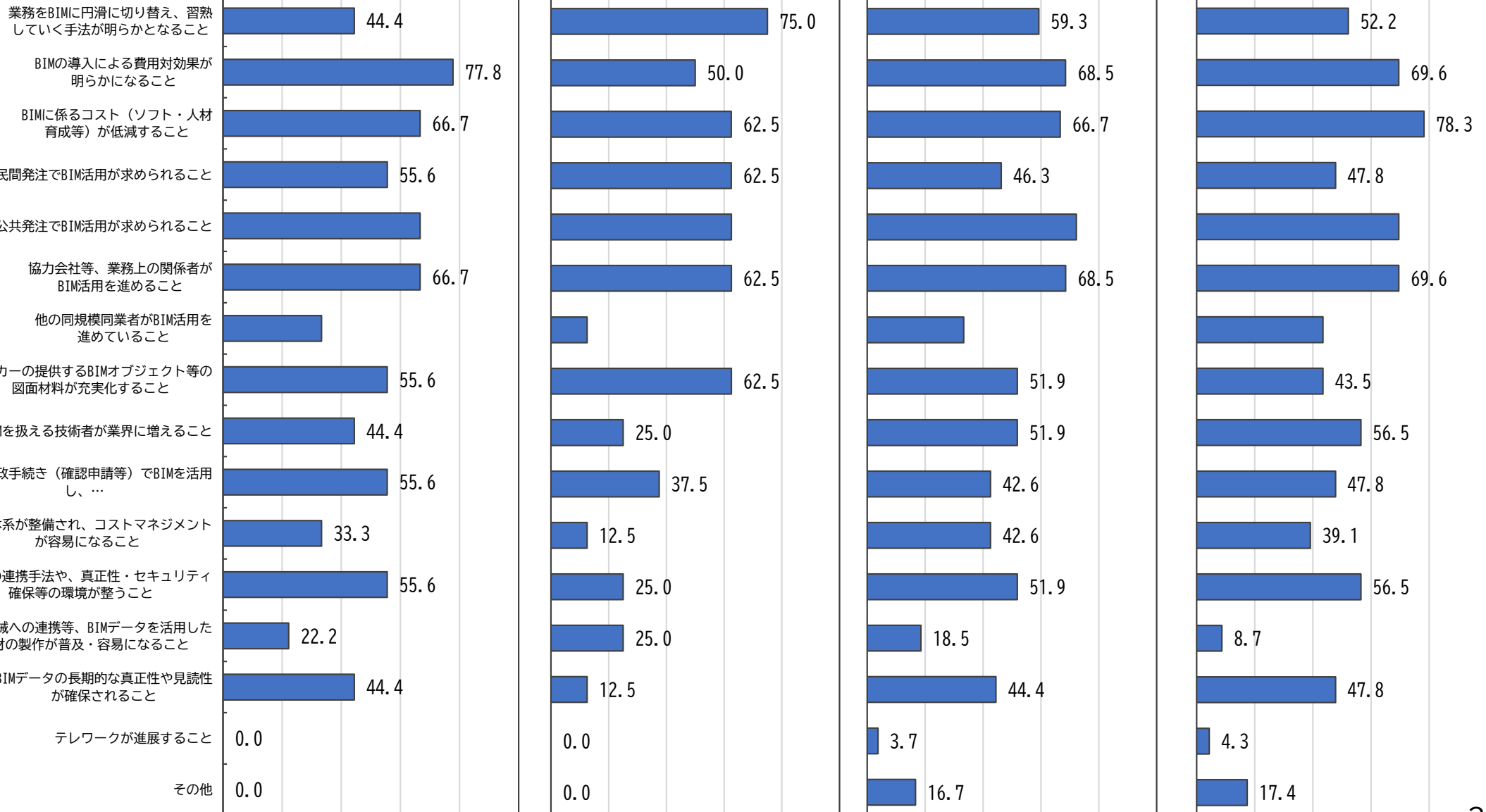
意匠設計 [n=9]

構造設計 [n=8]

設備設計 [n=54]

積算 [n=23]

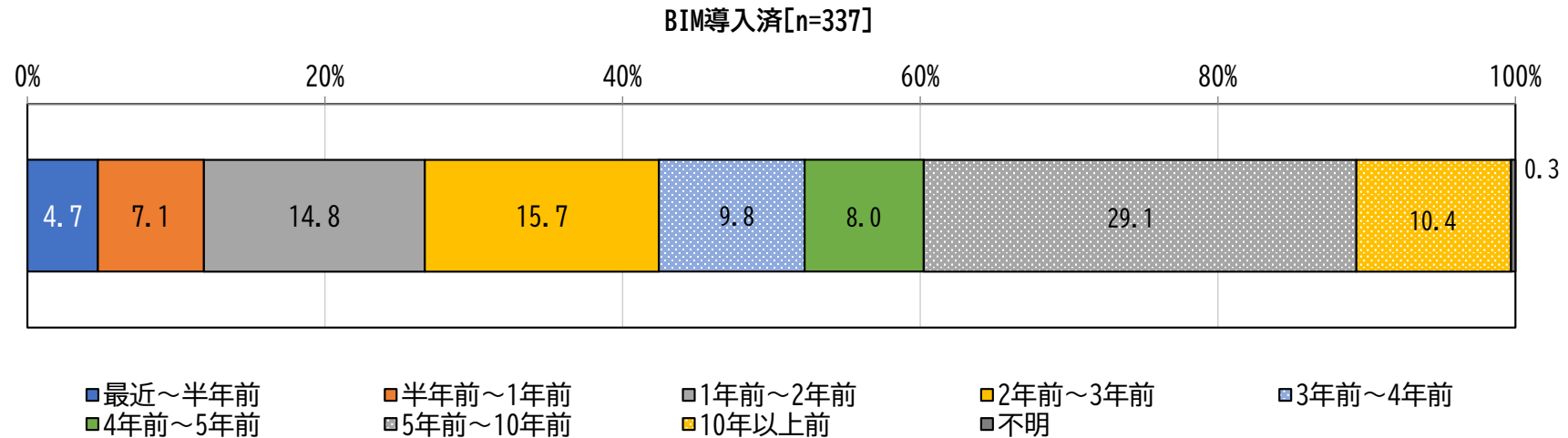
0% 20% 40% 60% 80% 100% 0% 20% 40% 60% 80% 100% 0% 20% 40% 60% 80% 100% 0% 20% 40% 60% 80% 100%



集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

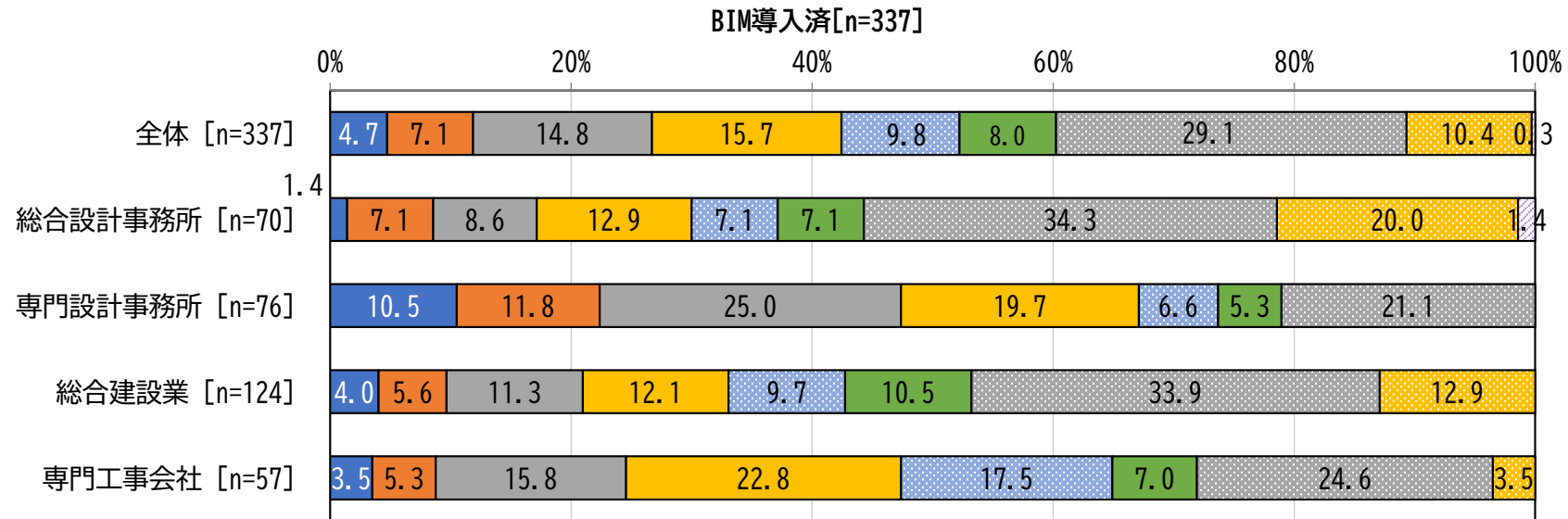
建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R4年12月 国土交通省調べ)

Q4:所属部署でBIMを導入した時期(単一回答/%)

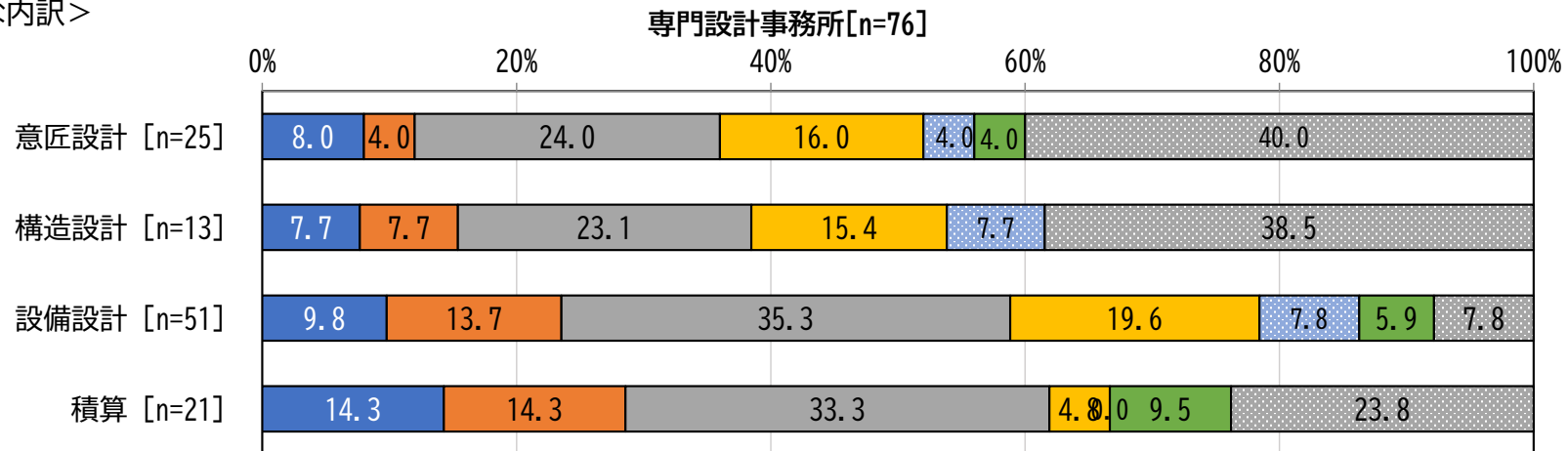


・BIMを導入した時期としては「5年前～10年前」の回答が最も多い。

クロス集計:Q1-1,Q1-2 企業の属性×Q4 所属部署でBIMを導入した時期(%)



<専門設計事務所の主な内訳>



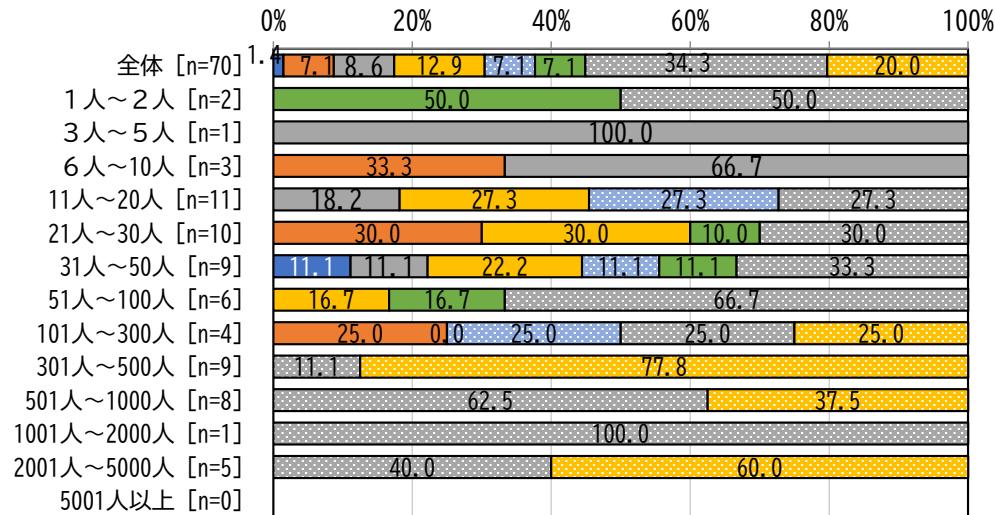
- 最近～半年前
- 半年前～1年前
- 1年前～2年前
- 2年前～3年前
- 3年前～4年前
- 4年前～5年前
- 5年前～10年前
- 10年以上前

集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

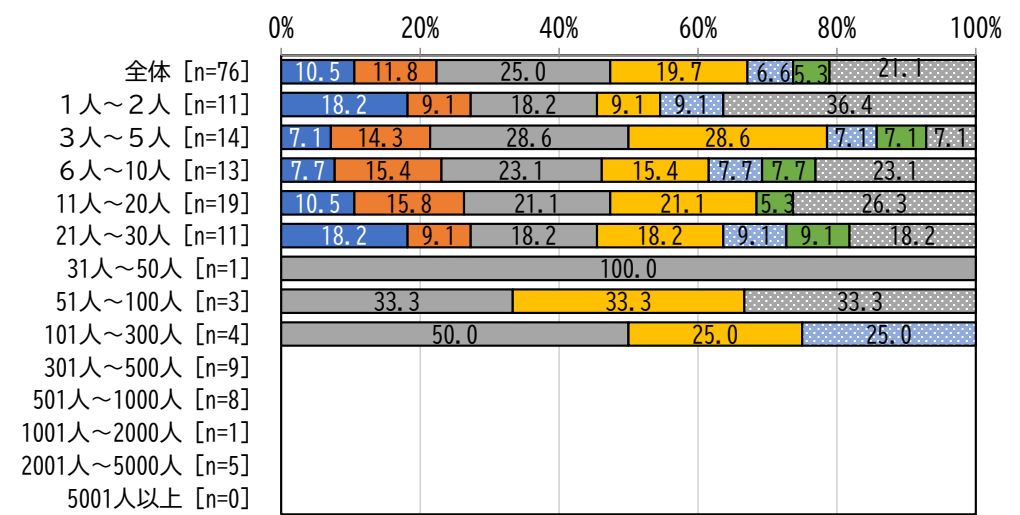
建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R4年12月 国土交通省調べ)

クロス集計:Q1-1 企業の属性(大分類)×Q1-4 所属する企業の規模(従業員数)×Q4所属部署でBIMを導入した時期(%)

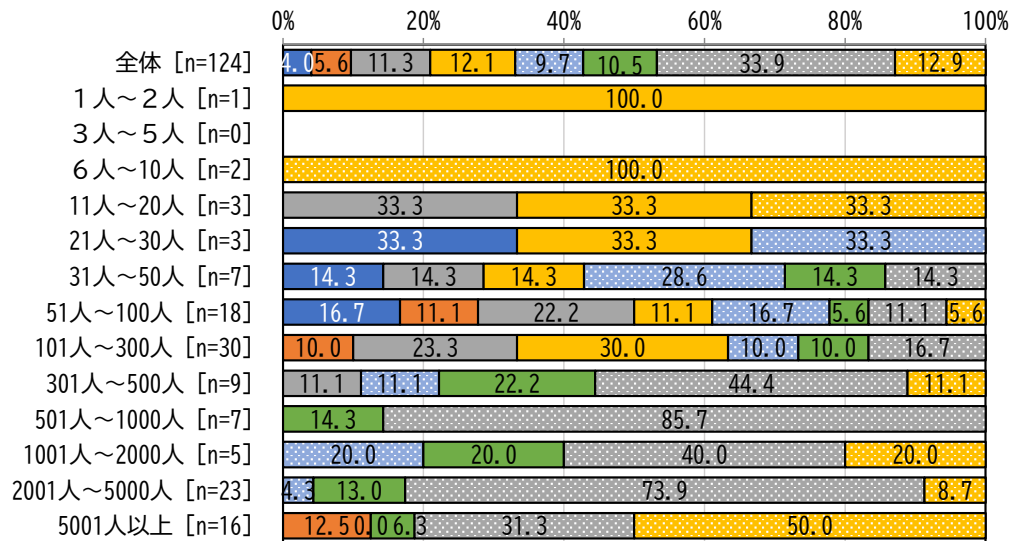
総合設計事務所[n=70]



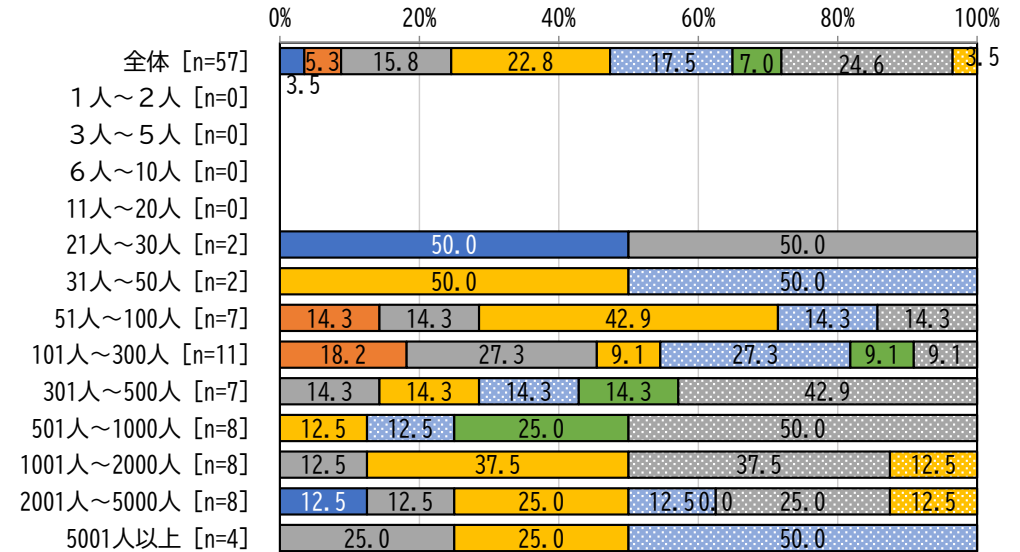
専門設計事務所[n=76]



総合建設業[n=124]

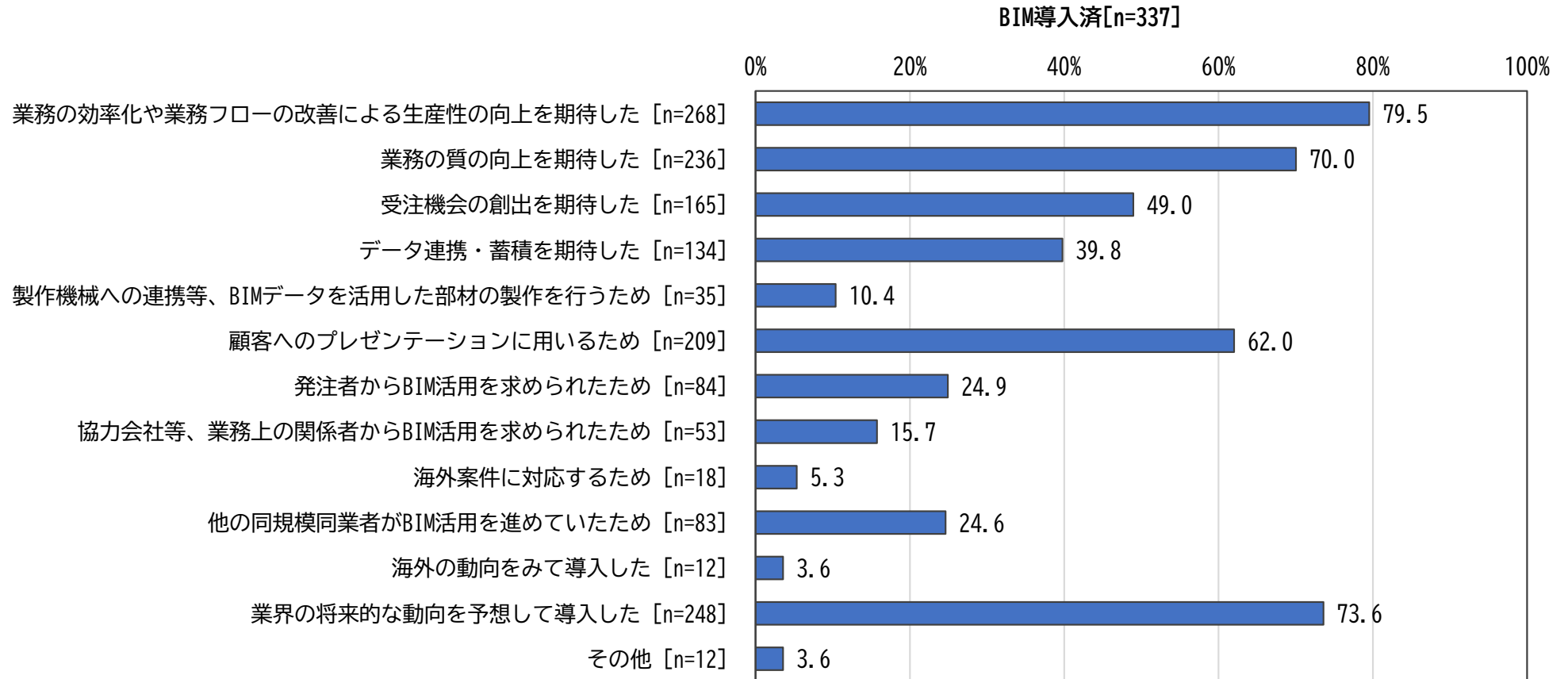


専門工事会社[n=57]



■最近～半年前 ■半年前～1年前 ■1年前～2年前 ■2年前～3年前
■3年前～4年前 ■4年前～5年前 ■5年前～10年前 ■10年以上前

Q5:所属部署でBIMを導入した背景やきっかけ(複数回答/%)

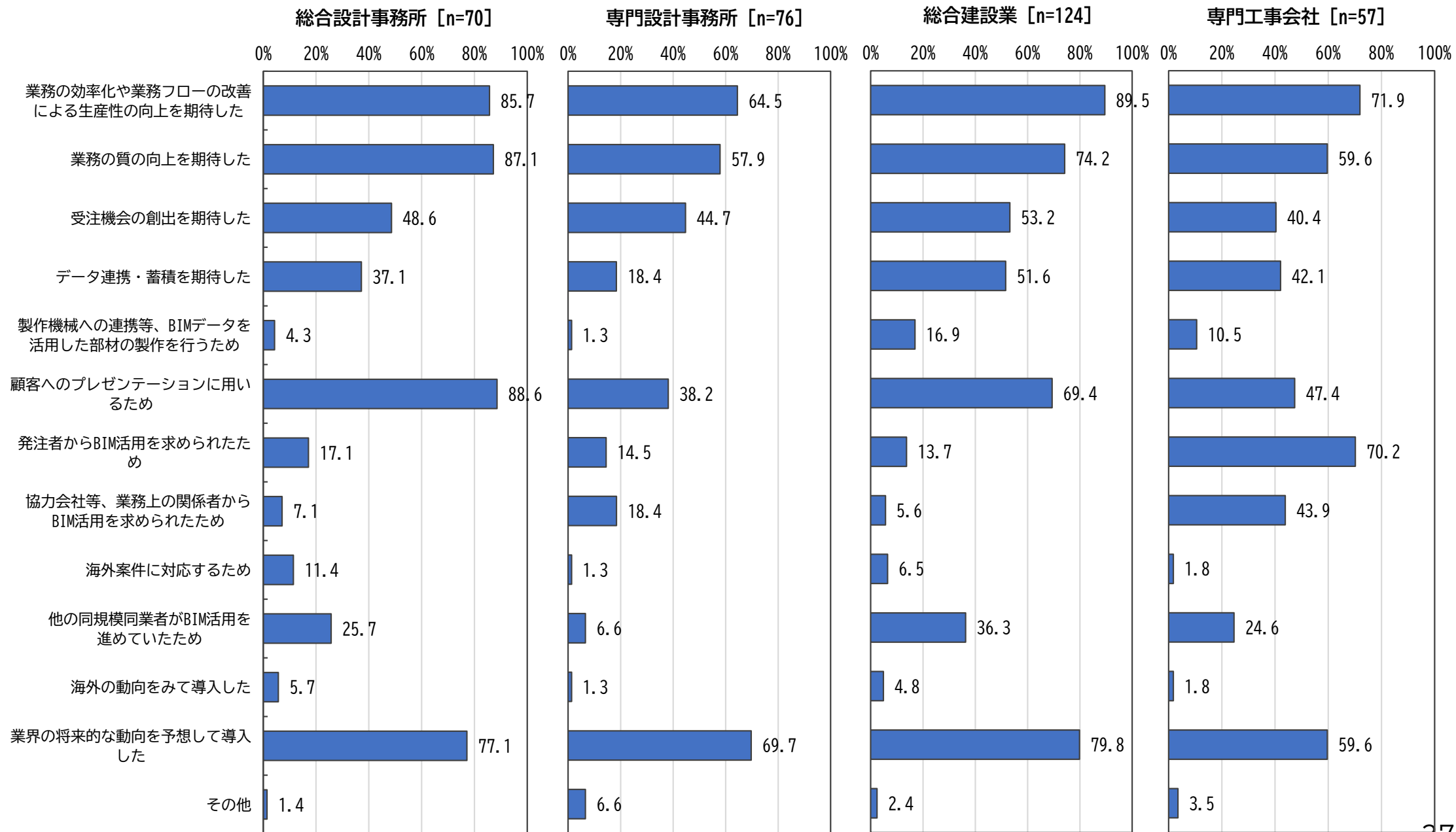


・BIMの導入の背景やきっかけとしては「業務の効率化や業務フローの改善による生産性の向上を期待した」の回答が最も多い。

集計結果(クロス集計・属性別) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R4年12月 国土交通省調べ)

クロス集計:Q1-1 企業の属性(大分類)×Q5 所属部署でBIMを導入した背景やきっかけ



集計結果(クロス集計・属性別) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R4年12月 国土交通省調べ)

クロス集計:Q1-2 企業の属性(専門設計事務所の専門分野)×Q5 所属部署でBIMを導入した背景やきっかけ

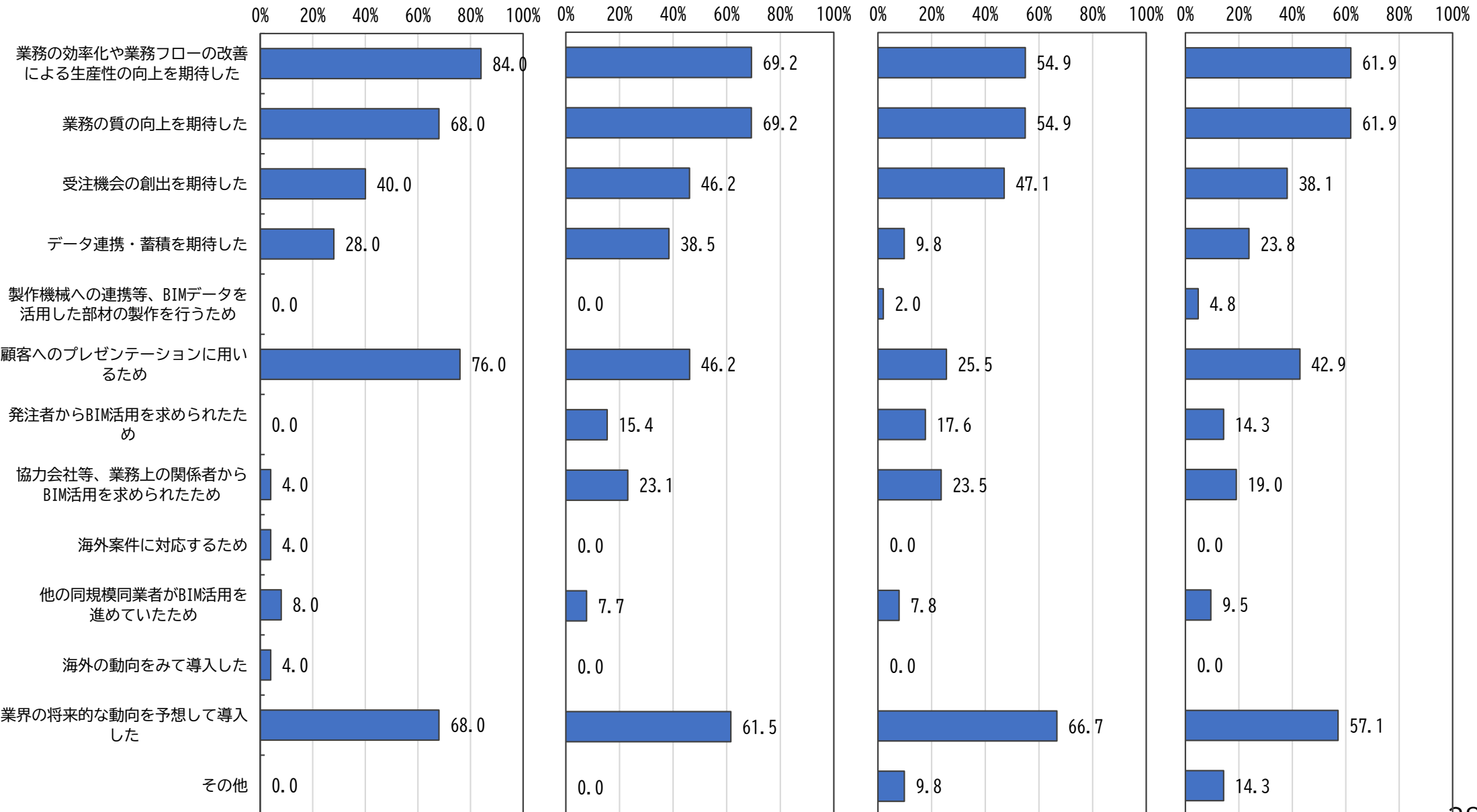
<専門設計事務所の主な内訳>

意匠設計 [n=25]

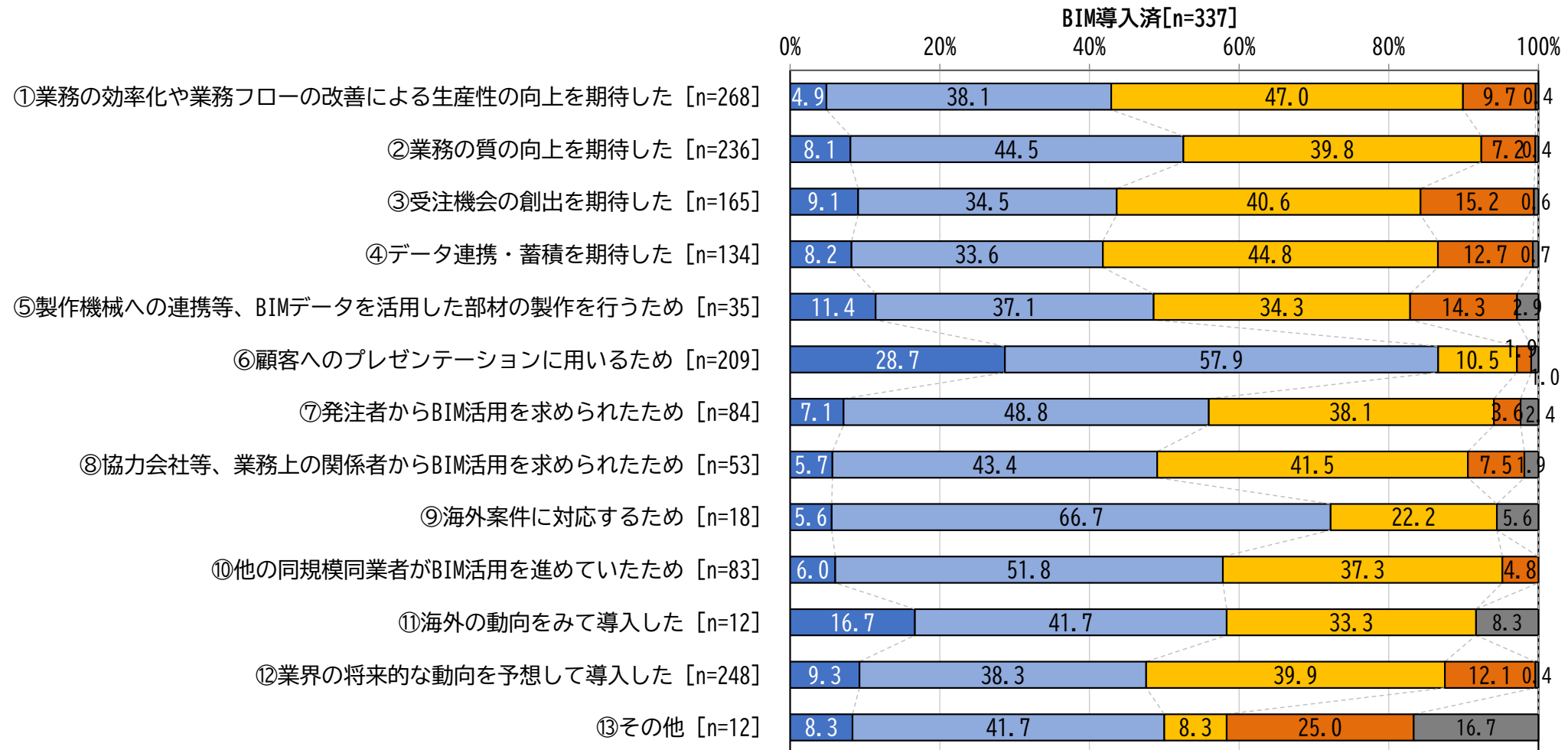
構造設計 [n=13]

設備設計 [n=51]

積算 [n=21]



Q6:現時点の所属部署でのBIMの活用成果をどう評価するか(複数回答/%)



- 期待・予想した以上の成果が出ている
- 期待・予想した程度の成果が出ている
- 期待・予想したよりもそれほど成果が出ていない
- 期待・予想したよりも全く成果が出ていない
- 不明

・現状の評価について期待・予想した程度、または期待・予想した以上の成果が出ていると回答する項目については、「⑥顧客へのプレゼンテーションに用いるため」が最も多い。

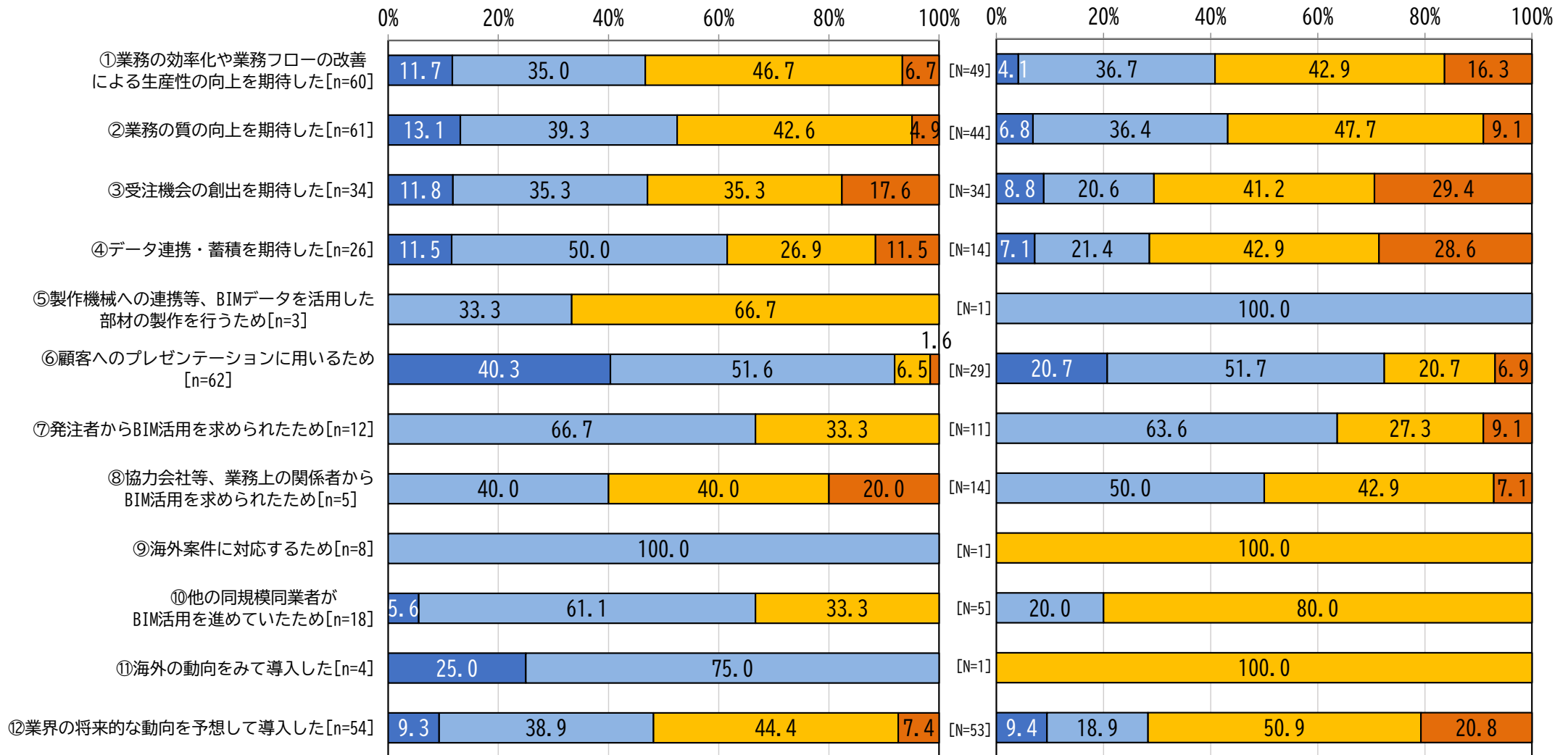
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R4年12月 国土交通省調べ)

クロス集計:Q1-1 企業の属性(大分類)×Q6 現時点の所属部署でのBIMの活用の成果をどう評価するか

総合設計事務所[n=70]

専門設計事務所[n=76]



■期待・予想した以上の成果が出ている ■期待・予想した程度の成果が出ている
 ■期待・予想したよりもそれほど成果が出ていない ■期待・予想したよりも全く成果が出ていない

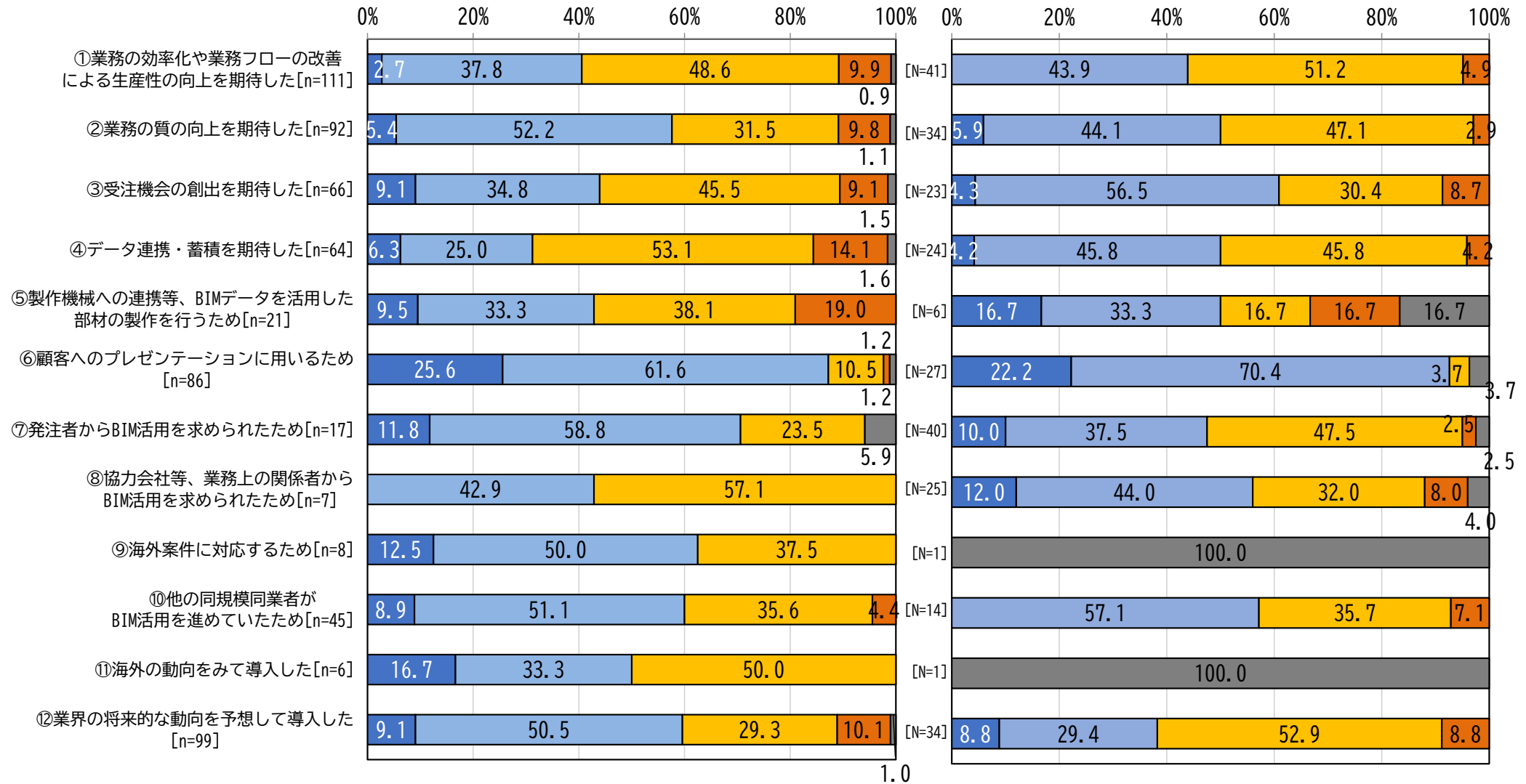
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R4年12月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q1-1 企業の属性（大分類）×Q6 現時点の所属部署でのBIMの活用成果をどう評価するか

総合建設業[n=124]

専門工事会社[n=57]



■ 期待・予想した以上の成果が出ている
■ 期待・予想したよりもそれほど成果が出ていない
■ 期待・予想したよりも全く成果が出ていない
■ 不明

集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

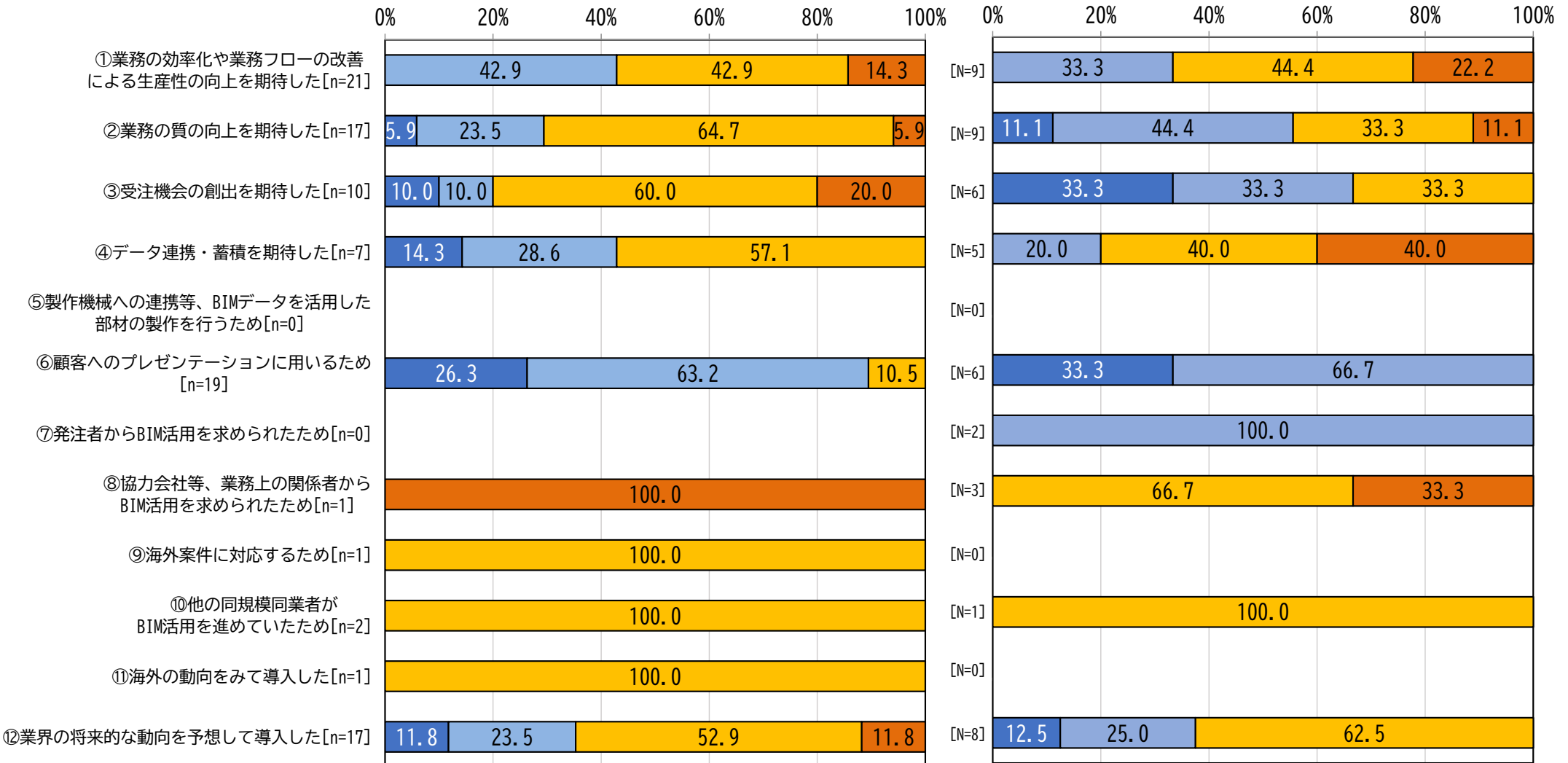
建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R4年12月 国土交通省調べ)

クロス集計:Q1-2 企業の属性(専門設計事務所の専門分野) ×Q6 現時点の所属部署でのBIMの活用成果をどう評価するか

<専門設計事務所の主な内訳>

意匠設計[n=25]

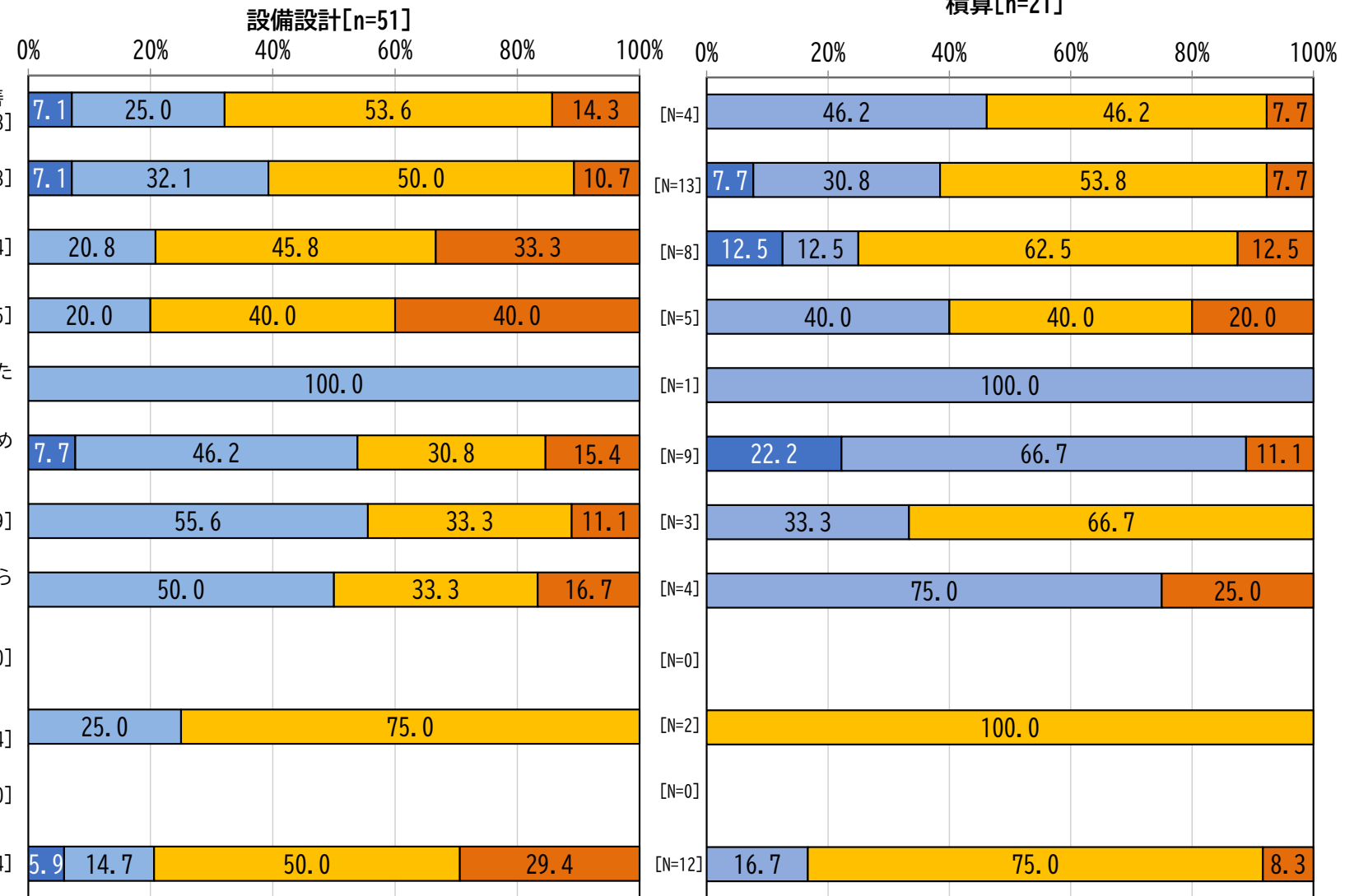
構造設計[n=13]



■ 期待・予想以上の成果が出ている
■ 期待・予想したよりもそれほど成果が出ていない
■ 期待・予想したよりも全く成果が出ていない
■ 不明

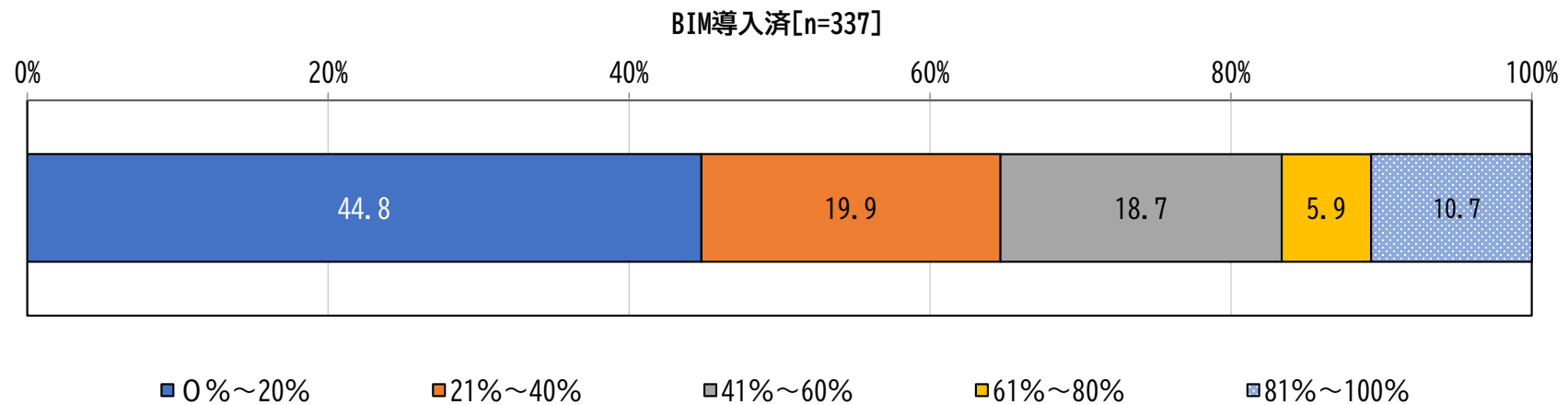
クロス集計:Q1-2 企業の属性(専門設計事務所の専門分野) ×Q6 現時点の所属部署でのBIMの活用の成果をどう評価するか

<専門設計事務所の主な内訳>



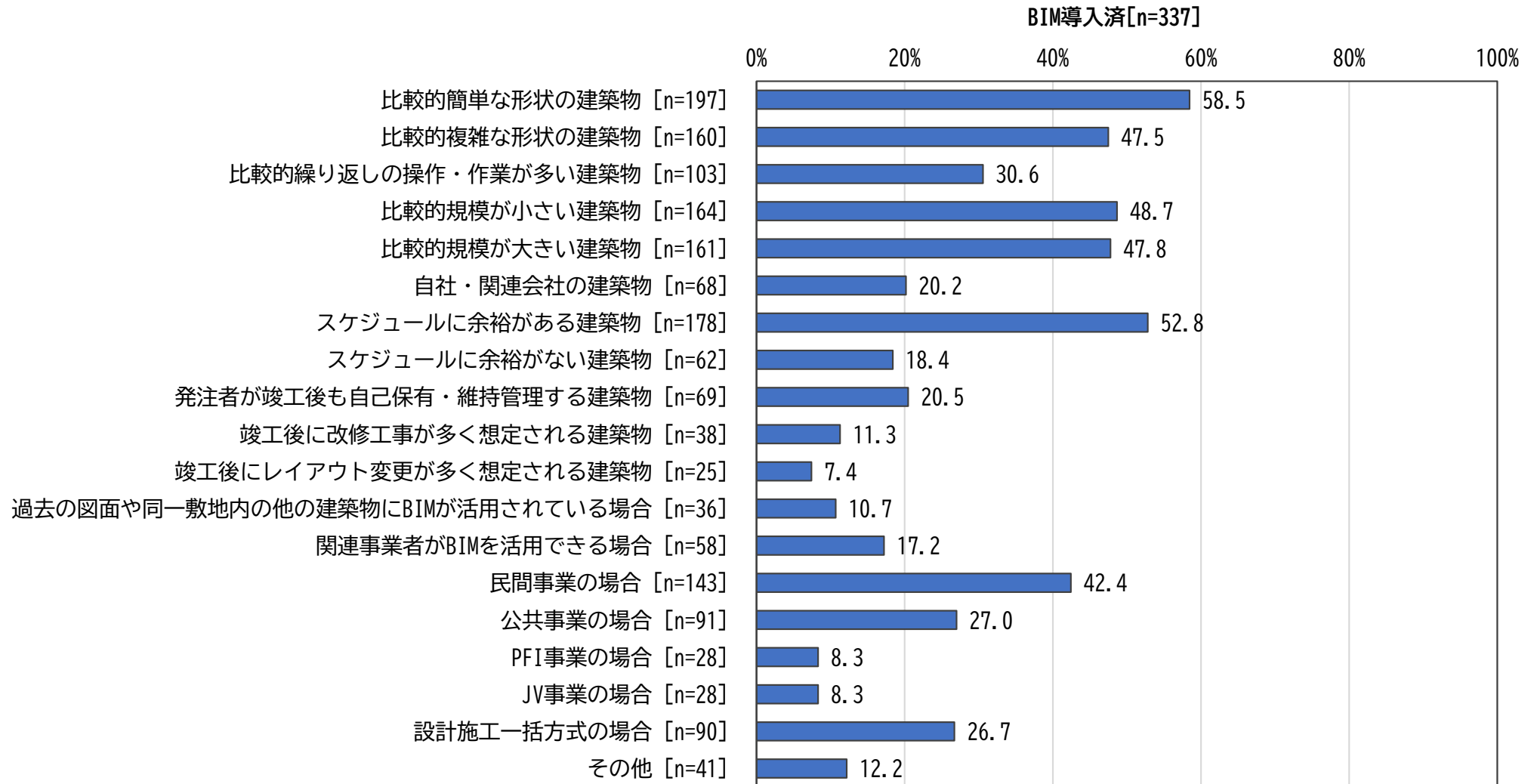
■ 期待・予想した以上の成果が出ている
■ 期待・予想した程度以上の成果が出ている
■ 期待・予想したよりもそれほど成果が出ていない
■ 期待・予想したよりも全く成果が出ていない
■ 不明

Q7:所属部署でBIMを活用している人数の割合(単一回答/%)



・所属部署でのBIMを活用する人数割合としては「0%~20%」の回答が最も多い。

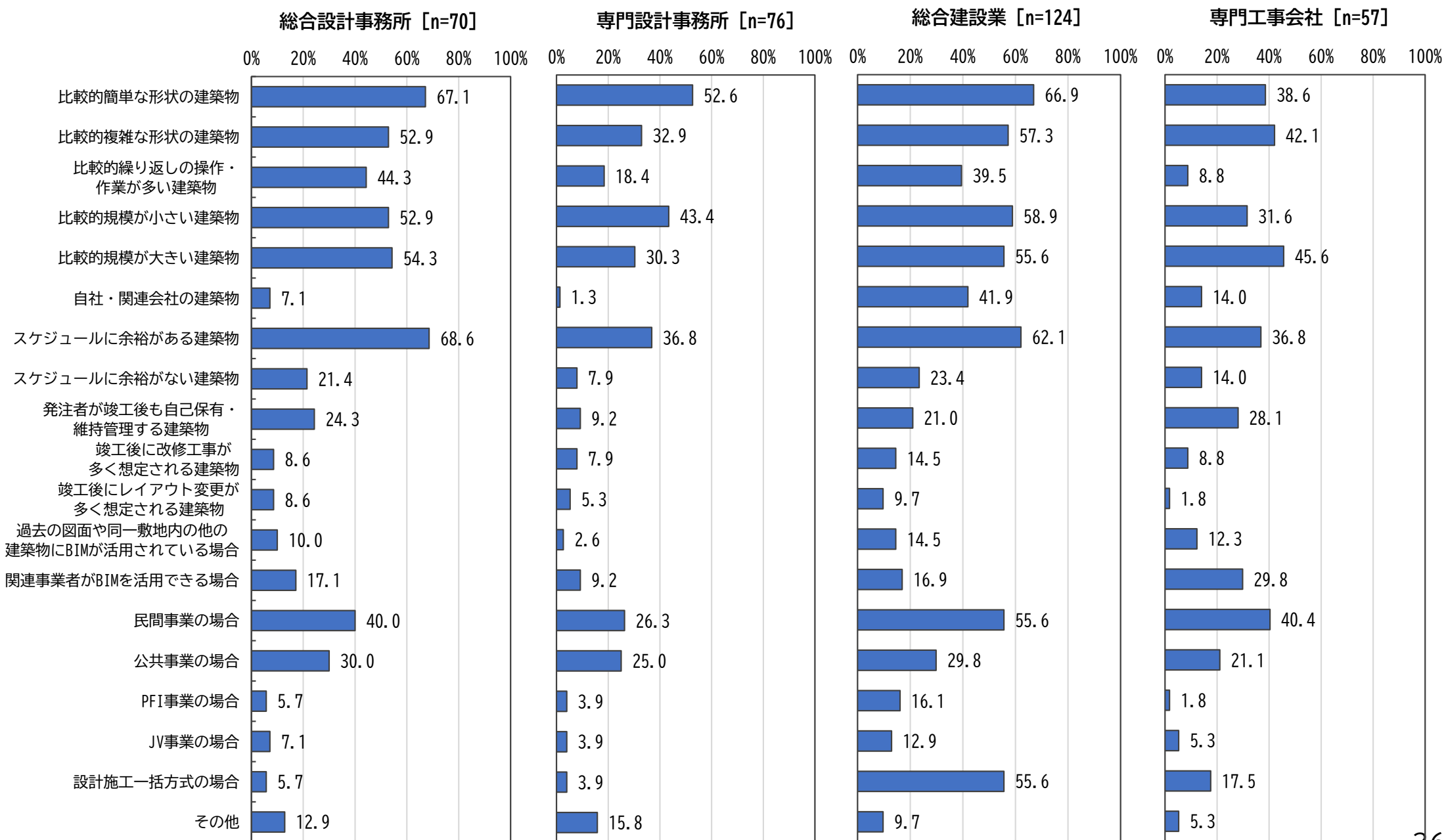
Q8:所属部署で主にBIMを活用する建築物やプロジェクトの特徴(複数回答/%)



・所属部署で主にBIMを活用する建築物やプロジェクトの特徴としては「比較的簡単な形状の建築物」が最も多い。

集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

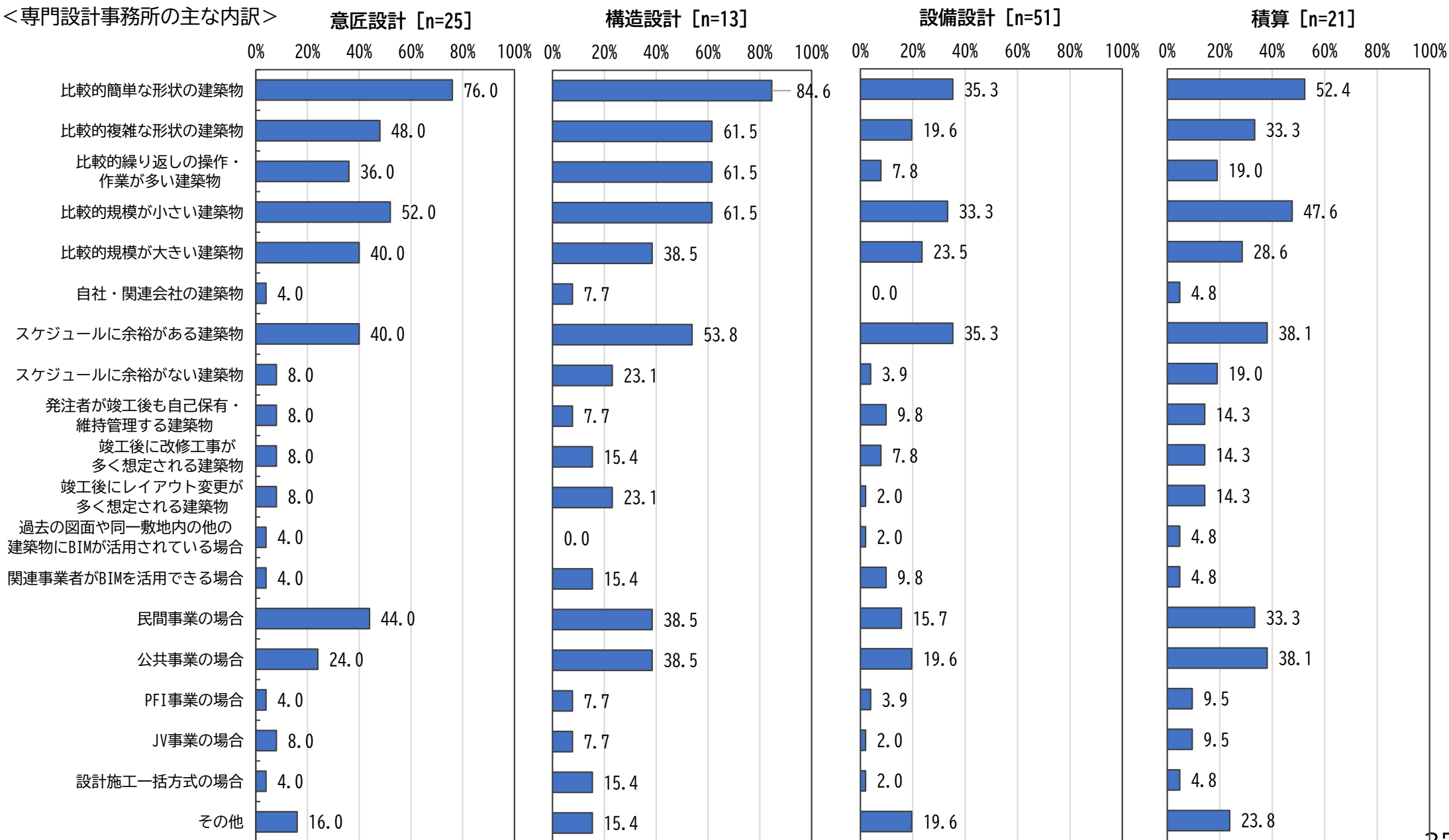
クロス集計:Q1-1 企業の属性(大分類)×Q8 所属部署で主にBIMを活用する建築物やプロジェクトの特徴



集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

クロス集計:Q1-2 企業の属性(専門設計事務所の専門分野) ×Q8 所属部署で主にBIMを活用する建築物やプロジェクトの特徴

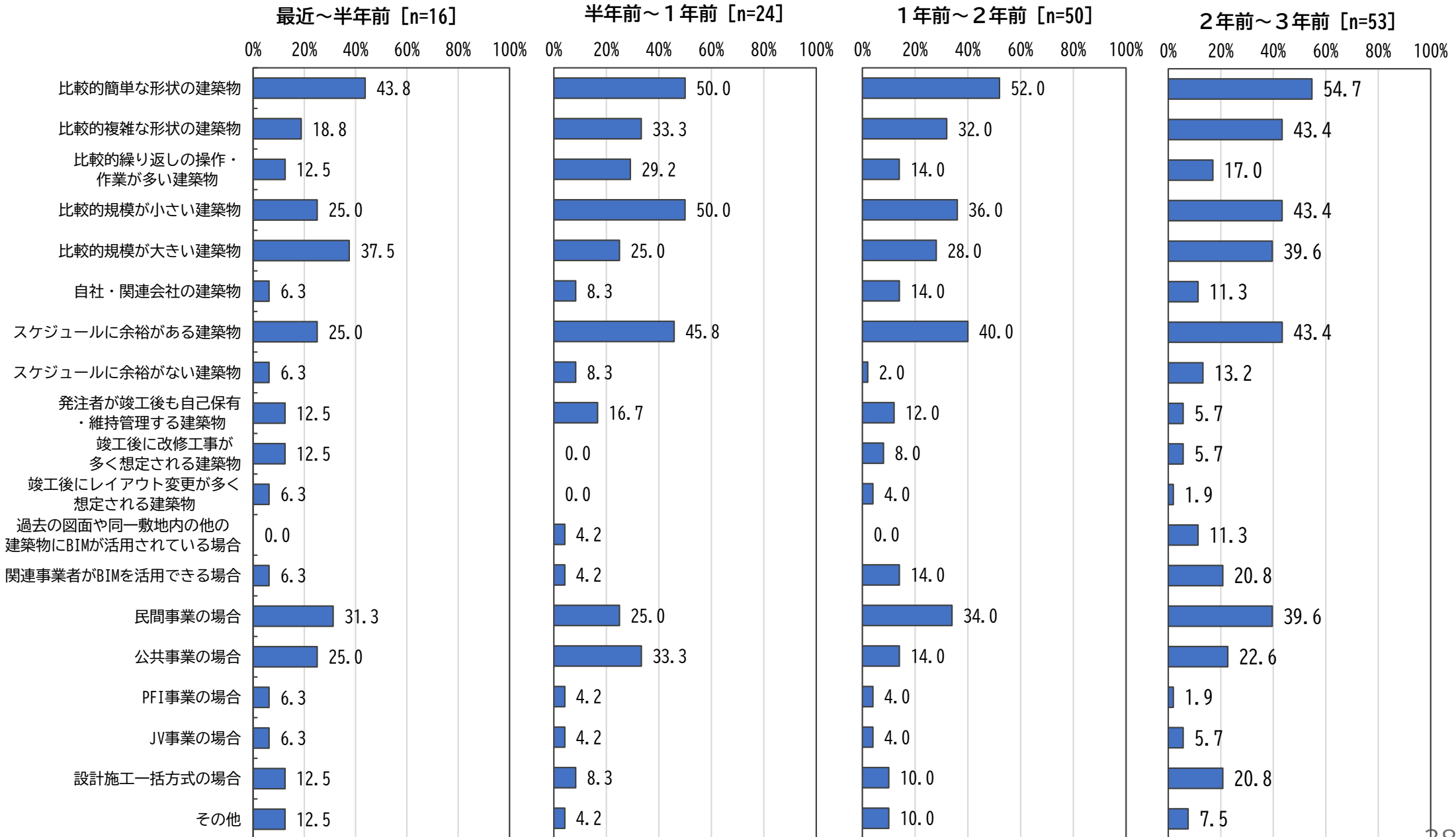
<専門設計事務所の主な内訳>



集計結果(クロス集計・導入時期別)BIMを導入している企業 国土交通省

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R4年12月 国土交通省調べ)

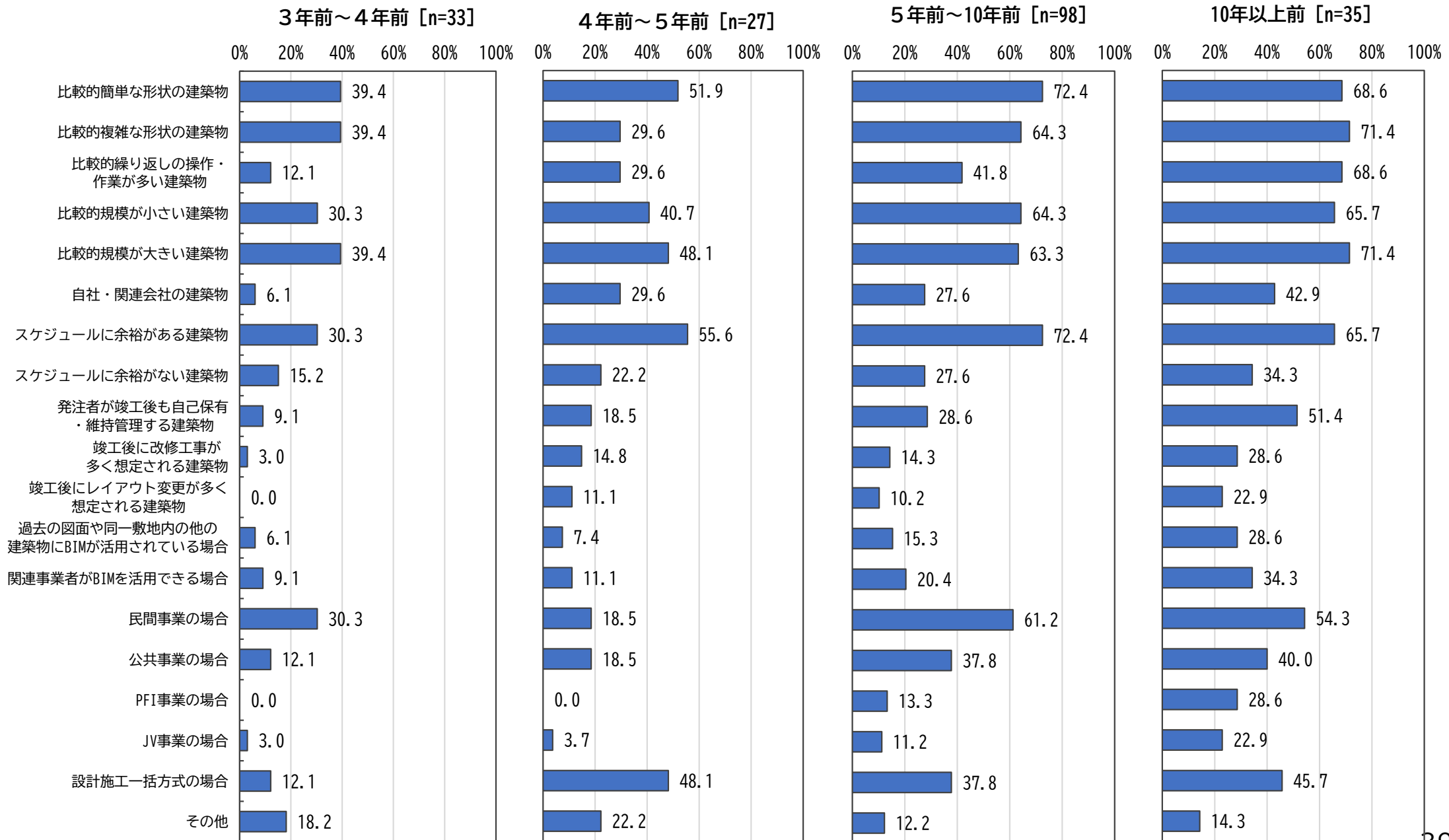
クロス集計:Q4 所属部署でBIMを導入した時期×Q8 所属部署で主にBIMを活用する建築物やプロジェクトの特徴



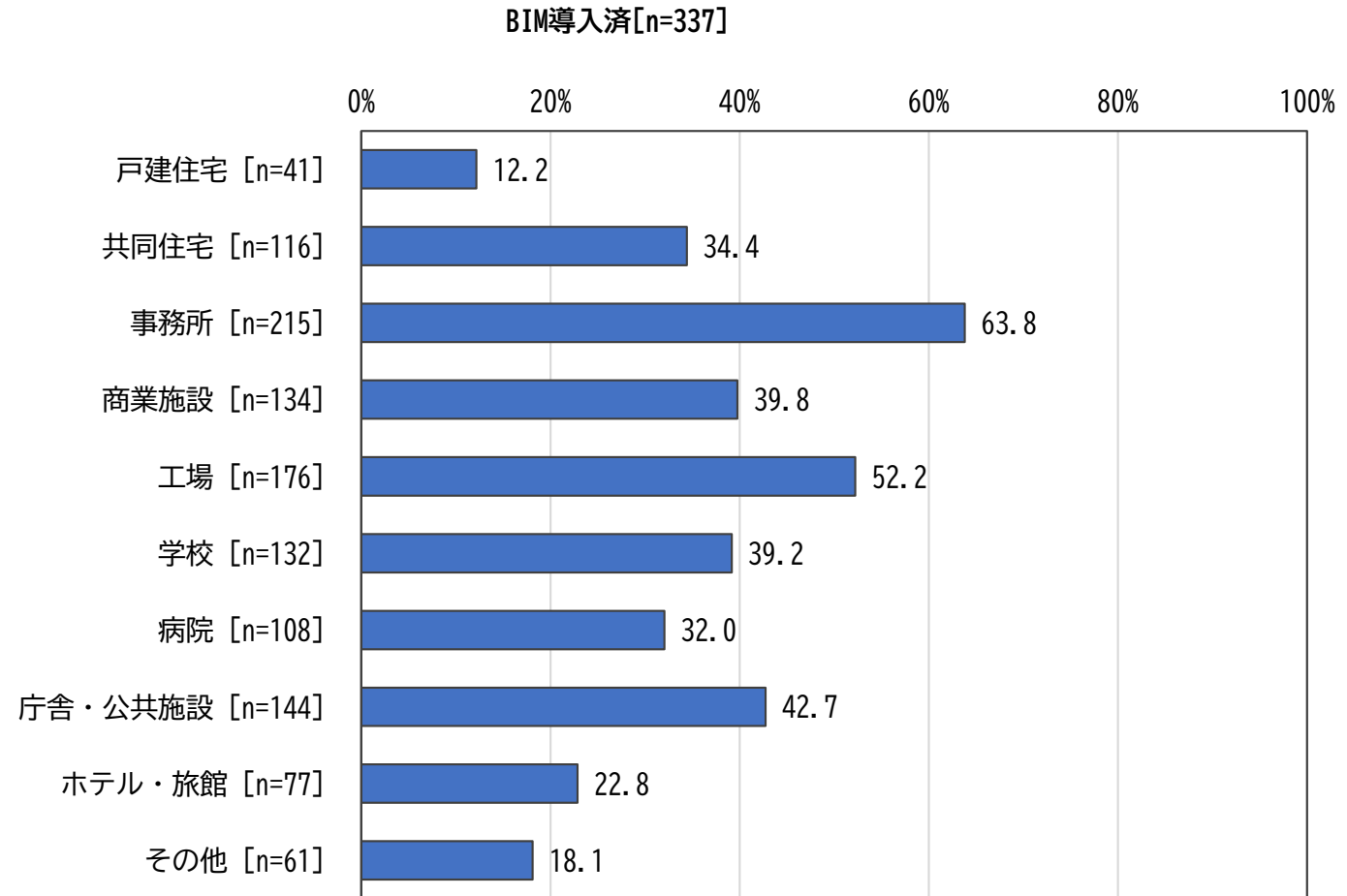
集計結果(クロス集計・導入時期別)BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R4年12月 国土交通省調べ)

クロス集計:Q4 所属部署でBIMを導入した時期×Q8 所属部署で主にBIMを活用する建築物やプロジェクトの特徴



Q9:所属部署で主にBIMを活用する建築物の用途(複数回答/%)



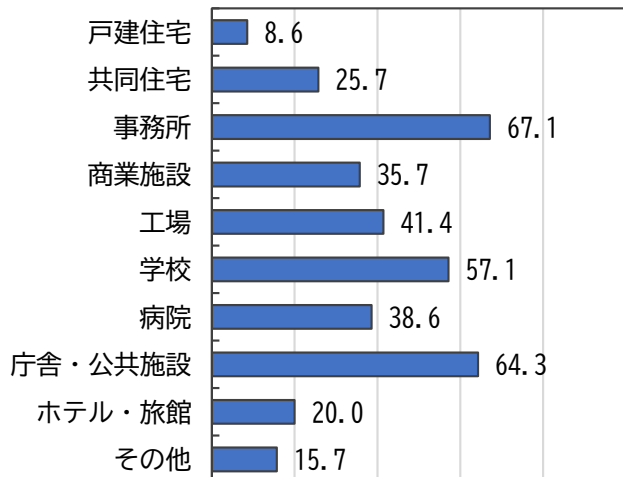
・建築物の用途としては「事務所」の回答が最も多い。

集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

クロス集計:Q1-1,Q1-2 企業の属性×Q9 所属部署で主にBIMを活用する建築物の用途

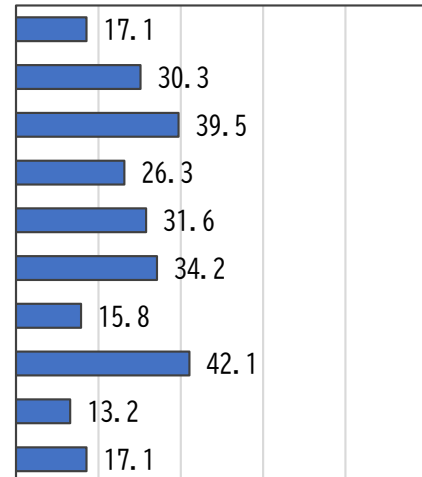
総合設計事務所 [n=70]

0% 20% 40% 60% 80% 100%



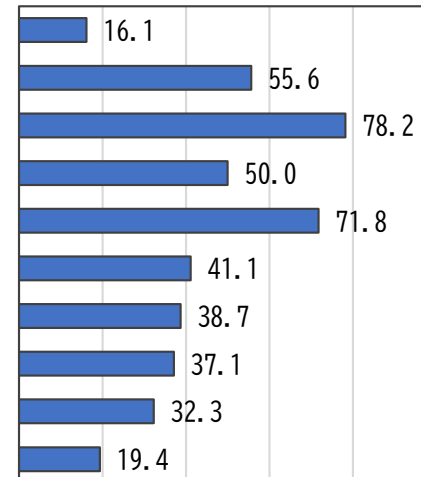
専門設計事務所 [n=76]

0% 20% 40% 60% 80% 100%



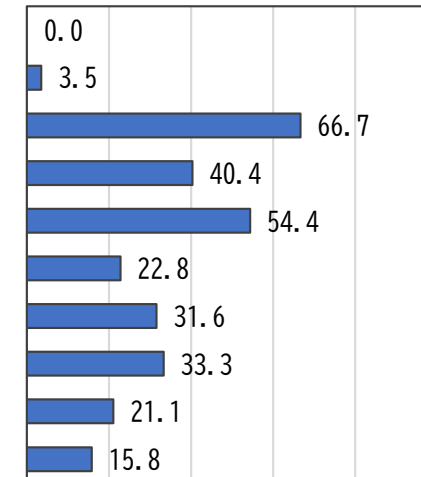
総合建設業 [n=124]

0% 20% 40% 60% 80% 100%



専門工事会社 [n=57]

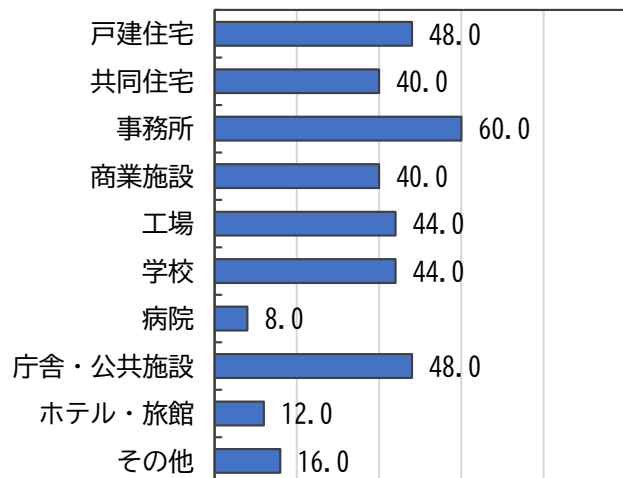
0% 20% 40% 60% 80% 100%



<専門設計事務所の主な内訳>

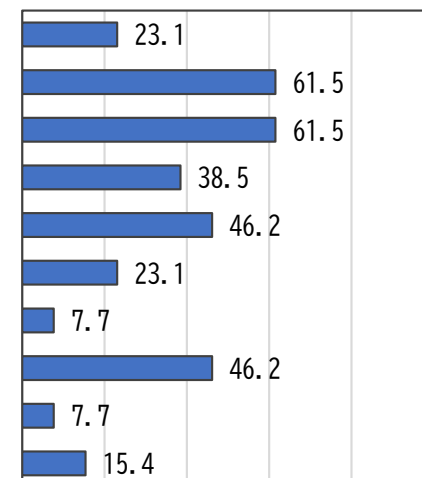
意匠設計 [n=25]

0% 20% 40% 60% 80% 100%



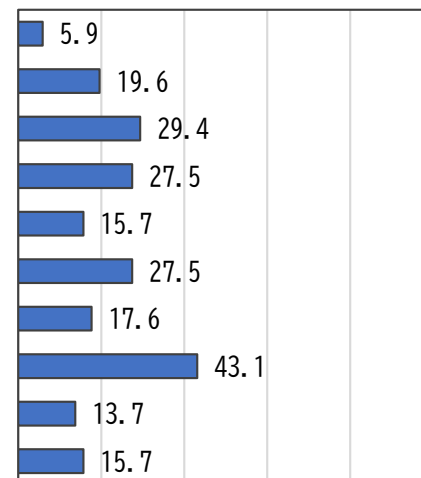
構造設計 [n=13]

0% 20% 40% 60% 80% 100%



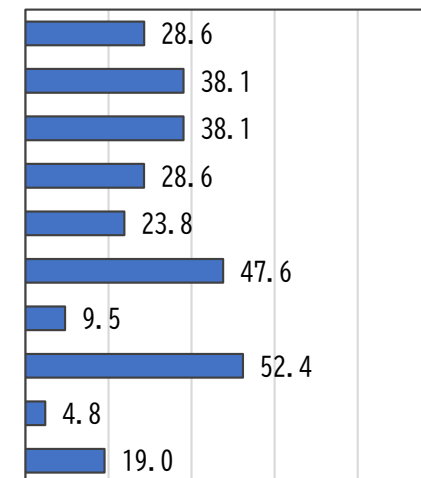
設備設計 [n=51]

0% 20% 40% 60% 80% 100%

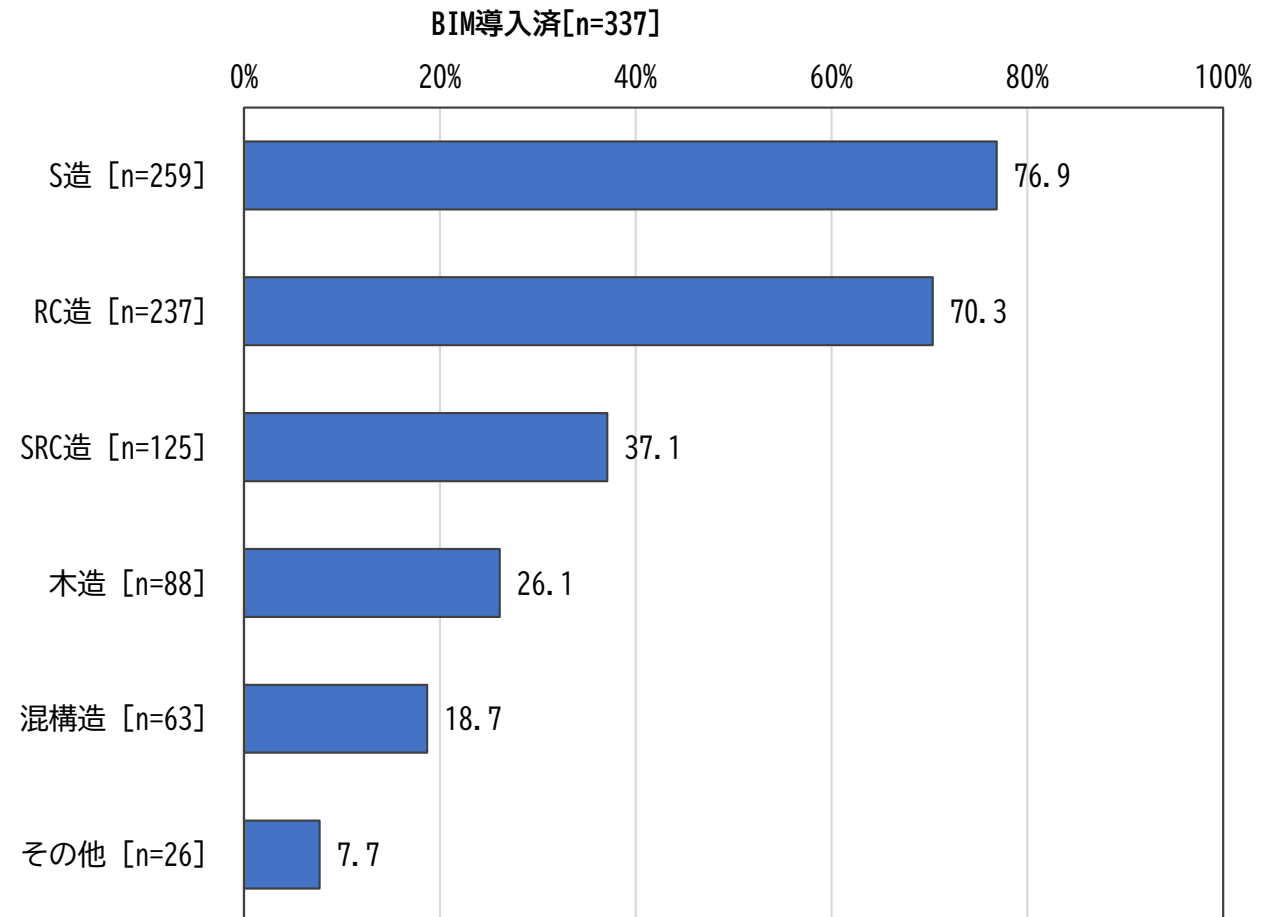


積算 [n=21]

0% 20% 40% 60% 80% 100%



Q10:所属部署で主にBIMを活用する建築物の構造種別(複数回答/%)



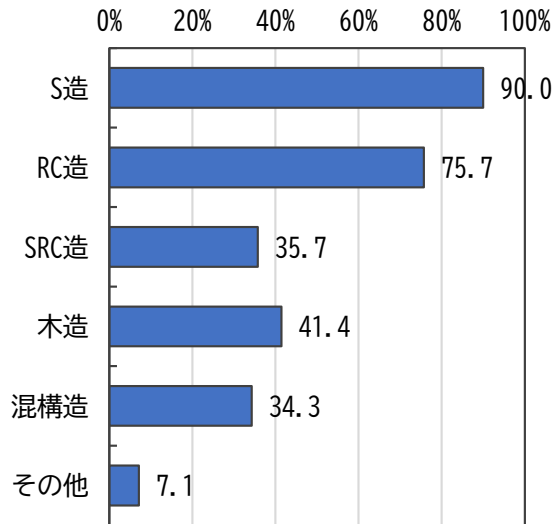
・構造種別としては「S造」の回答が最も多い。

集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

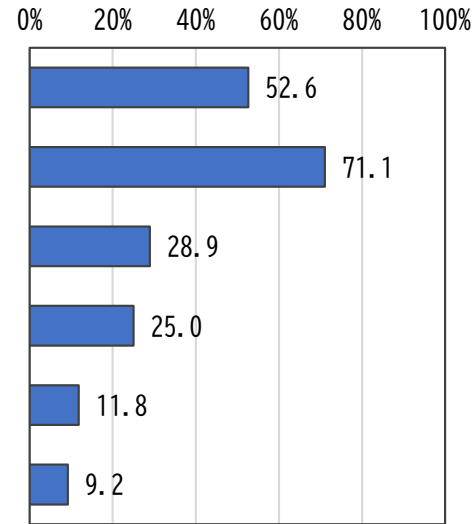
建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R4年12月 国土交通省調べ)

クロス集計:Q1-1,Q1-2 企業の属性×Q10 所属部署で主にBIMを活用する建築物の構造種別

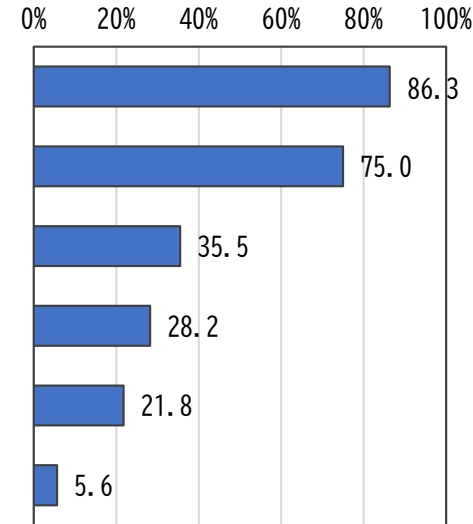
総合設計事務所 [n=70]



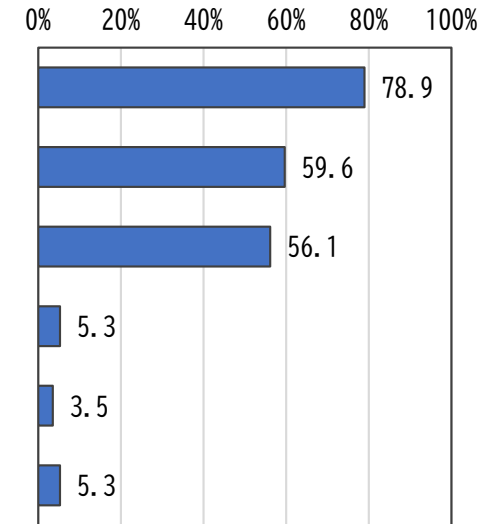
専門設計事務所 [n=76]



総合建設業 [n=124]

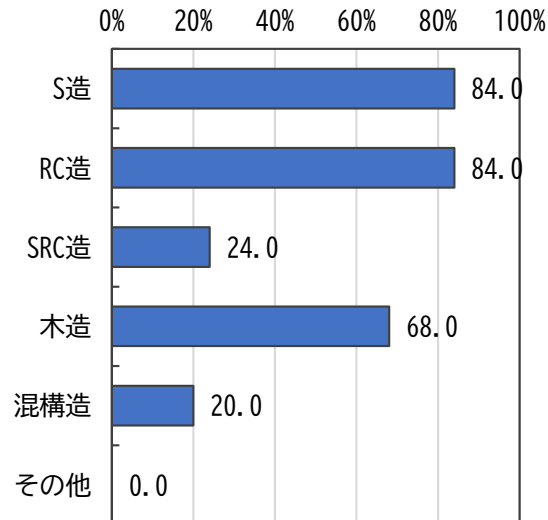


専門工事会社 [n=57]

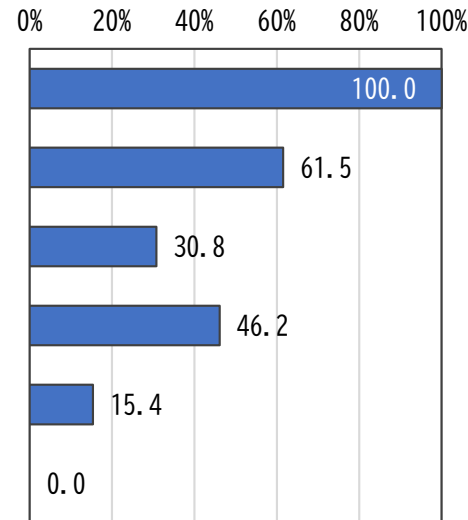


<専門設計事務所の主な内訳>

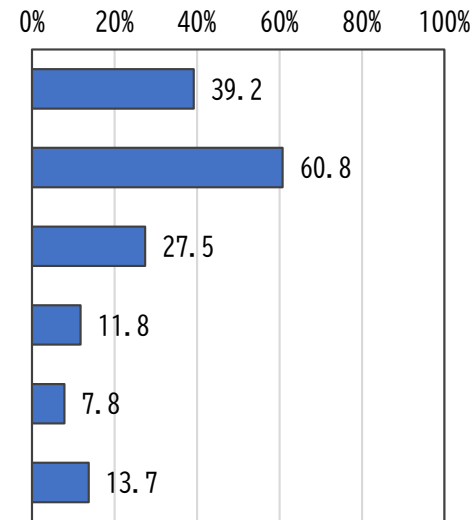
意匠設計 [n=25]



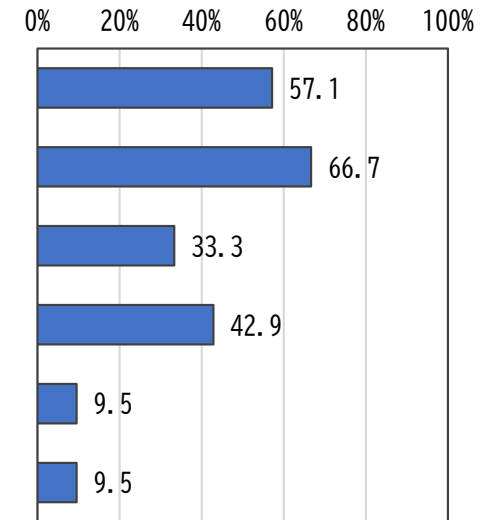
構造設計 [n=13]



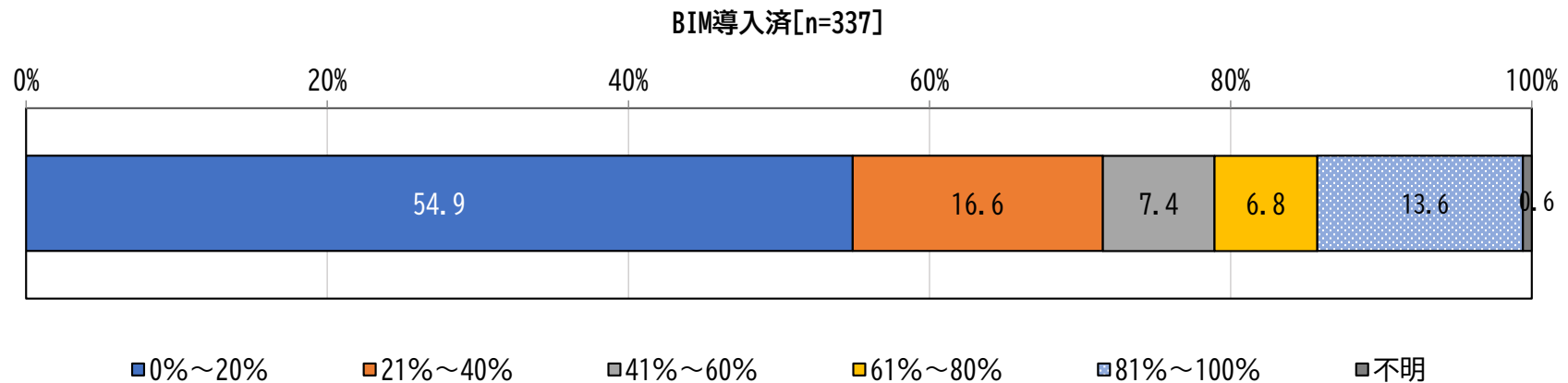
設備設計 [n=51]



積算 [n=21]



Q11:所属部署で過去1年に受託した案件のうち、BIMを活用している案件の割合(単一回答/%)

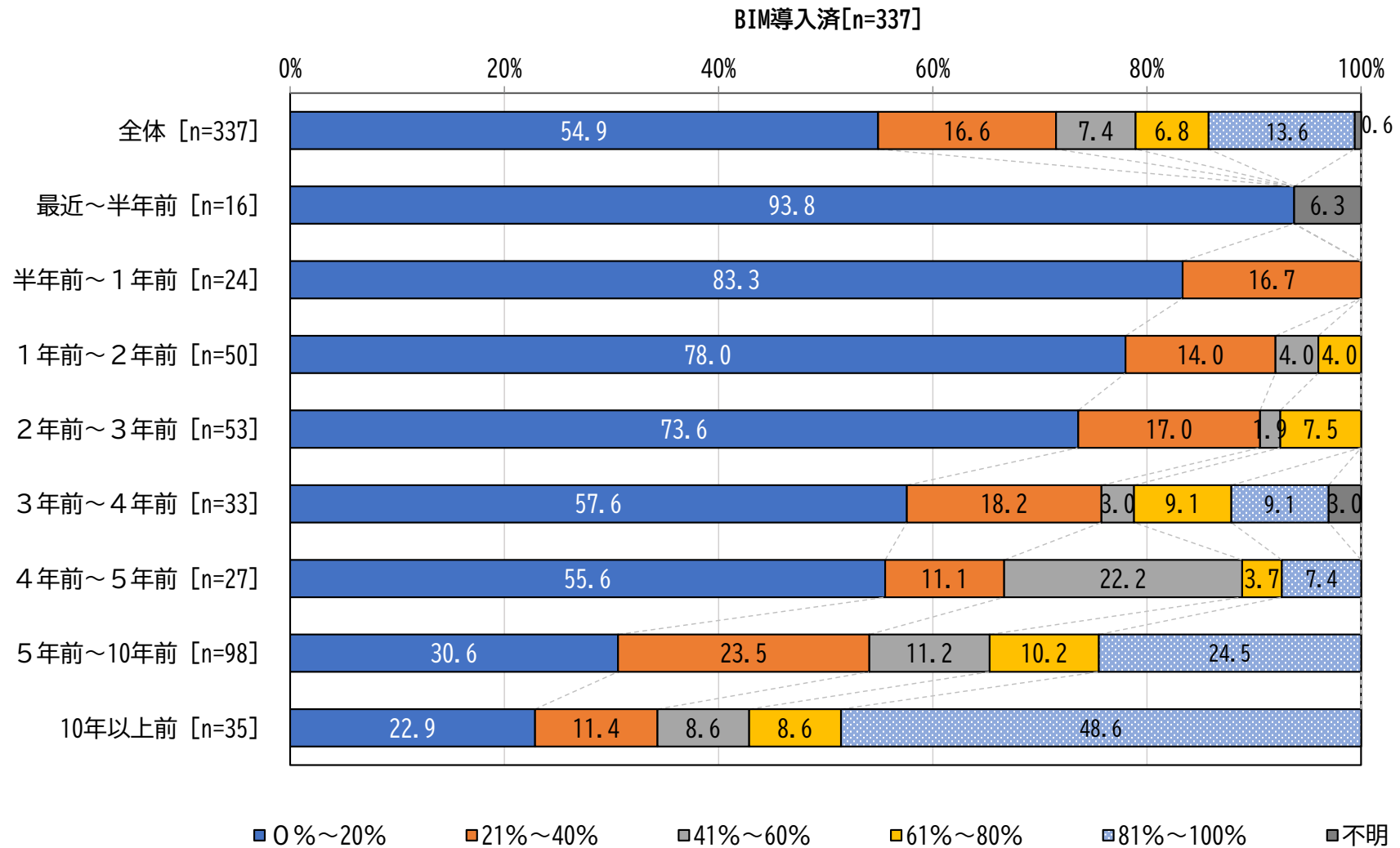


・所属部署での過去1年のBIM活用案件の割合としては「0%~20%」の回答が最も多い。

集計結果(クロス集計・導入時期別)BIMを導入している企業 国土交通省

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R4年12月 国土交通省調べ)

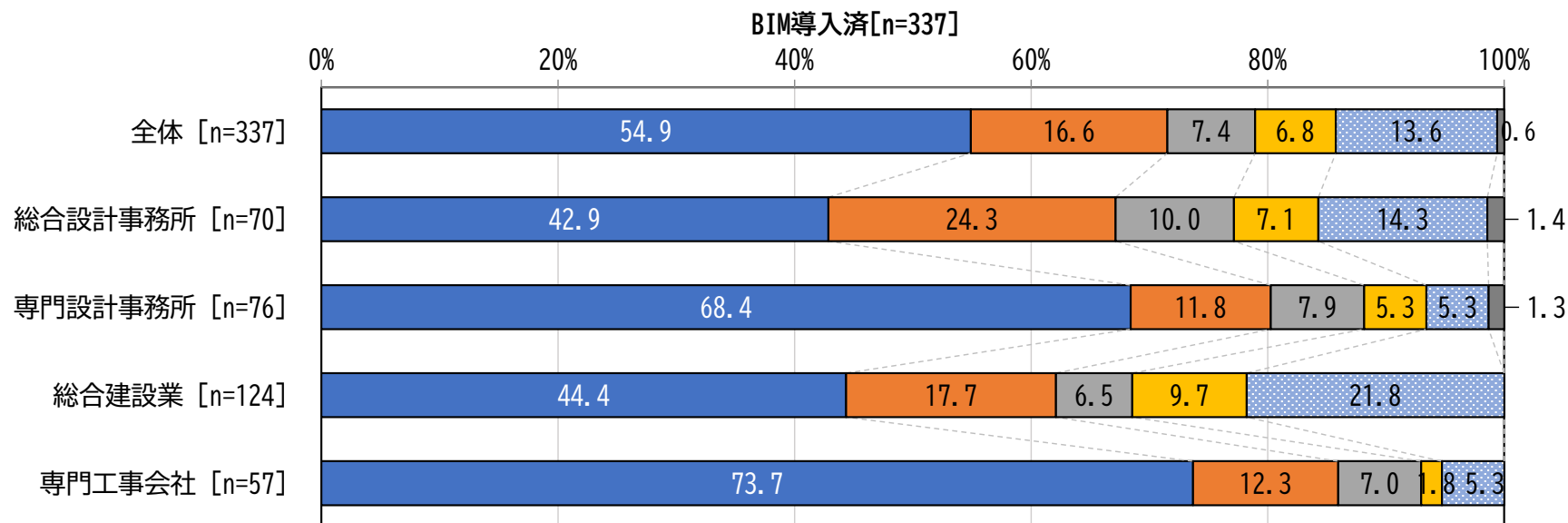
クロス集計:Q4 所属部署でBIMを導入した時期×Q11 所属部署で過去1年に受託した案件のうち、BIMを活用している案件の割合



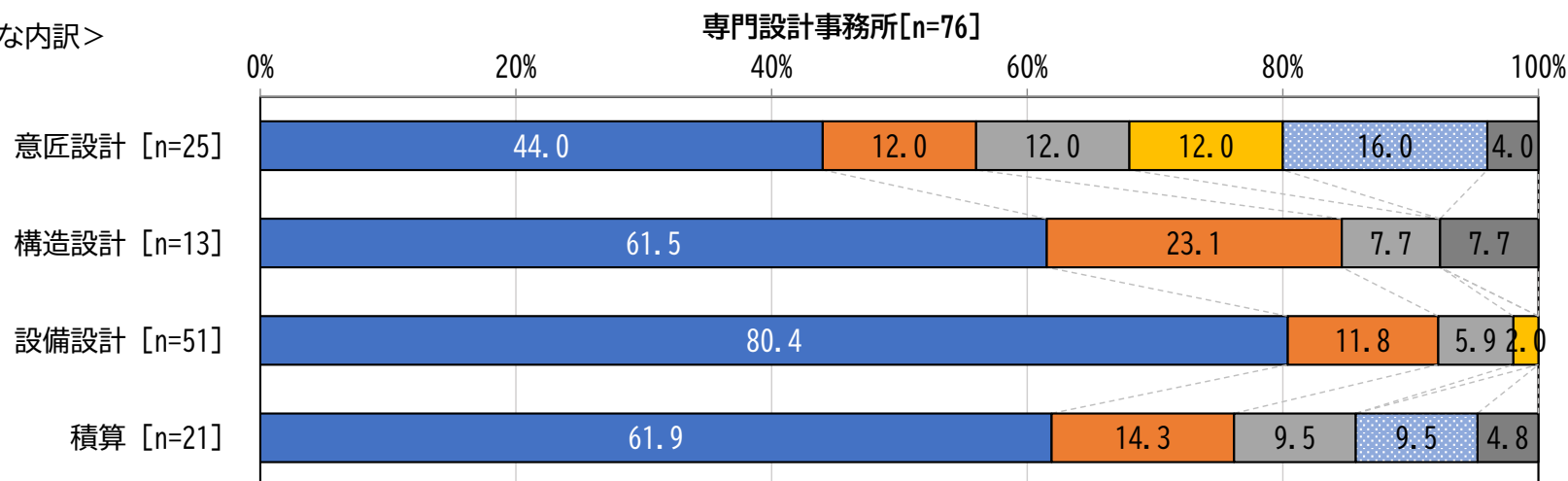
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R4年12月 国土交通省調べ)

クロス集計:Q1-1 企業の属性(大分類)×Q11 所属部署で過去1年に受託した案件のうち、BIMを活用している案件の割合

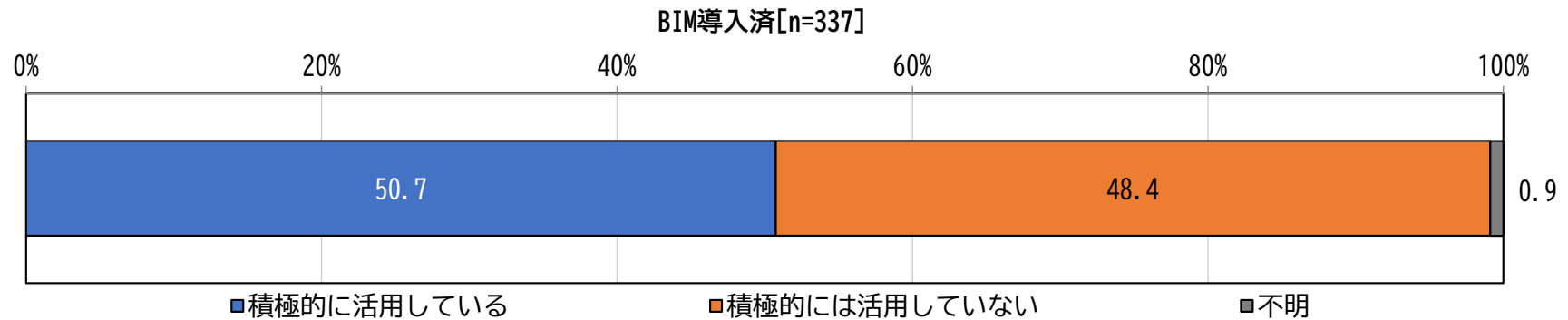


<専門設計事務所の主な内訳>



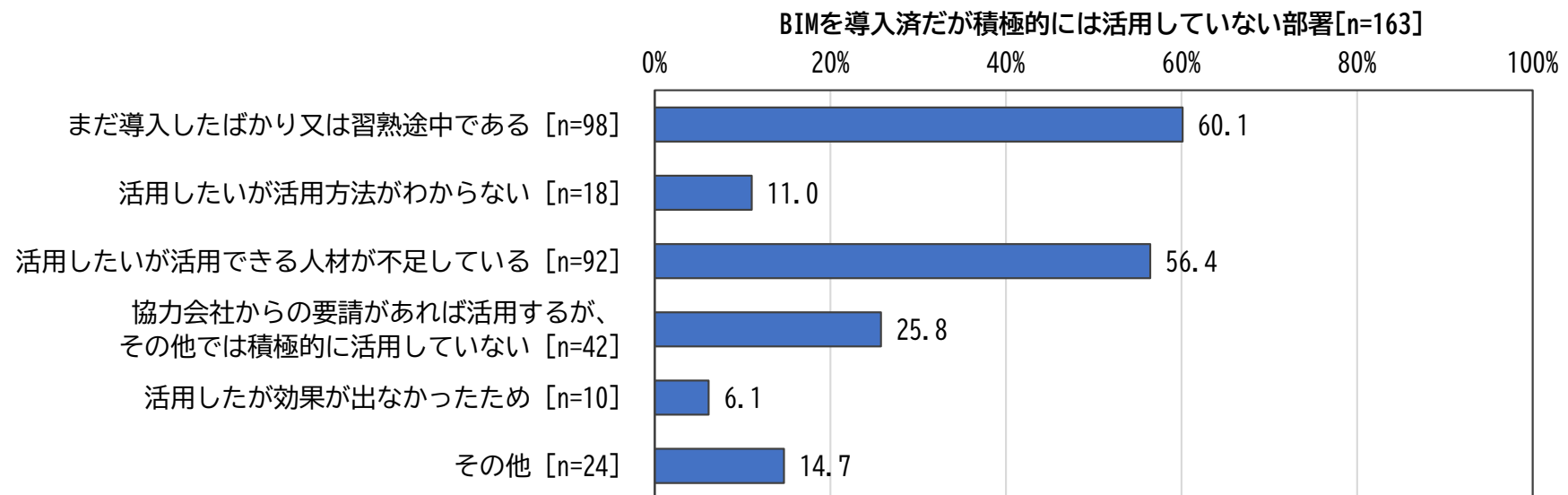
■ 0%~20% ■ 21%~40% ■ 41%~60% ■ 61%~80% ■ 81%~100% ■ 不明

Q12:所属部署でのBIMの活用状況(単一回答/%)



・B所属部署でのBIMの活用状況としては「積極的に活用している」が50.7%に対し、「積極的には活用していない」が69.5%。

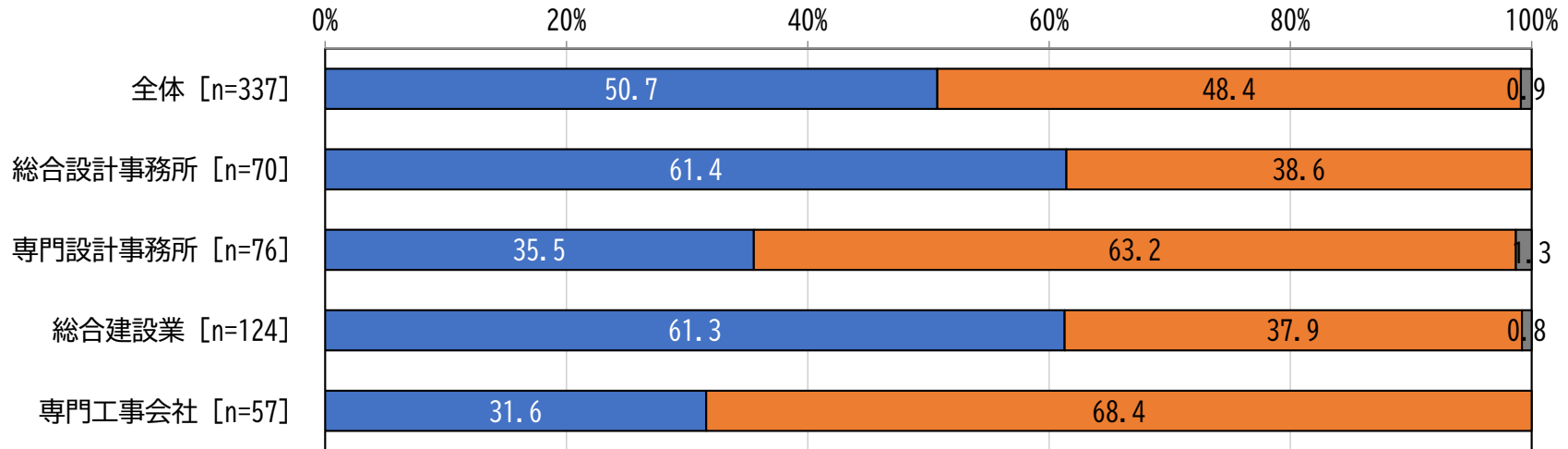
Q13:Q12で「2.積極的には活用していない」を選択した理由(複数回答/%)



・「2.積極的には活用していない」を選択した理由としては「まだ導入したばかり又は習熟途中である」の回答が最も多い。

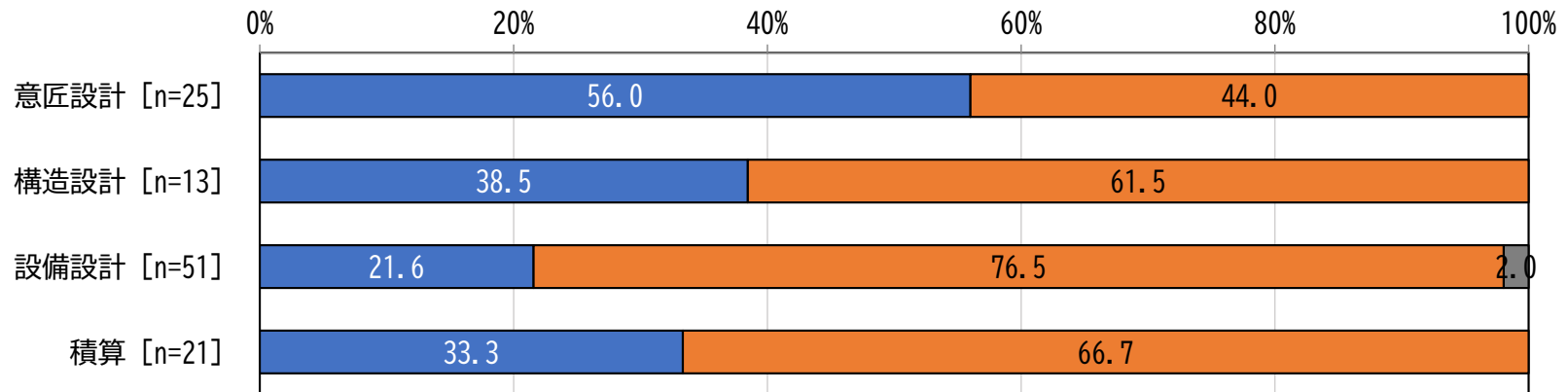
クロス集計:Q1-1,Q1-2 企業の属性×Q12 所属部署でのBIMの活用状況

BIM導入済[n=337]



<専門設計事務所の主な内訳>

専門設計事務所[n=76]



■ 積極的に活用している
 ■ 積極的には活用していない
 ■ 不明

集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

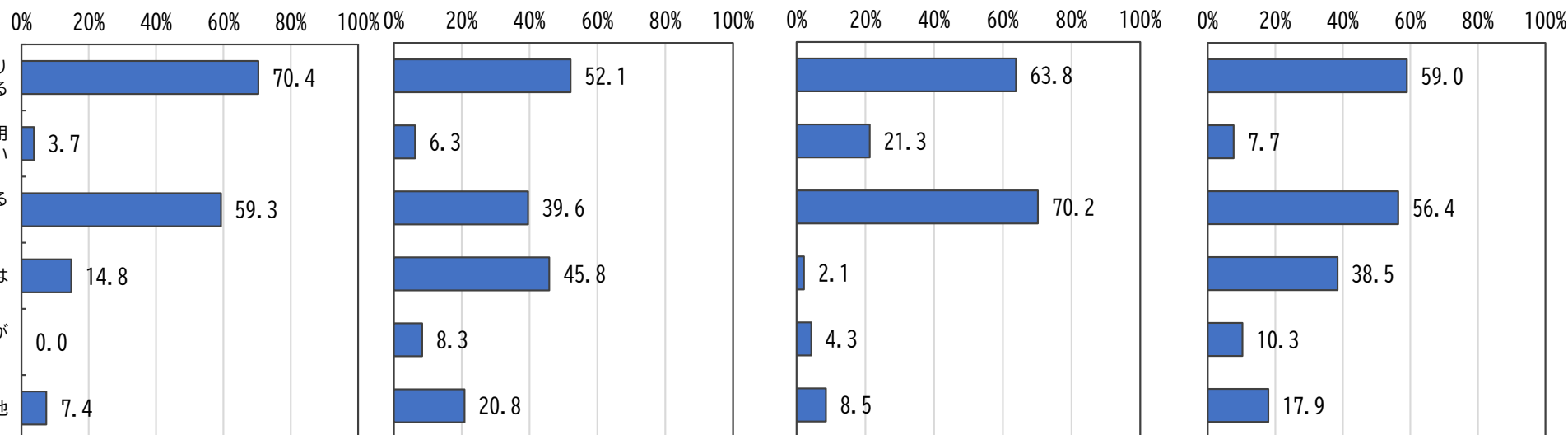
クロス集計:Q1-1,Q1-2 企業の属性×Q13 Q12で「②積極的に活用していない」を選択した理由

総合設計事務所 [n=27]

専門設計事務所 [n=48]

総合建設業 [n=47]

専門工事会社 [n=39]



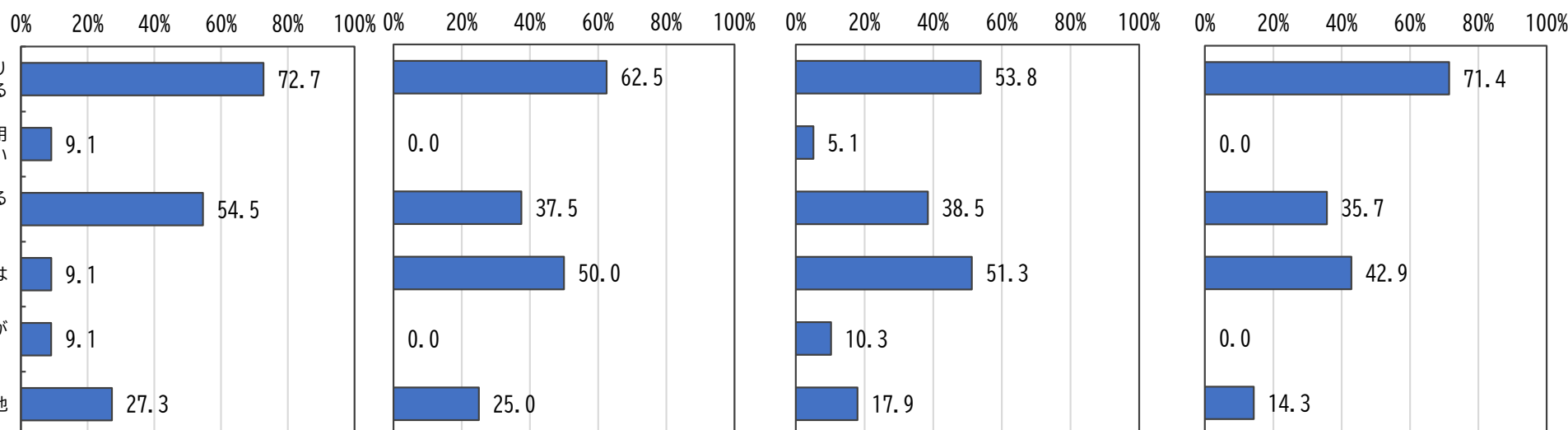
<専門設計事務所の主な内訳>

意匠設計 [n=11]

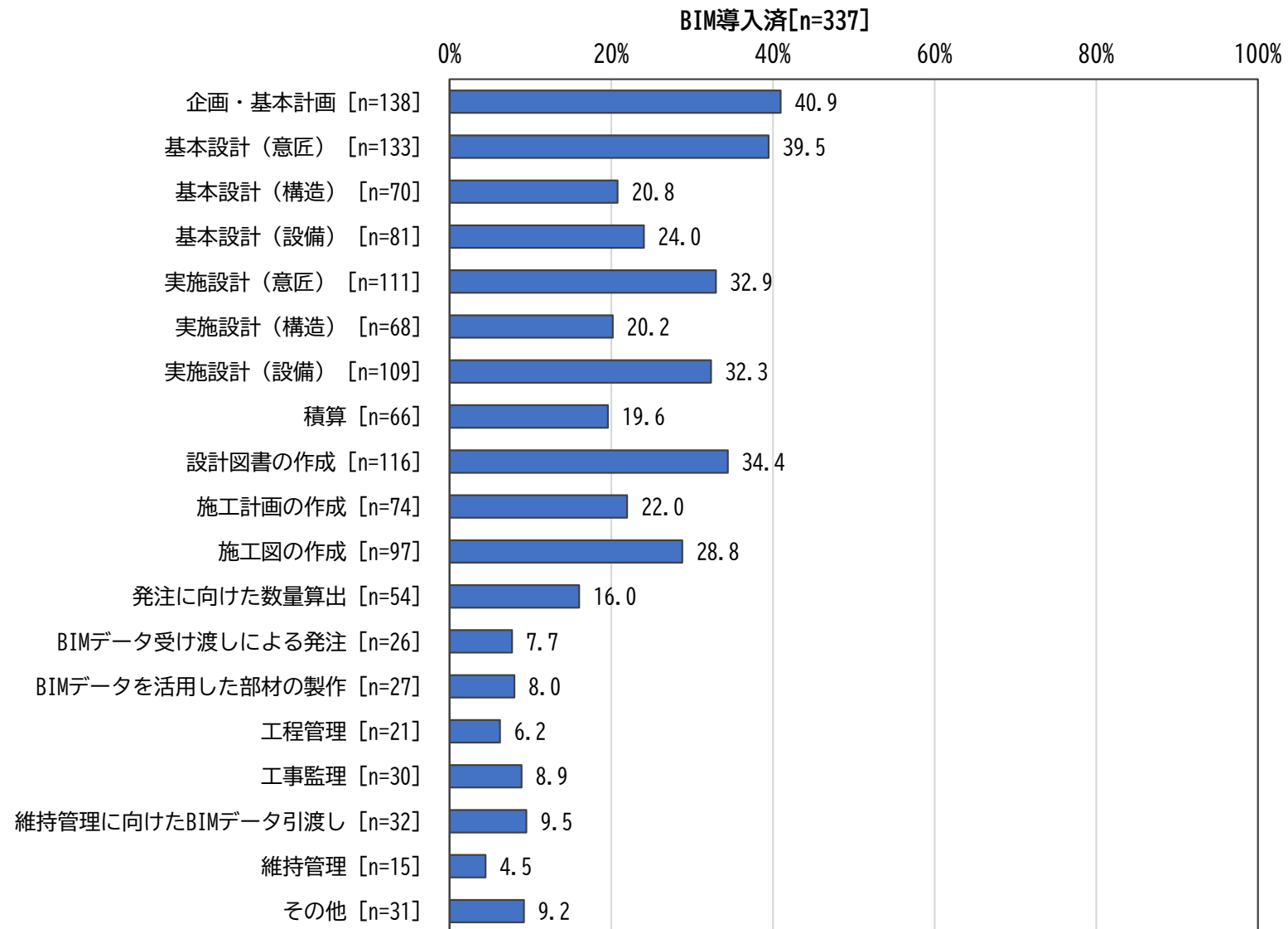
構造設計 [n=8]

設備設計 [n=39]

積算 [n=14]

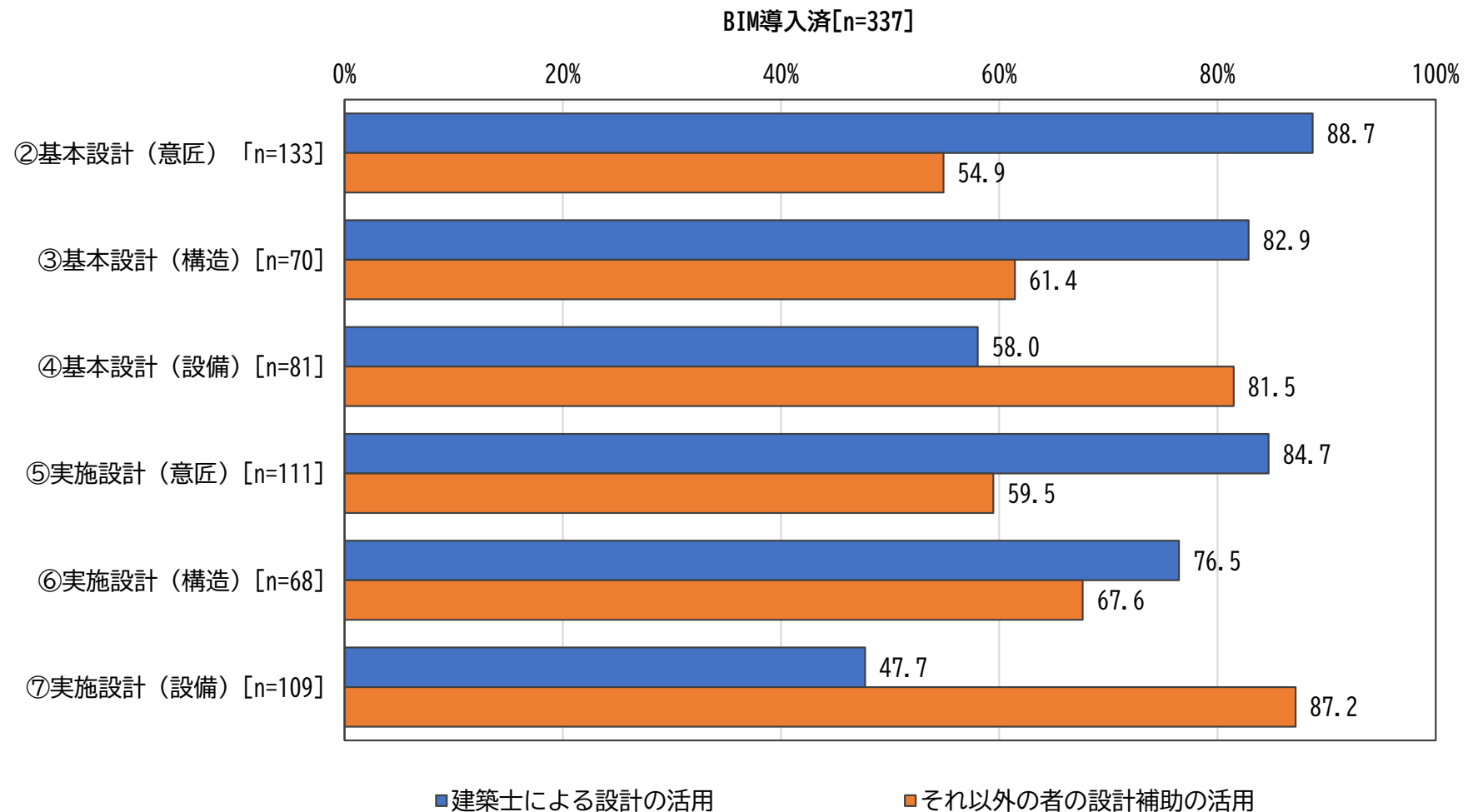


Q14a:所属部署でBIMを活用しているフェーズ等(複数回答/%)



・BIM活用のフェーズとしては「企画・基本計画」の回答が最も多い。

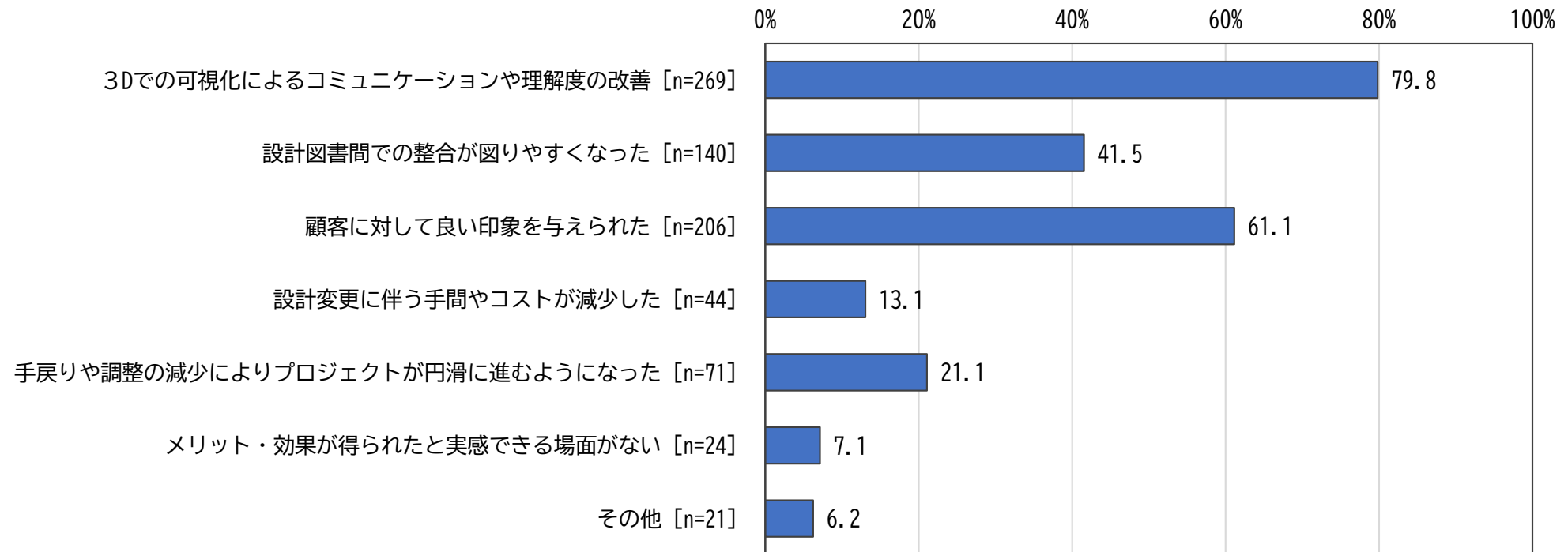
Q14b:所属部署でBIMを活用しているフェーズ等(複数回答/%)



・②基本設計(意匠)、③基本設計(構造)、⑤実施設計(意匠)、⑥実施設計(構造)は「建築士による設計の活用」の回答が多く、④基本設計(設備)、⑦実施設計(設備)は「それ以外の者の設計補助の活用」の回答が多い。

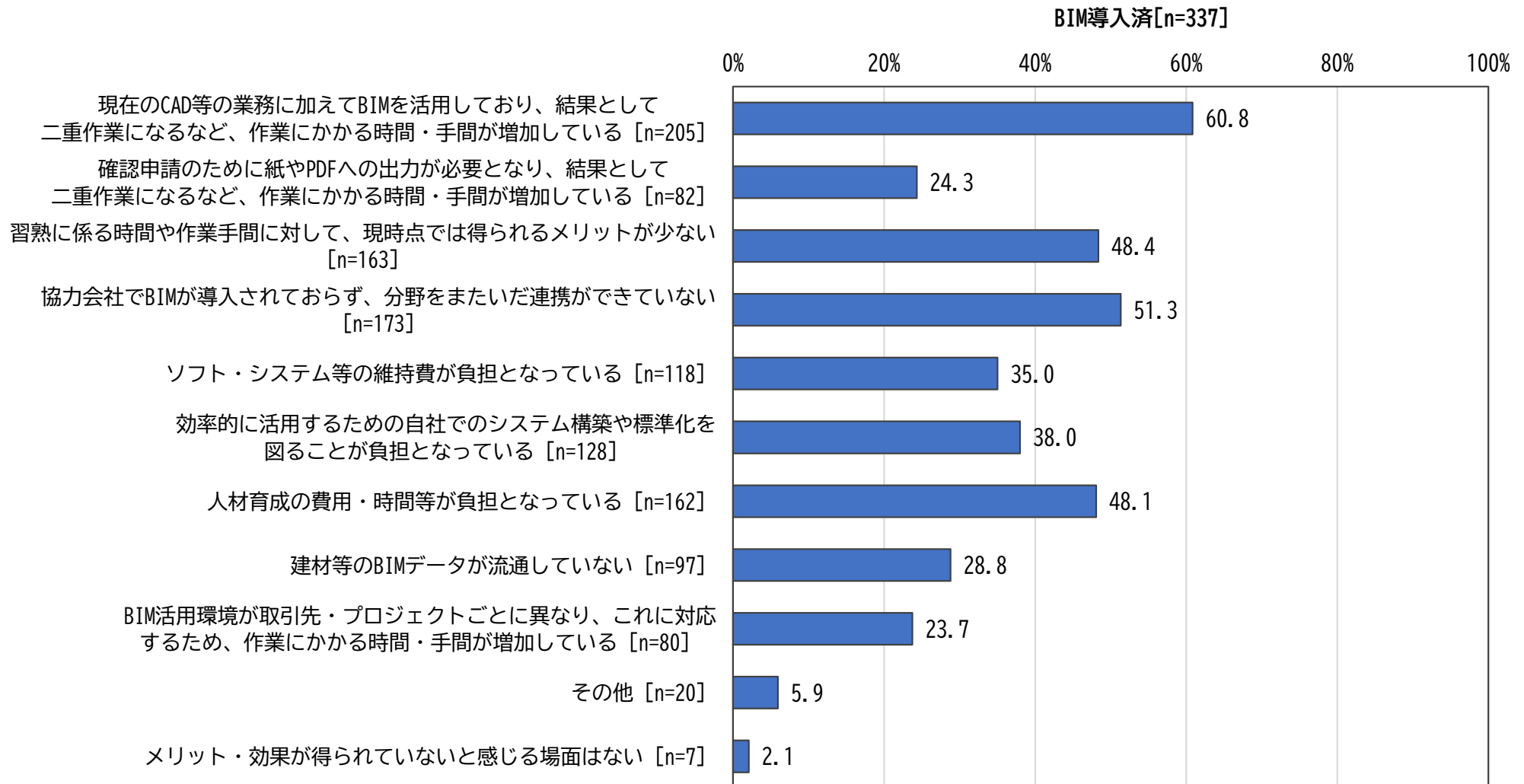
Q15:所属部署でBIMの導入によりメリット・効果が得られたと実感できる場面 (複数回答/%)

BIM導入済[n=337]



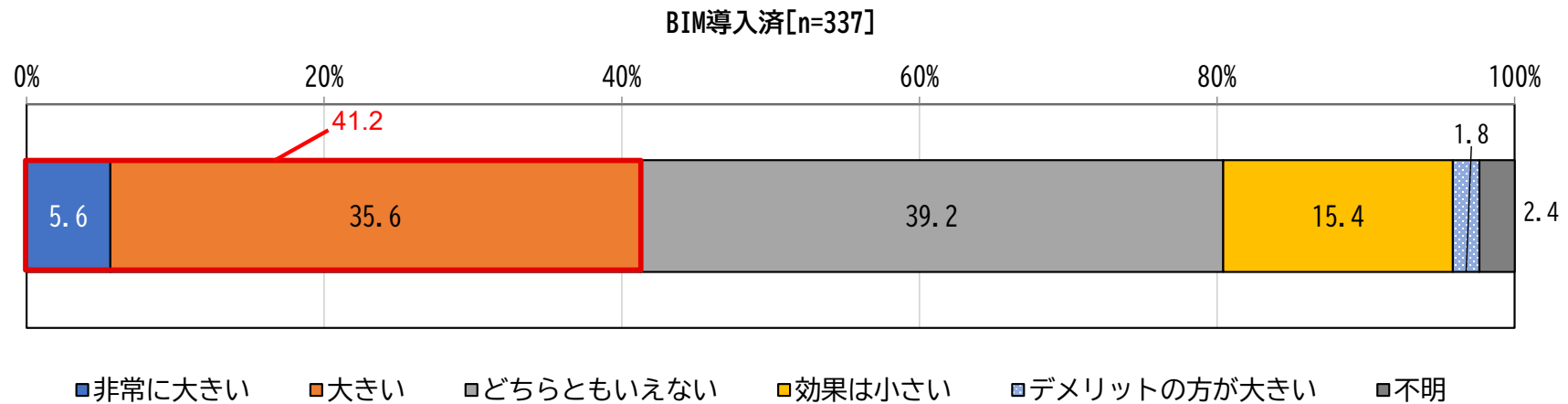
・メリット・効果を得られる場面としては「3Dでの可視化によるコミュニケーションや理解度の改善」が最も多い。

Q16：所属部署でBIMの導入によるメリット・効果が得られていないと感じる場面（複数回答/%）



・メリット・効果を得られていない場面としては「現在のCAD等の業務に加えてBIMを活用しており、結果として二重作業になるなど、作業にかかる時間・手間が増加している」の回答が最も多い。

Q17:BIMを活用したことによるメリット・効果(単一回答/%)

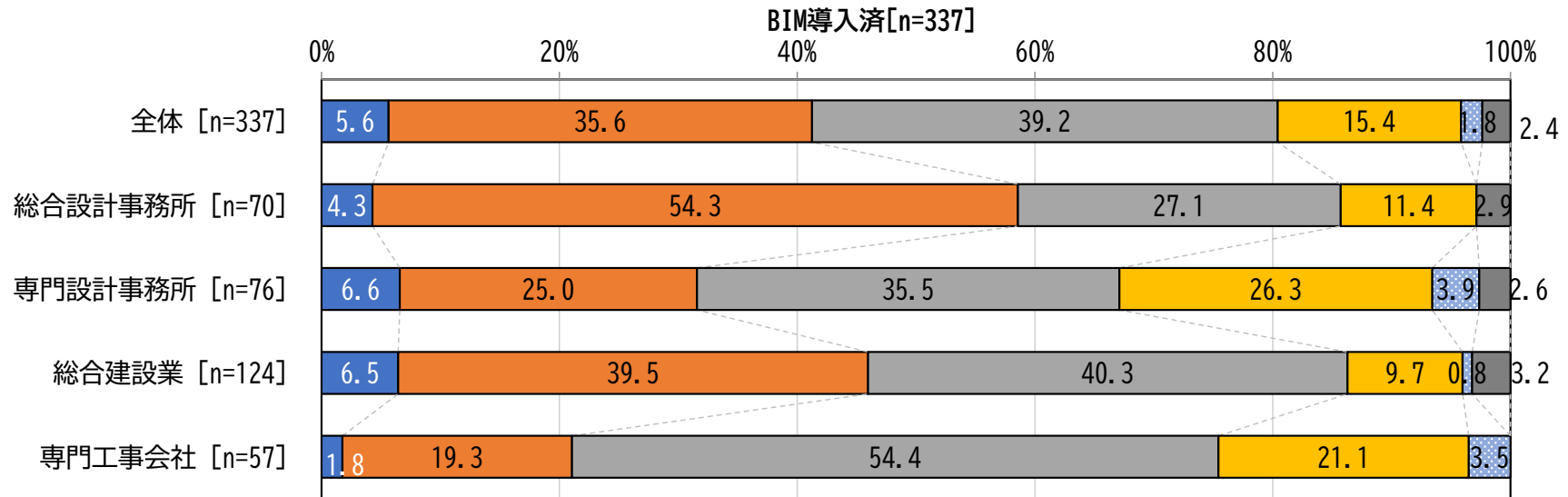


・BIMの活用によるメリット・効果を「非常に大きい」「大きい」と答える部署が41.2%に対し、「効果は小さい」と答える部署が15.4%、「デメリットの方が大きい」と答える部署が1.8%。

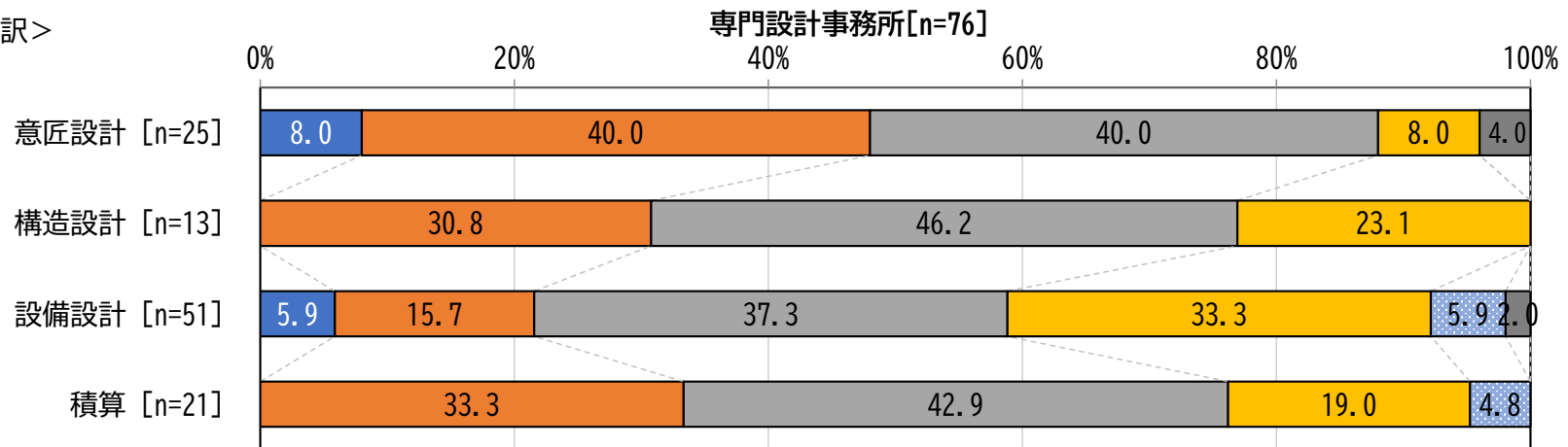
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R4年12月 国土交通省調べ)

クロス集計:Q1-1,Q1-2 企業の属性×Q17 BIMを活用したことによるメリット・効果

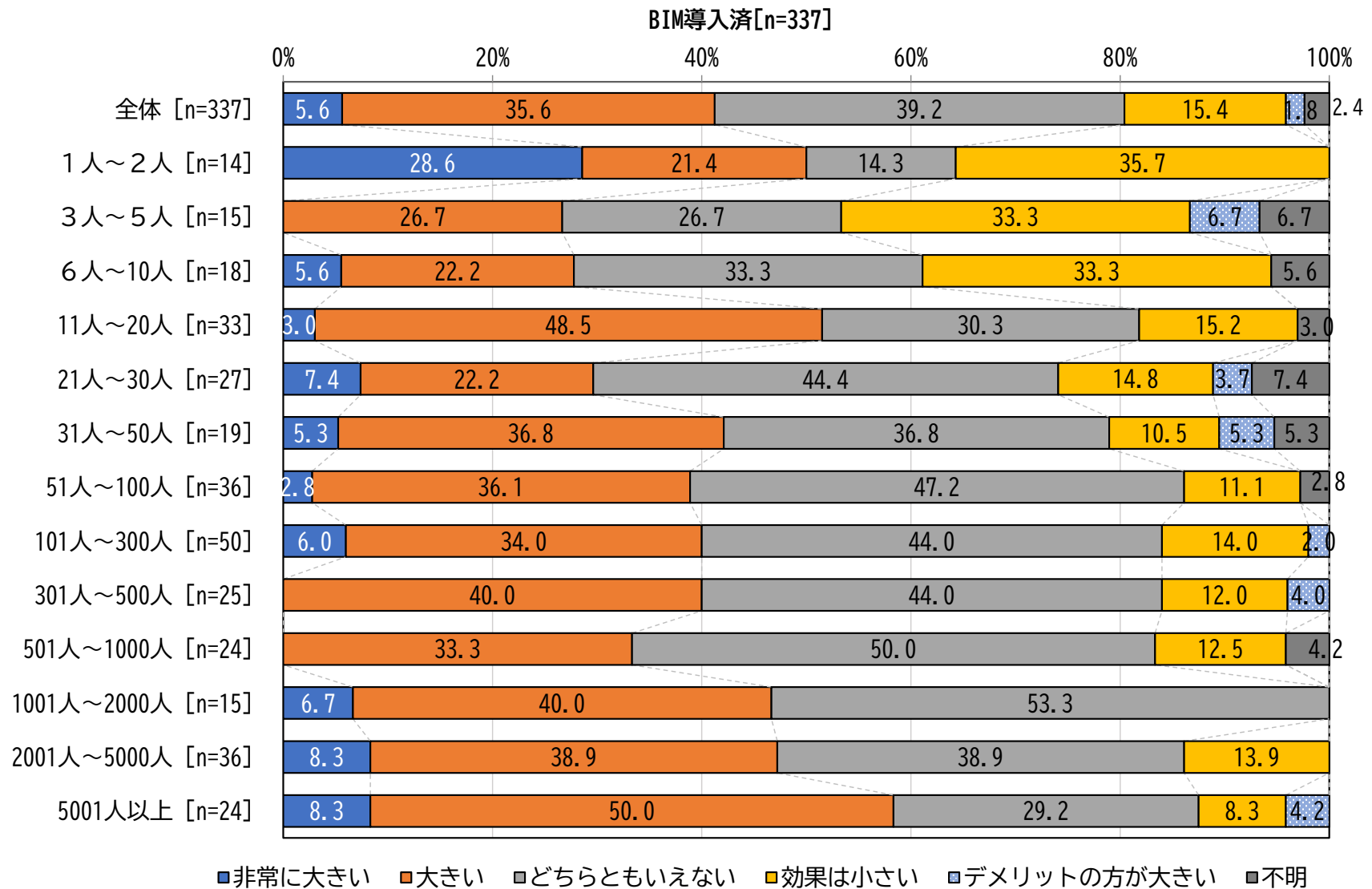


<専門設計事務所の主な内訳>

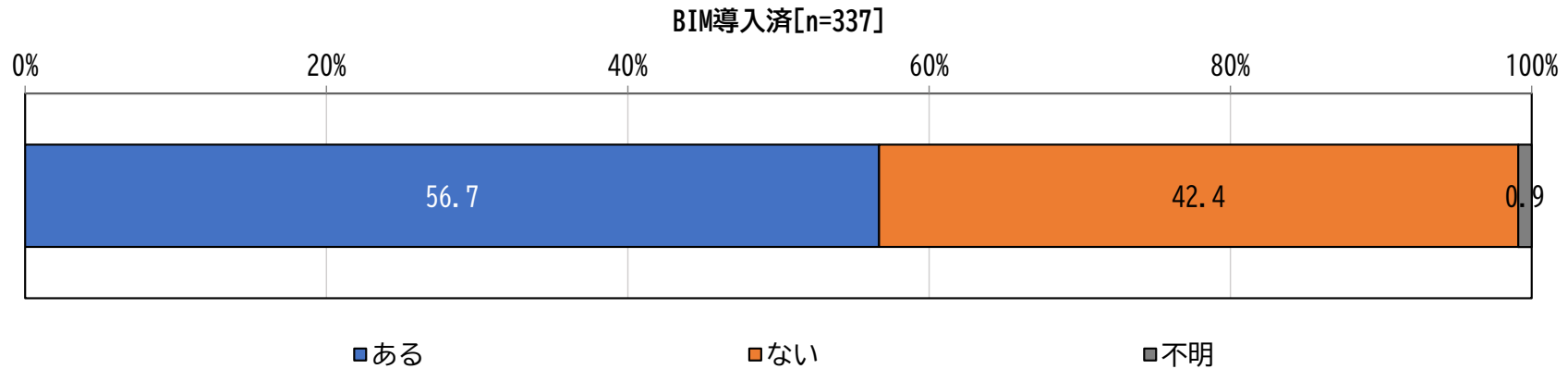


■非常に大きい ■大きい ■どちらともいえない ■効果は小さい ■デメリットの方が大きい ■不明

クロス集計:Q1-4 所属する企業の規模(従業員数)×Q17 BIMを活用したことによるメリット・効果

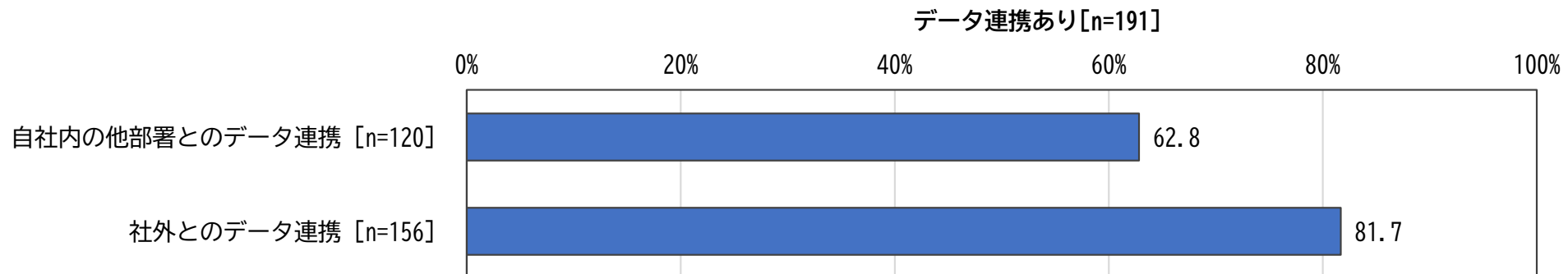


Q18: BIM活用において、これまでに所属部署と自社内の他部署、又は社外とのデータ連携を行ったことはあるか (単一回答/%)



・データ連携を行ったことがある部署が56.7%に対し、行ったことがない部署が42.4%。

Q19: Q18で「1.ある」を選択した場合、どのようなデータ連携か(複数回答/%)

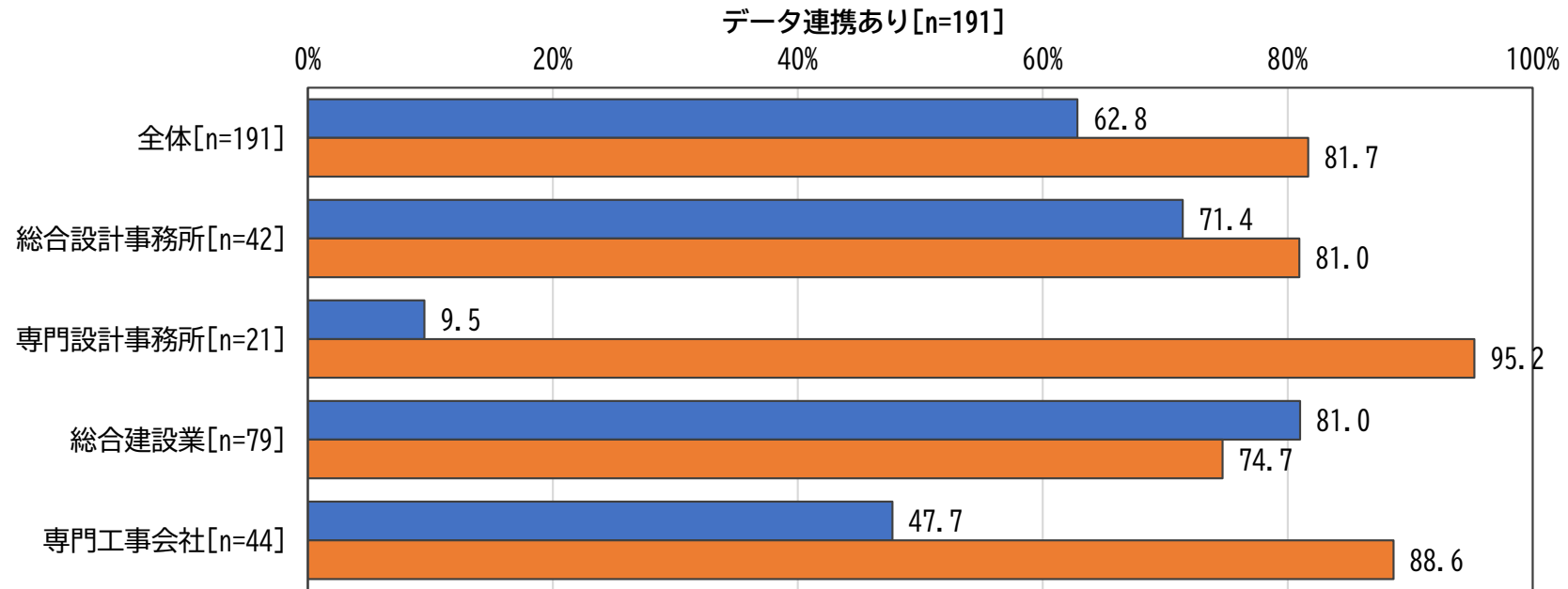


・データ連携の連携先としては「社外とのデータ連携」の方が「社内とのデータ連携」よりも多い。

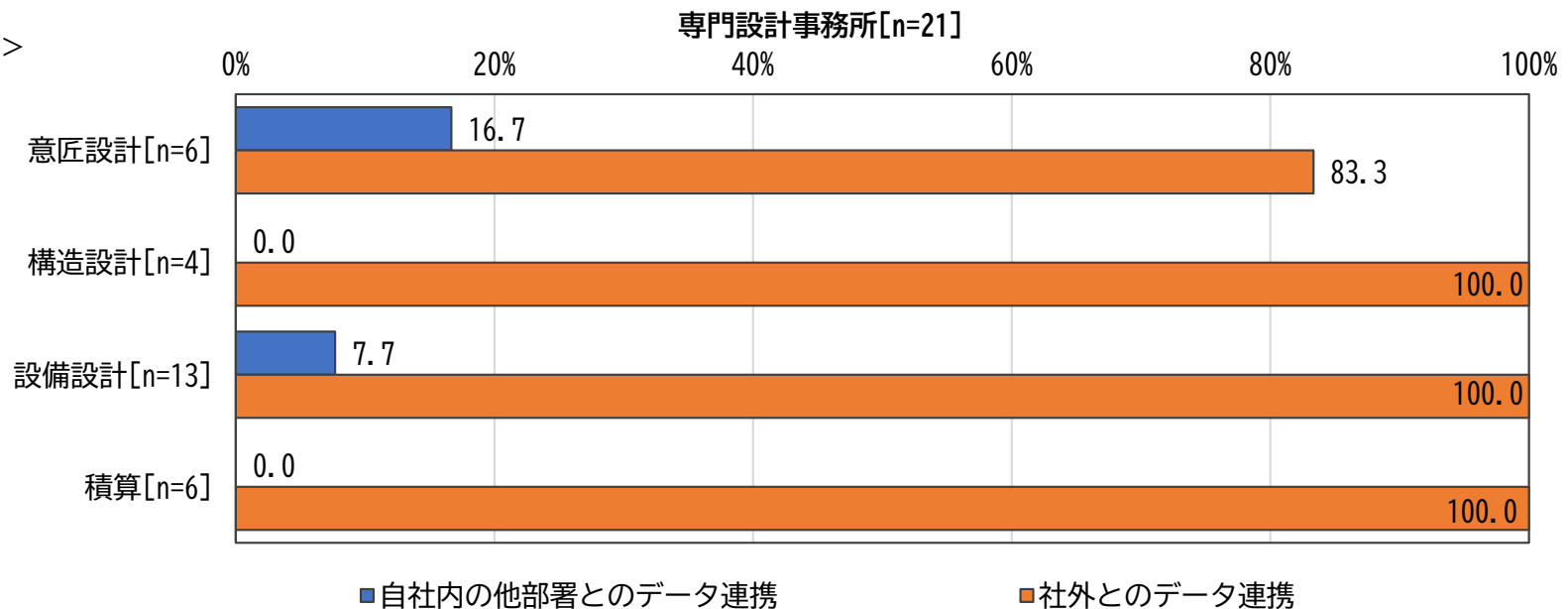
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R4年12月 国土交通省調べ)

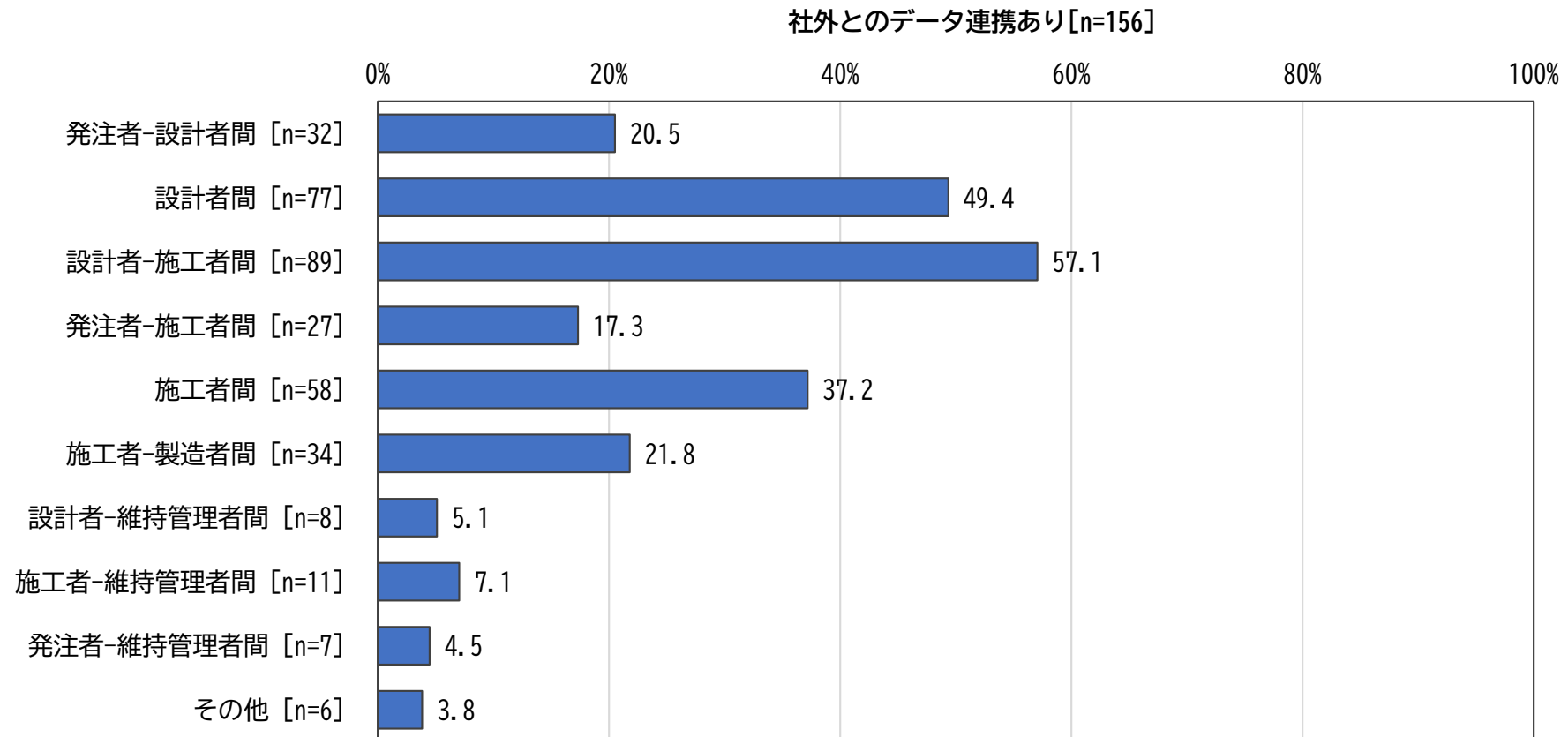
クロス集計： Q1-1,Q1-2 企業の属性× Q19 Q18で「①ある」を選択した場合は、具体的にどのようなデータ連携か



<専門設計事務所の主な内訳>

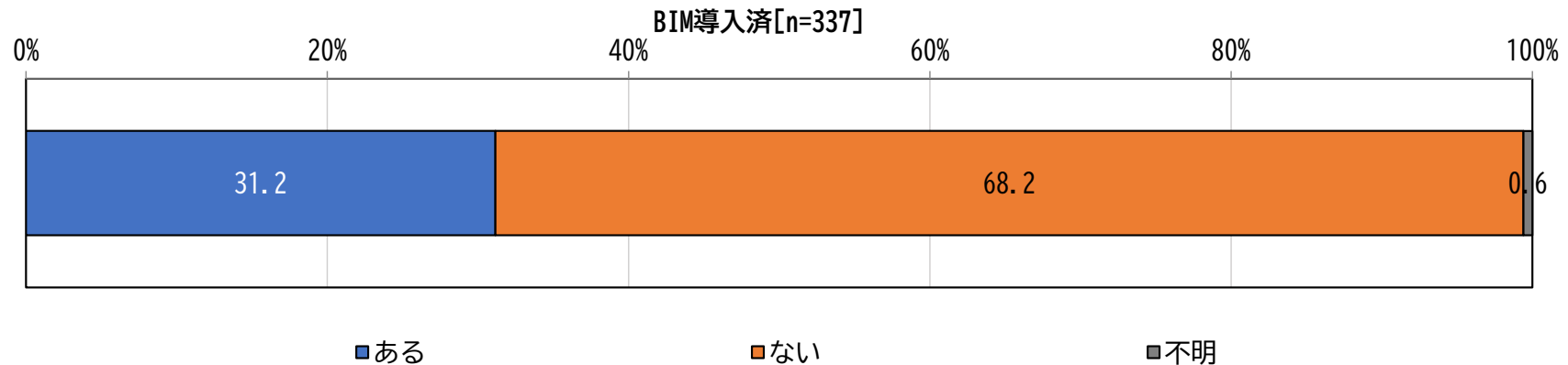


Q20:Q19で「2.社外とのデータ連携」を選択した場合、どのようなデータ連携か(複数回答/%)



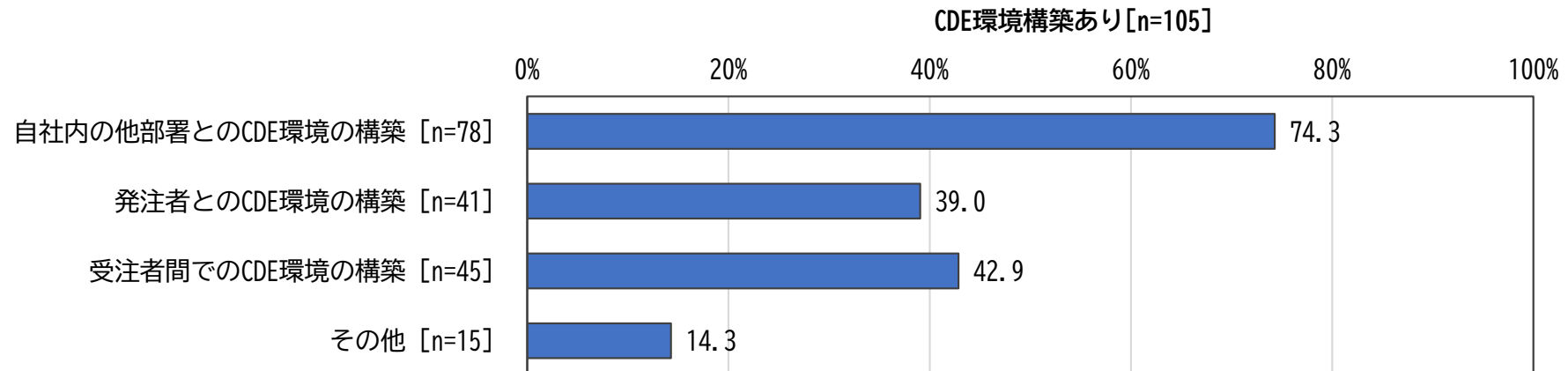
・社外とのデータ連携としては「設計者-施工者間」の連携が最も多い。

Q21:所属部署でのBIMの活用において、クラウドサーバー上に共通データ環境(CDE環境)を構築し、BIMプロジェクトを行ったことはあるか(単一回答/%)



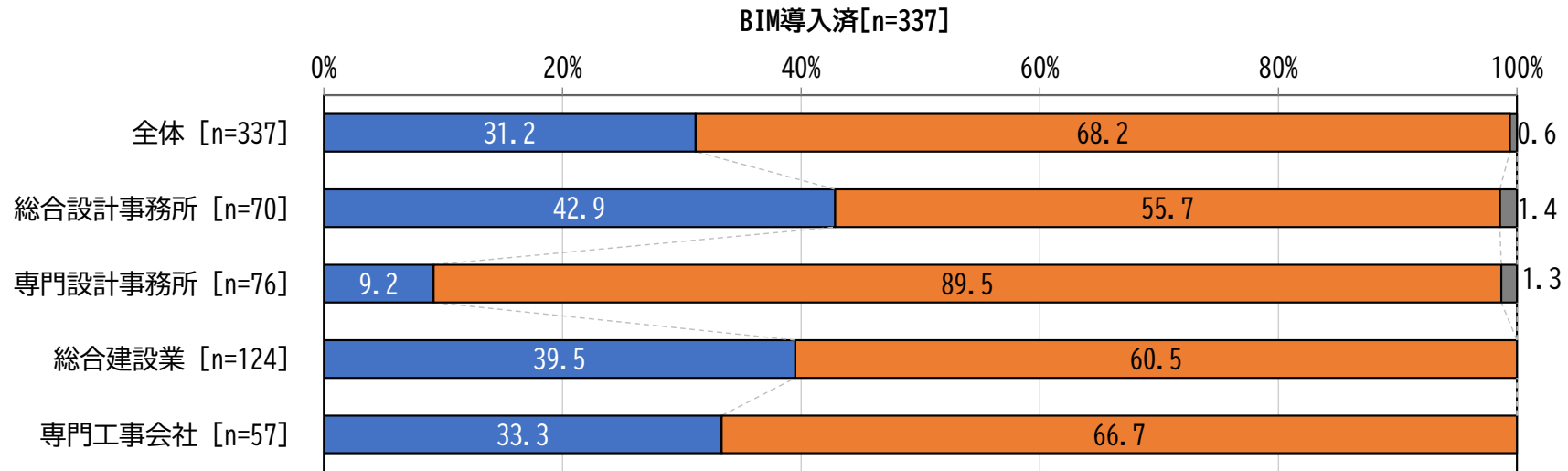
・共通データ環境(CDE環境)を構築してBIMプロジェクトを行ったことがある部署が31.2%に対し、行ったことがない部署が68.2%。

Q22:Q21で「1.ある」を選択した場合、どのようなCDE環境の構築を行ったか(複数回答/%)

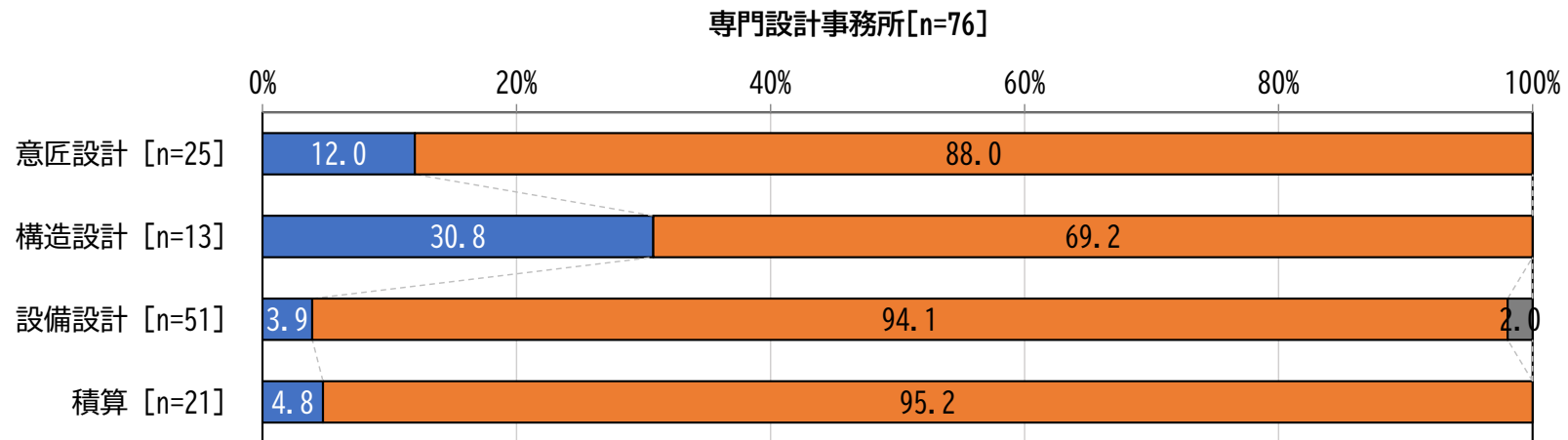


・CDE環境構築の具体的な構築あり方としては「自社内の他部署とのCDE環境の構築」が最も多い。

クロス集計:Q1-1,Q1-2 企業の属性
 ×Q21 所属部署でのBIMの活用において、共通データ環境(CDE環境)を構築し、BIMプロジェクトを行ったことはあるか

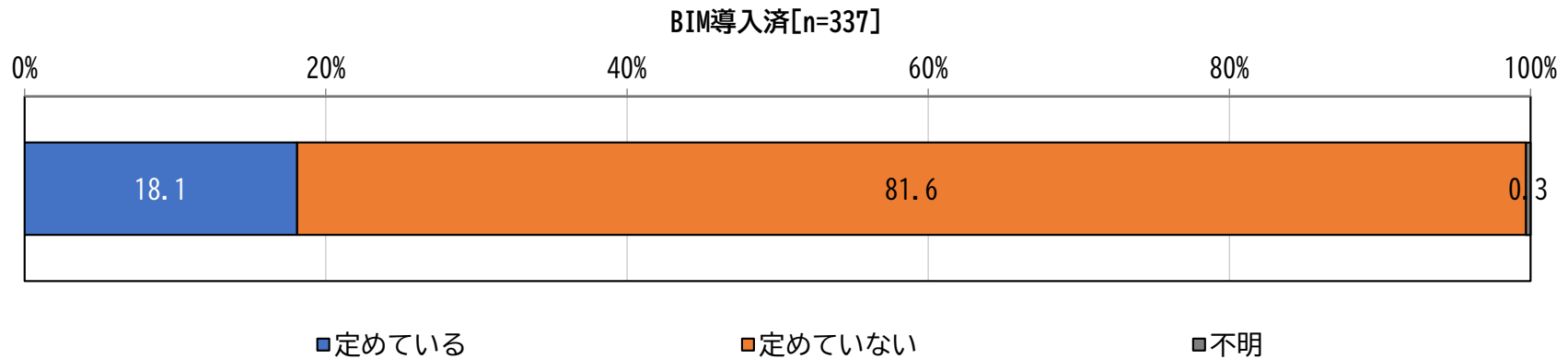


<専門設計事務所の主な内訳>



■ある ■ない ■不明

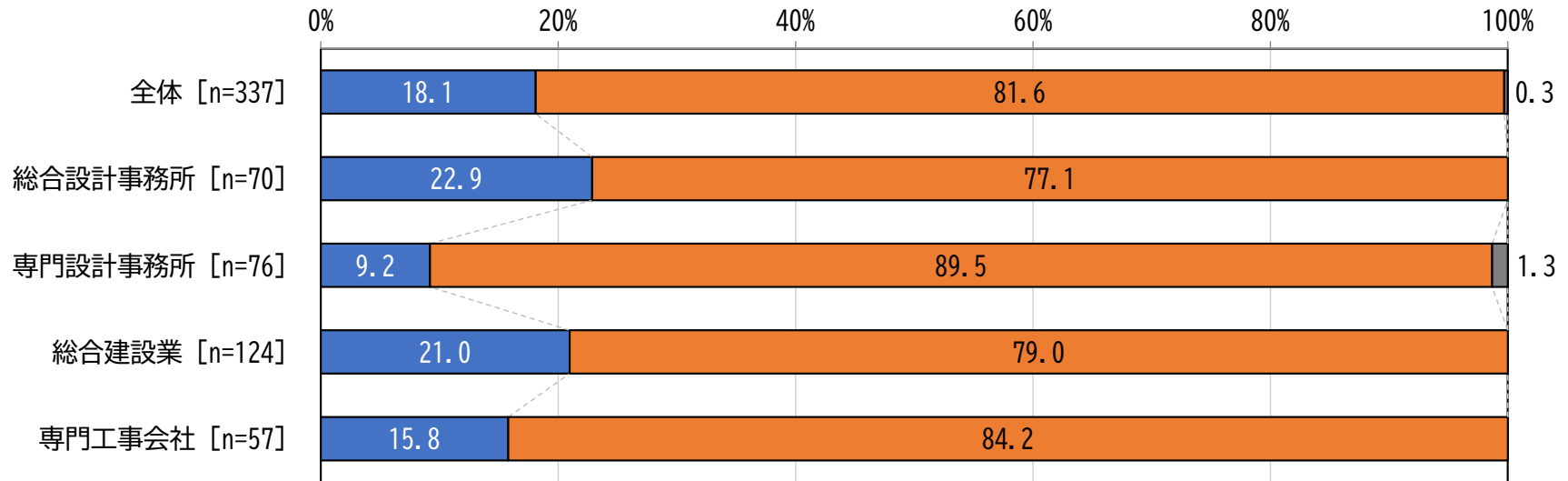
Q23:所属部署でのプロジェクト完了後のBIMデータの保管について、社内でルールを定めているか(単一回答/%)



・BIIMデータ保管の社内ルールとしては「定めている」の回答が18.1%に対し、「定めていない」の回答が81.6%。

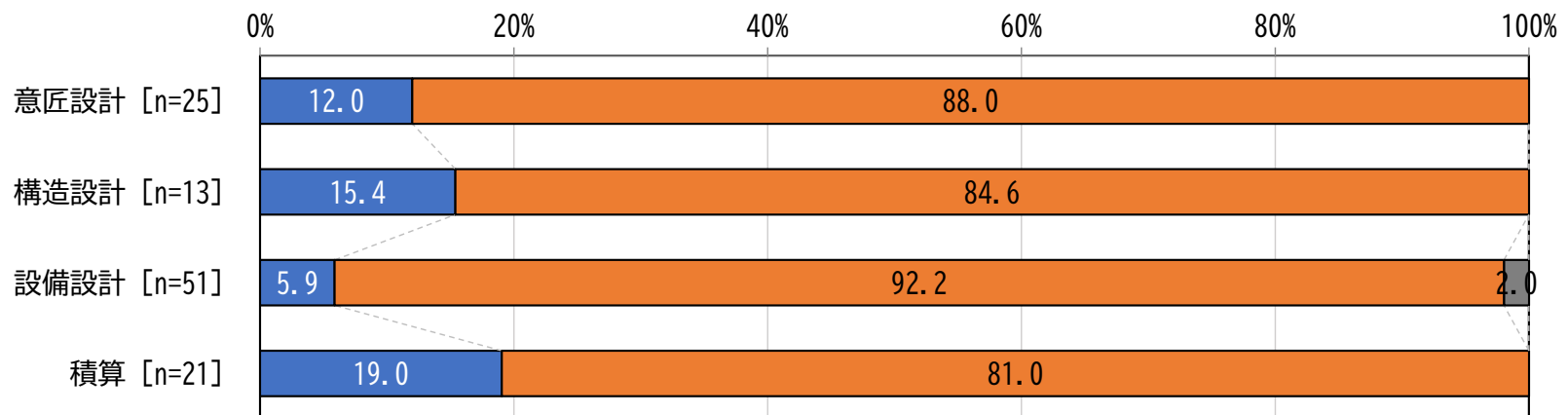
クロス集計:Q1-1,Q1-2 企業の属性
 ×Q23 所属部署でのプロジェクト完了後のBIMデータの保管について、社内でルールを定めているか(%)

BIM導入済[n=337]



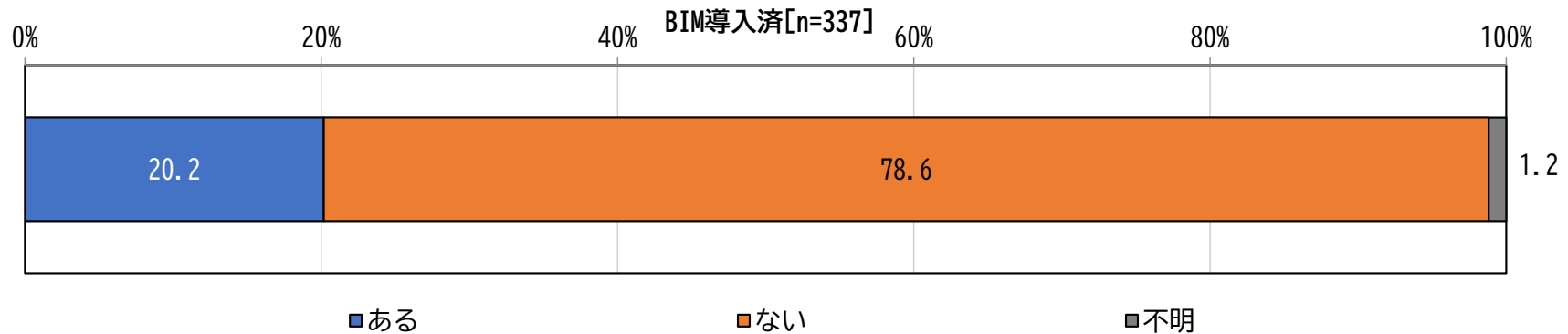
<専門設計事務所の主な内訳>

専門設計事務所[n=76]



■定めている ■定めていない ■不明

Q24: BIMデータの権利(著作権や所有権)とBIM活用の推進の関係についてのご意見やお考え(単一回答/%)



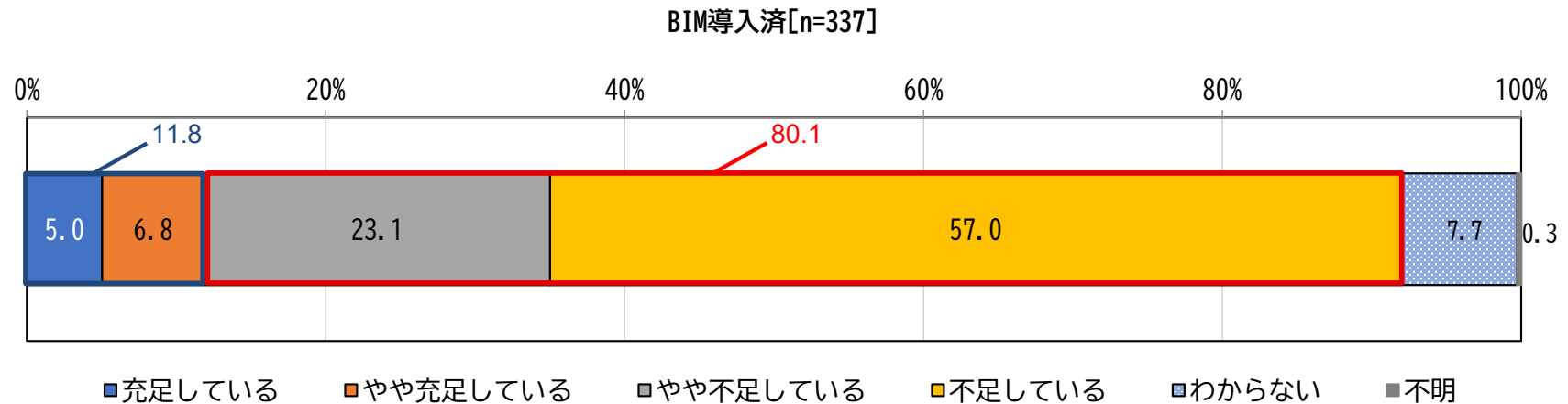
・BIMデータの権利について、意見や考えが「ある」の回答が20.2%に対し、「ない」の回答が78.6%。

Q25: Q24で「1.ある」を選択した場合のご意見・お考え(自由回答/%)

以下、自由回答を事務局にて分類

- BIMデータの著作権やデータ受け渡しに係る契約・ルール等が必要(29)
- BIMデータを受け渡す際の費用対応(のルール等)が必要(13)
- BIMデータの権利の区分に課題あり(9)
- BIMデータの受け渡し等には情報・知財保護等の課題あり(7)
- データ受け渡し等が有償であることは、普及の妨げ(2)
- オープンデータが増えるとよい(2)
- その他

Q26:所属部署におけるBIMを活用する人材の充足状況(単一回答/%)

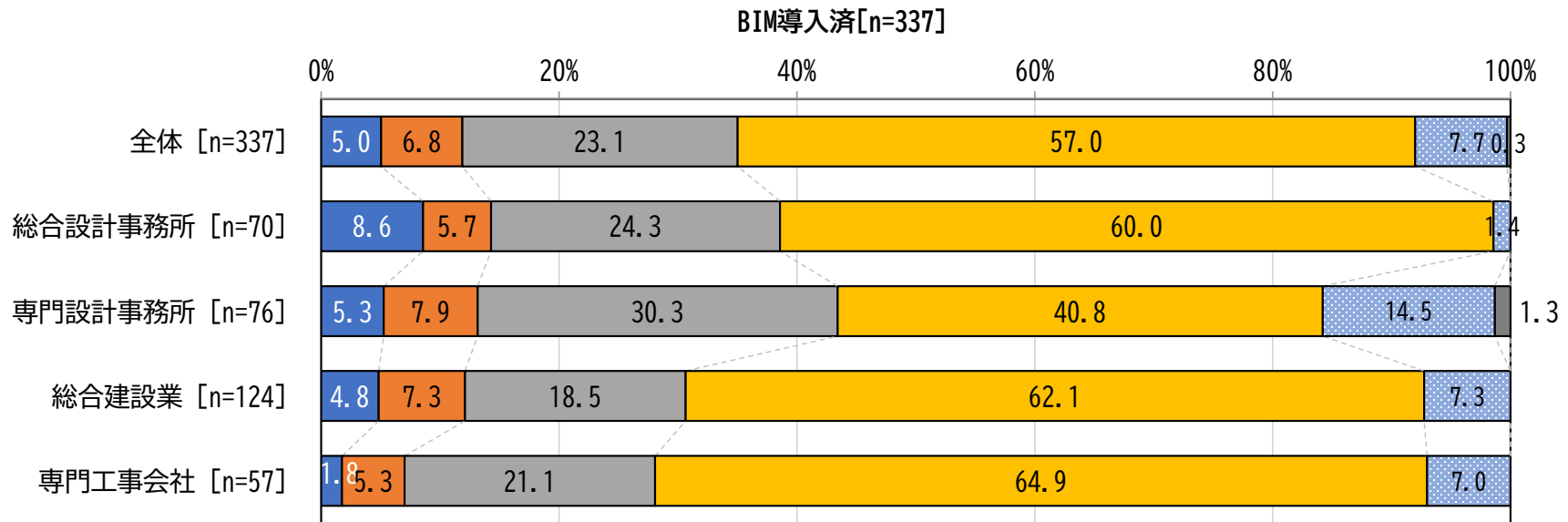


・人材の充足状況としては「充足している」「やや充足している」の回答が11.8%に対し、「やや不足している」「不足している」の回答が80.1%。

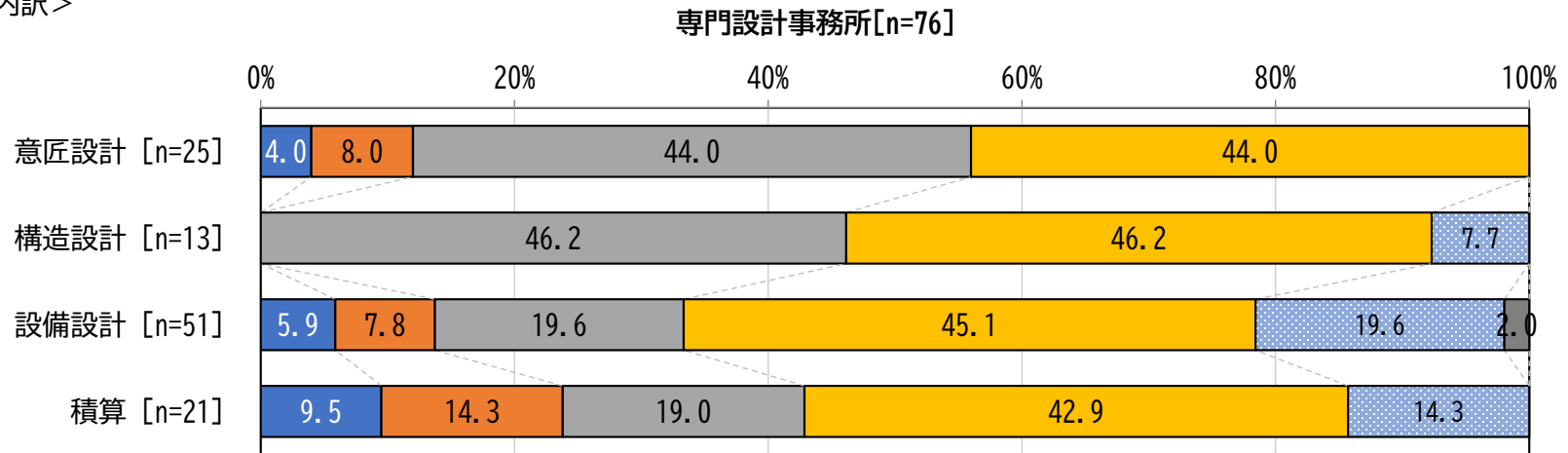
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R4年12月 国土交通省調べ)

クロス集計:Q1-1,Q1-2 企業の属性×Q26 所属部署におけるBIMを活用する人材の充足状況(%)



<専門設計事務所の主な内訳>

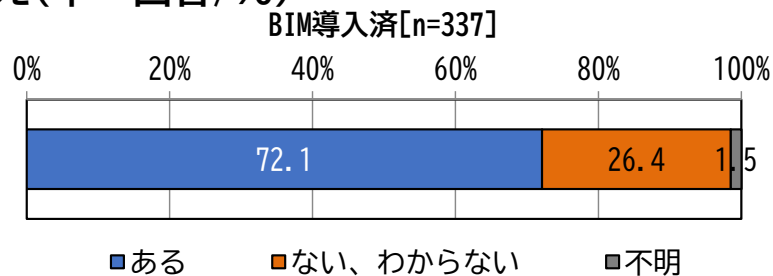


■充足している ■やや充足している ■やや不足している ■不足している ■わからない ■不明

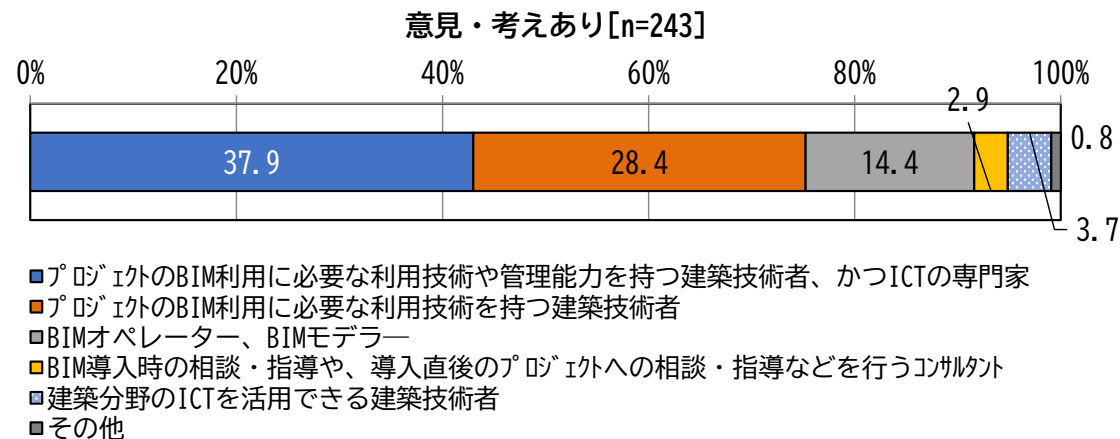
集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R4年12月 国土交通省調べ)

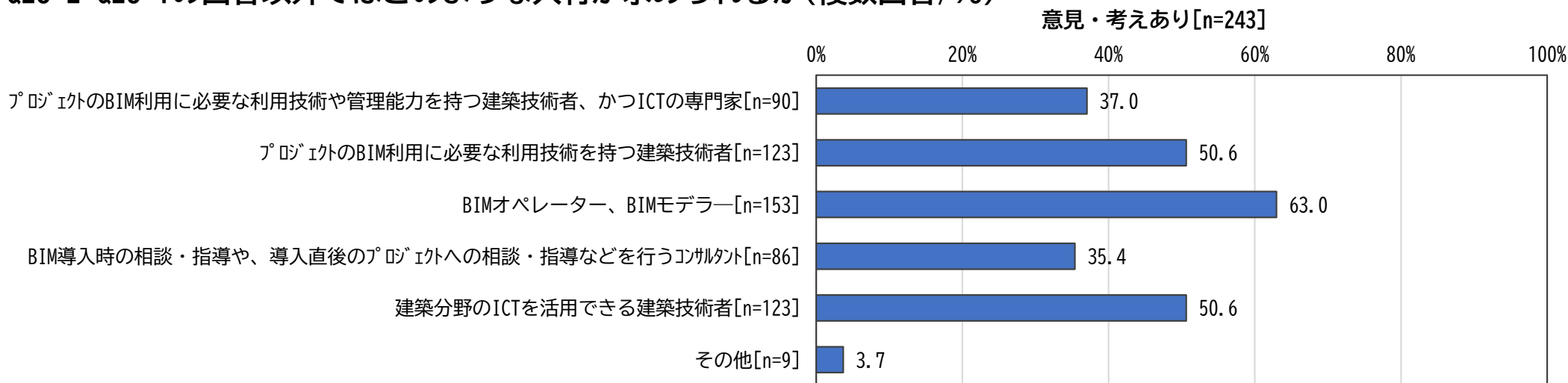
Q27:所属部署におけるBIMの活用を推進するにあたり、今後、求められる人材についてのご意見やお考え(単一回答/%)



Q28-1:所属部署におけるBIMの活用を推進するにあたり、今後、どのような人材が最も求められるか(単一回答/%)



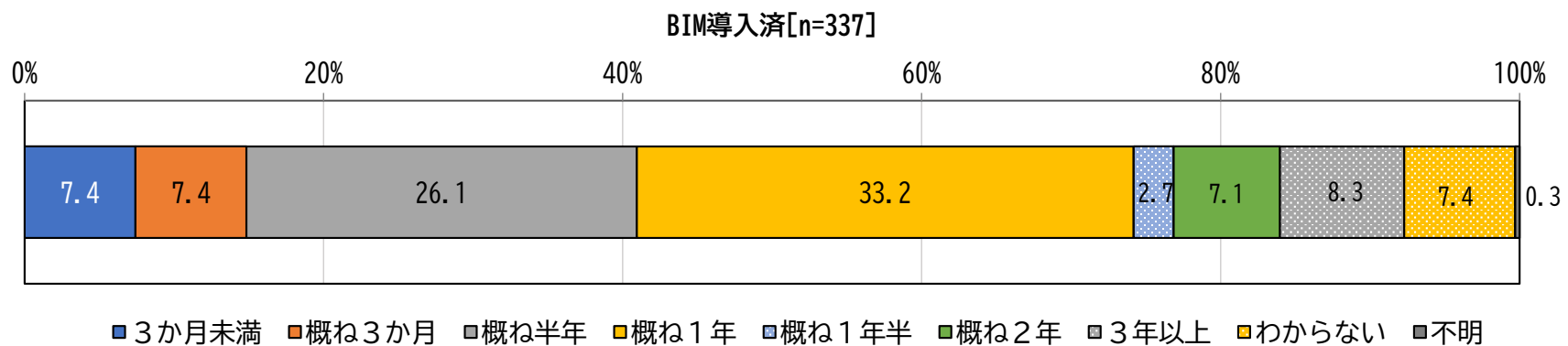
Q28-2:Q28-1の回答以外ではどのような人材が求められるか(複数回答/%)



・最も求められる人材としては「BIMの利用技術・管理能力をもつ建築技術者かつICTの専門家」の回答が最も多い。

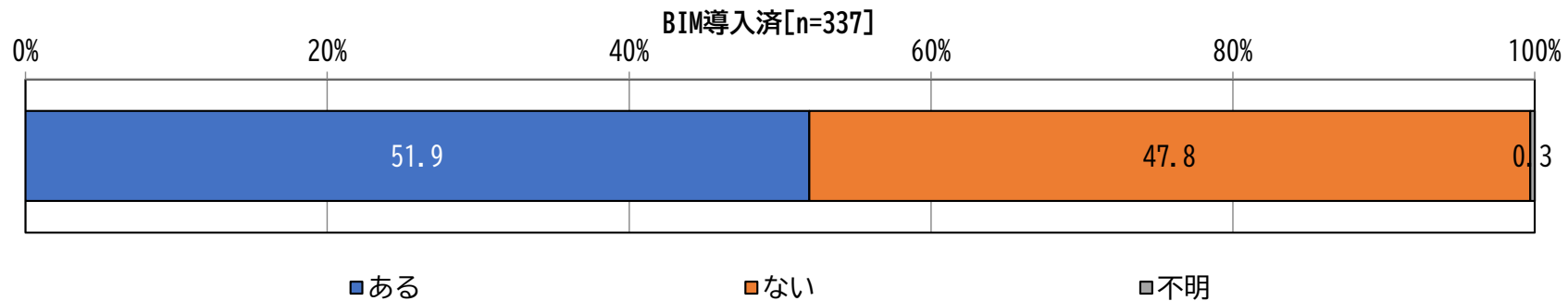
・2番目以降に求められる人材としては「BIMオペレーター、BIMモデラー」の回答が最も多い。

Q29:所属部署において、BIMを活用する人材を育成するために必要な教育期間の目安(単一回答/%)

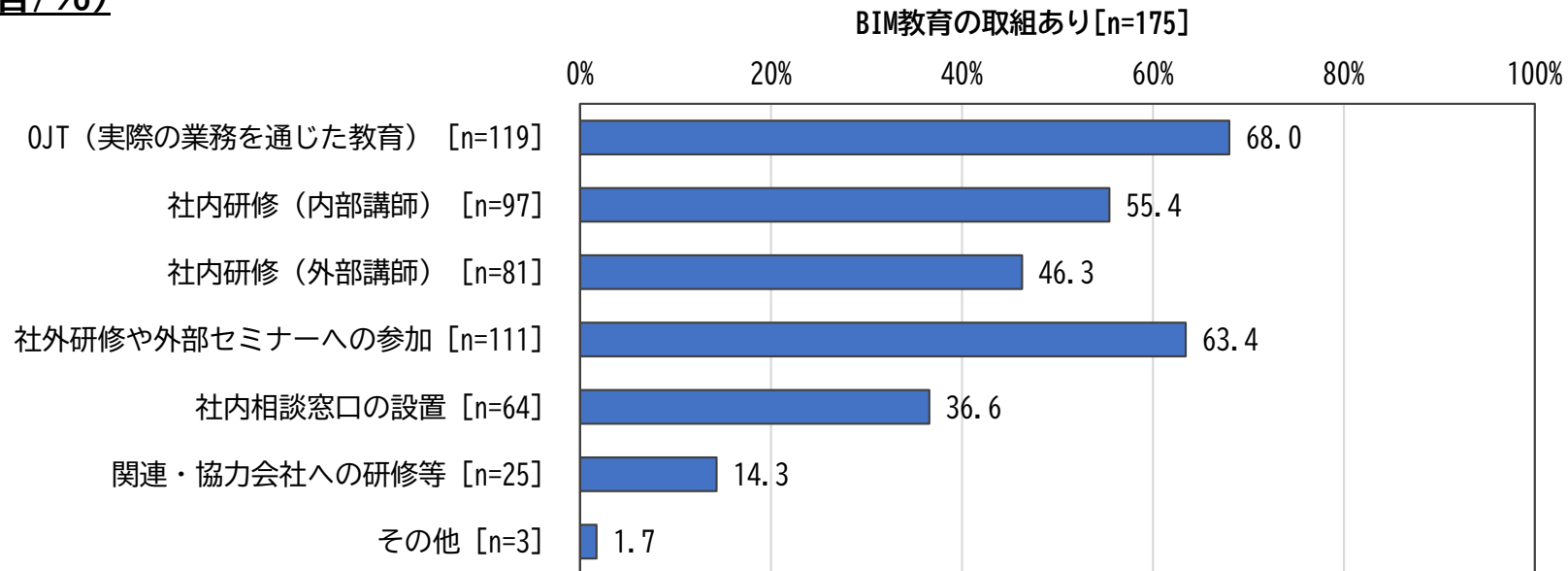


・人材育成に必要な期間としては「概ね1年」の回答が最も多い。

Q30:所属企業が行っている「BIMに関する教育の取組」はあるか(単一回答/%)



Q31:Q30で「1.ある」を選択した場合、所属企業が行っている「BIMに関する教育の取組」について(複数回答/%)

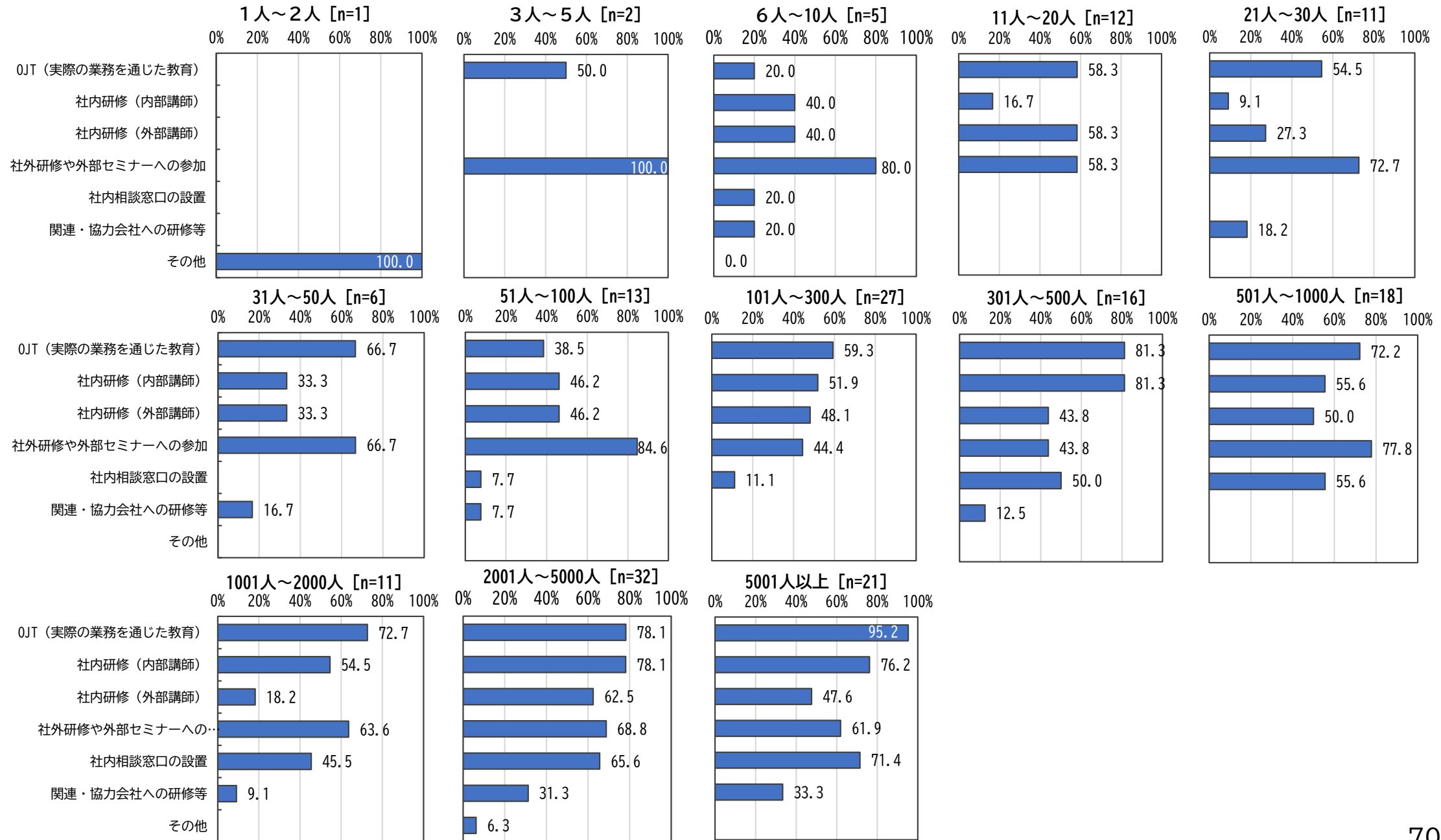


・所属企業が行っている「BIMに関する教育の取組」としては「OJT(実際の業務を通じた教育)」が最も多い。

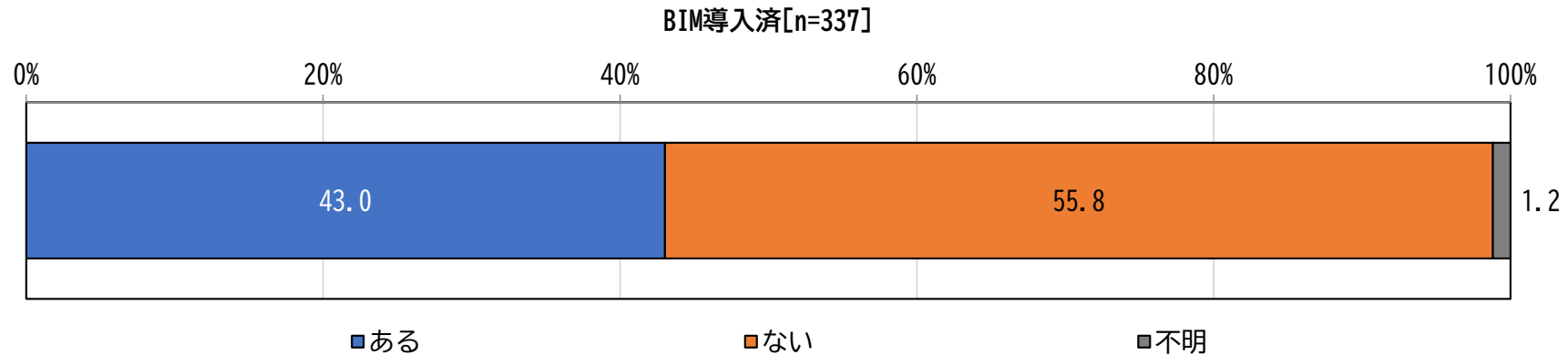
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R4年12月 国土交通省調べ)

クロス集計:Q1-4 所属する企業の規模(従業員数)×Q31 所属企業でのBIMに関する教育としてどのような取り組みを行っているか(%)

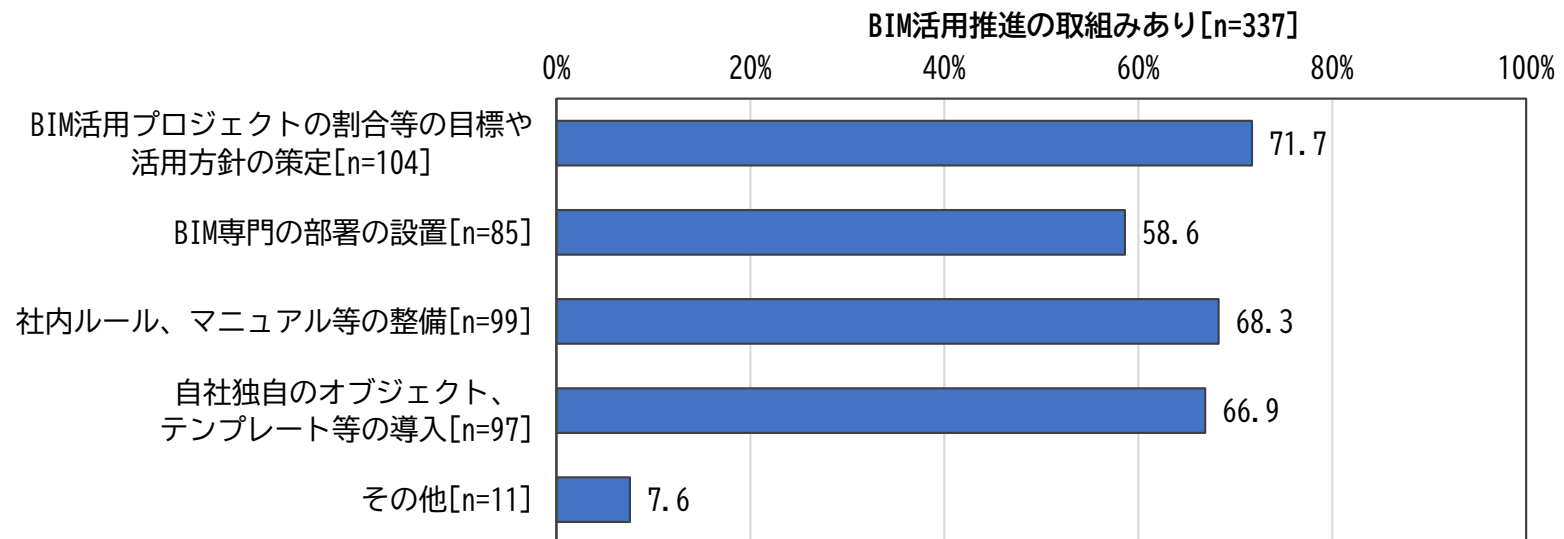


Q32: BIMの活用推進にあたり、所属企業が行っている取組はあるか(単一回答/%)



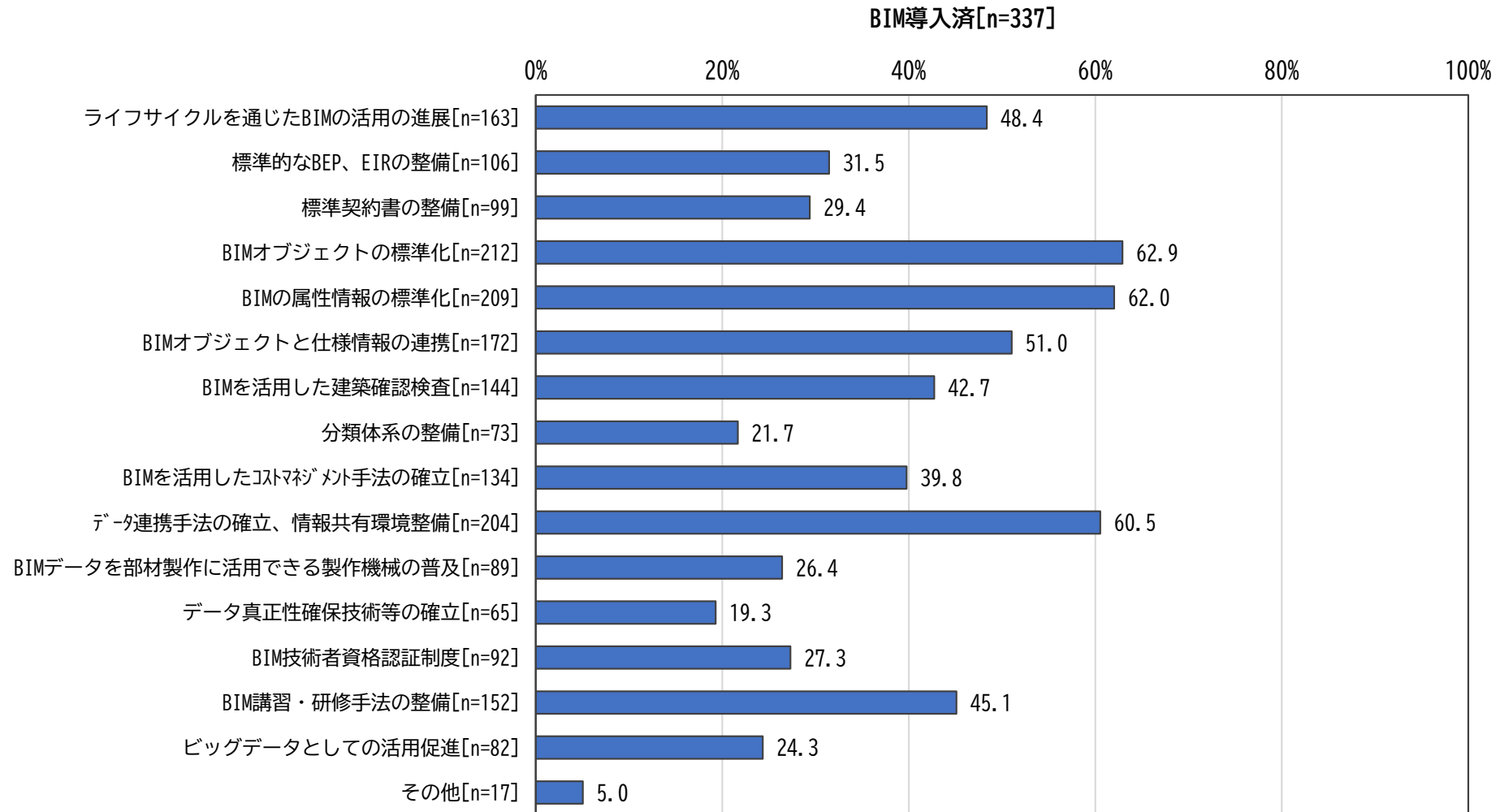
・BIM活用推進にあたっての企業としての取り組みがある企業が43.0%に対し、取組みがない企業が55.8%。

Q33: Q32で「1.ある」を選択した場合、所属企業が行っている「BIMの活用推進に向けた取組」について(複数回答/%)



・BIM活用推進に向けた取り組みとしては「BIM活用プロジェクトの割合等の目標や活用方針の策定」の回答が最も多い。

Q34:国内でBIMの普及を図る上で、今後の展開に特に期待すること(複数回答/%)

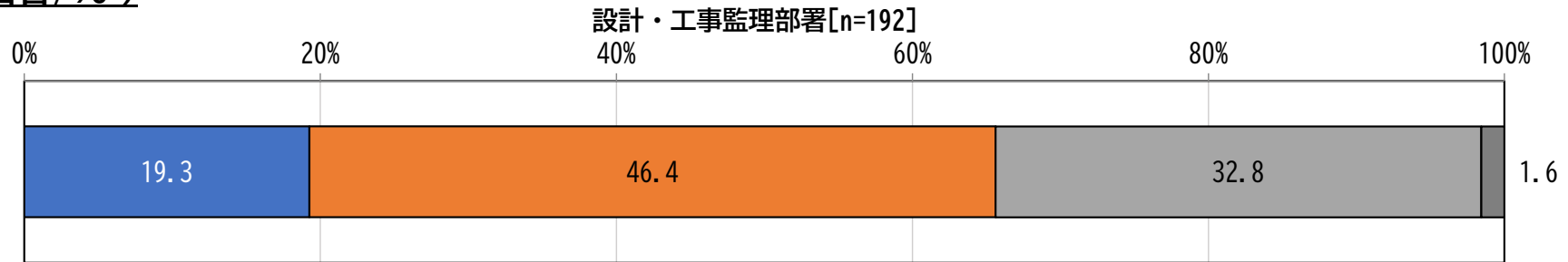


・今後の展開に特に期待することとして、「BIMオブジェクトの標準化」が最も多い。

集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R4年12月 国土交通省調べ)

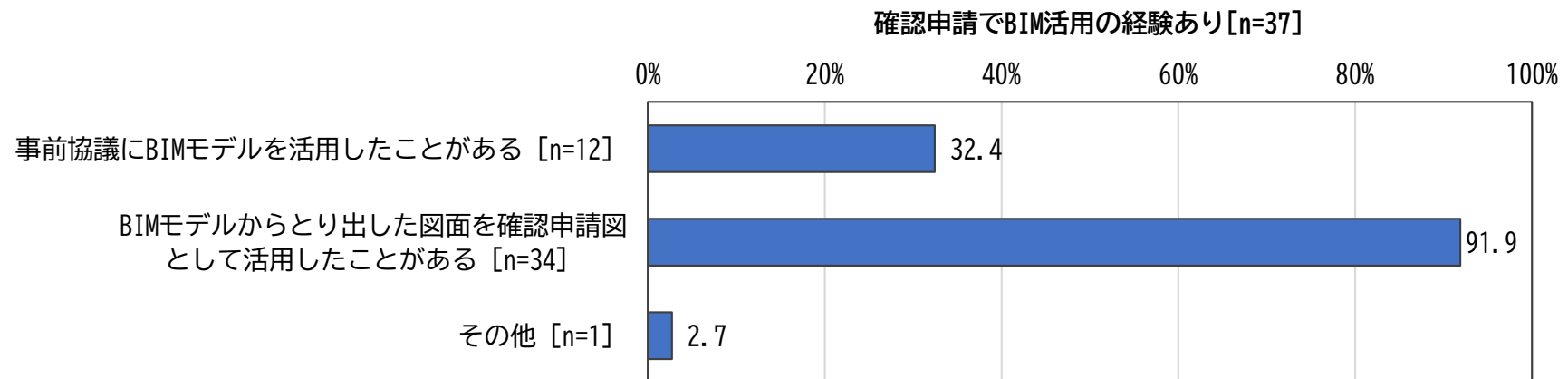
Q38 [設計または工事監理を主な業務内容とする部署について]所属部署での建築確認申請手続きにBIMを活用した経験 (単一回答/%)



- 所属部署で建築確認申請業務を行っており、BIMを活用した経験がある
- 所属部署で建築確認申請業務を行っているが、BIMを活用した経験はない
- 所属部署では建築確認申請を行っていない
- 不明

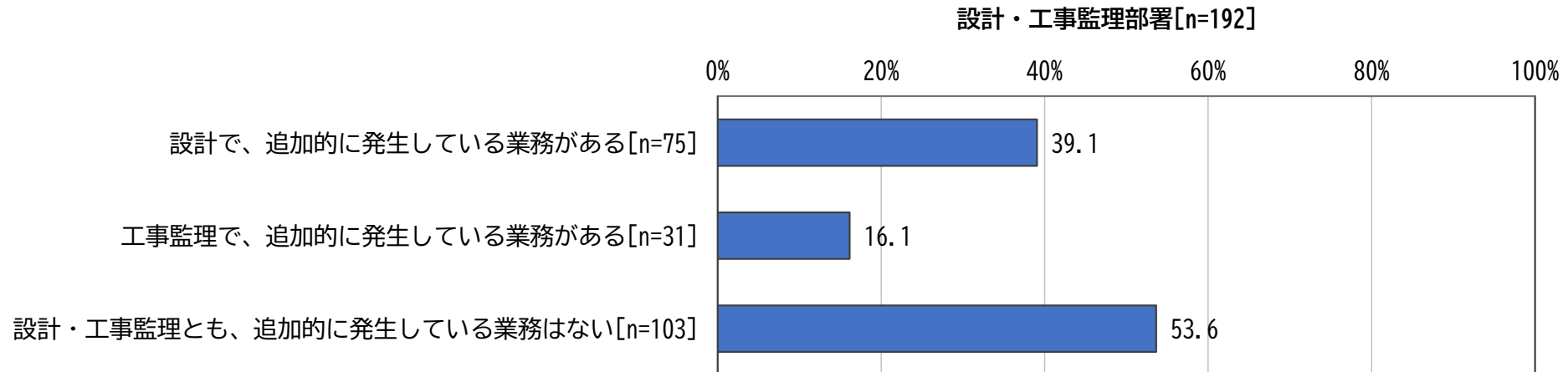
・建築確認申請へのBIM活用としては「所属部署で建築確認申請業務を行っているが、BIMを活用した経験はない」の回答が最も多い。

Q39:Q38で「1.ある」を選択した場合の具体的な活用方法(複数回答/%)



・建築確認申請のBIMの具体的な活用方法としては「BIMモデルから取出した図面を確認申請図として活用」の回答が最も多い。

Q40:所属部署で実施した設計・工事監理において、設計に関する標準業務・工事監理に関する標準業務・その他の標準業務以外に、BIM活用により追加的に発生している業務はあるか(複数回答/%)



- ・設計で、追加的に発生している業務がある部署は、39.1%。
- ・施工管理で、追加的に発生している業務がある部署は、16.1%。
- ・設計・施工管理とも、追加的に発生している業務がない部署は、53.6%。

集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

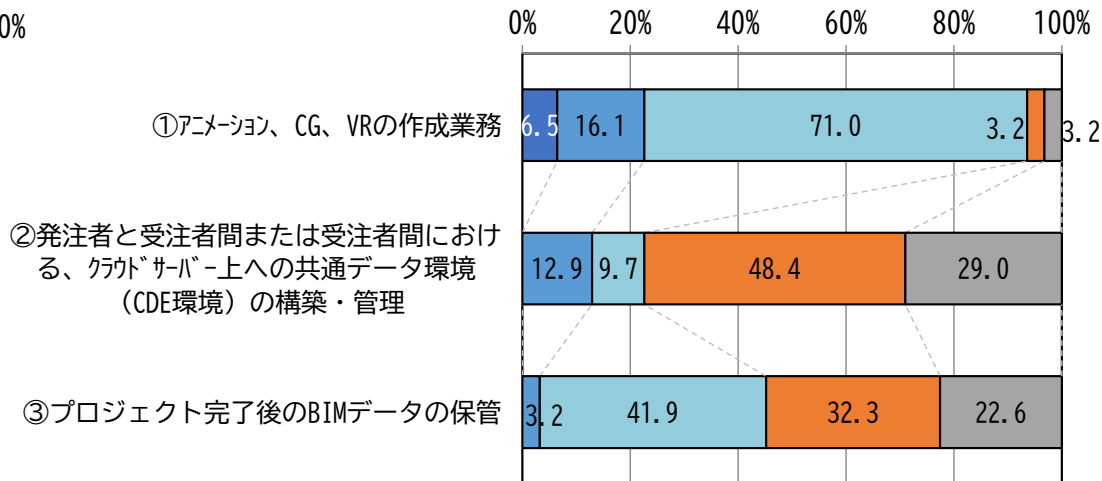
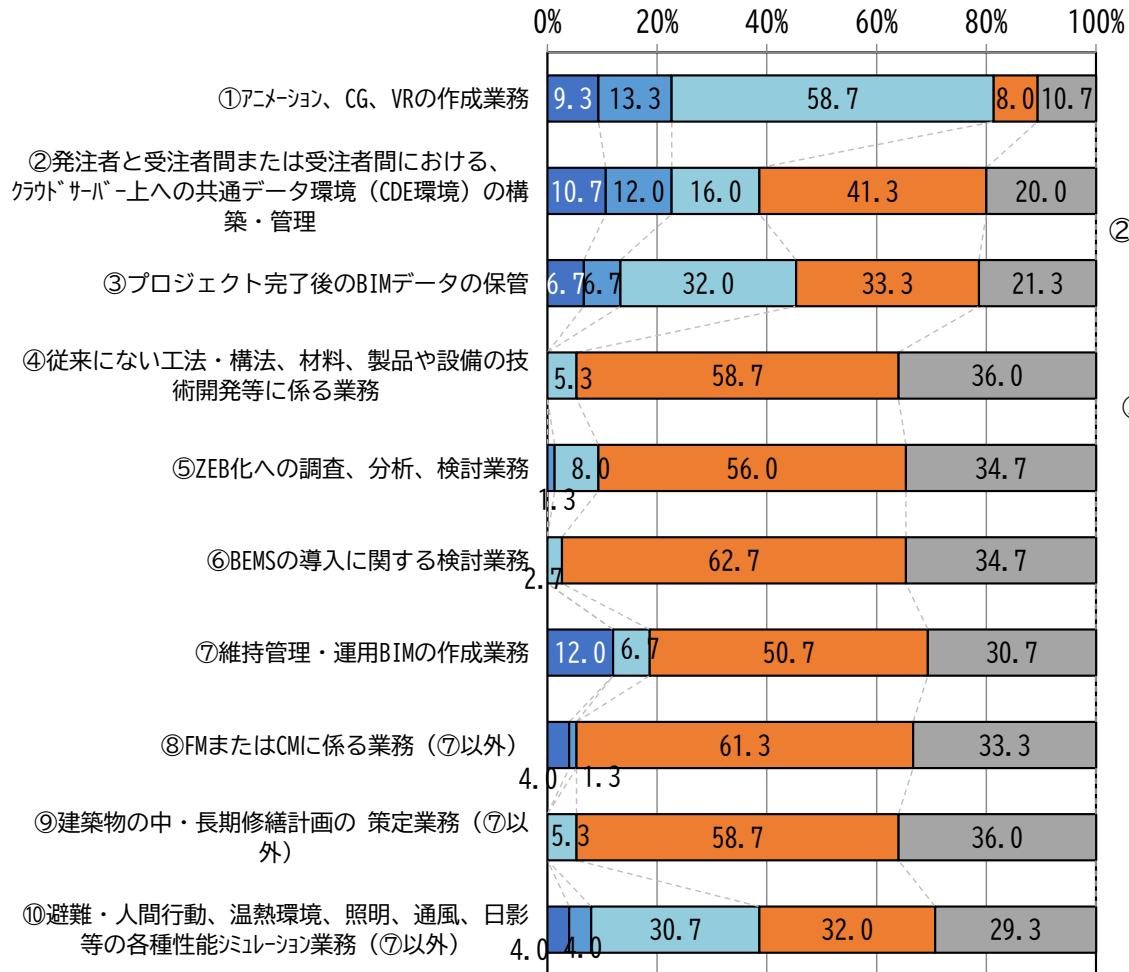
建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R4年12月 国土交通省調べ)

Q41:Q40で「1.設計で、追加的に発生している業務がある」を選択した場合のBIM活用状況(単一回答/%)

Q42:Q40で「2.工事監理で、追加的に発生している業務がある」を選択した場合のBIM活用状況(単一回答/%)

設計で追加発生業務あり[n=75]

工事監理で追加発生業務あり[n=31]

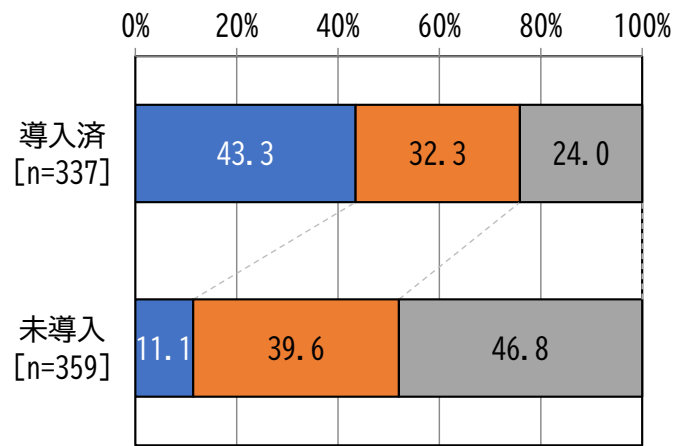


- 「BIMを活用して実施すること」が契約事項に含まれているため、BIMを活用して実施
- 契約事項には含まれていないが、BIM活用を発注者から求められ、BIMを活用して実施
- 契約事項・発注者からの指示にはないが、受注者の判断で、BIMを活用して実施
- BIMを活用して実施していない
- 不明
- 回答なし

- ・ 設計について、契約事項に含まれるためBIMを活用しているのは「維持管理・運用BIMの作成」が最も多い。発注者に求められて、また受注者の判断でBIM活用しているのは「アニメーション・CG等の作成」が最も多い。
- ・ 工事監理については、「アニメーション・CG等の作成」が最も多い。

Q35,QII-4:
国土交通省の「建築BIM推進会議」の
取組とwebサイトについて
(単一回答/%)

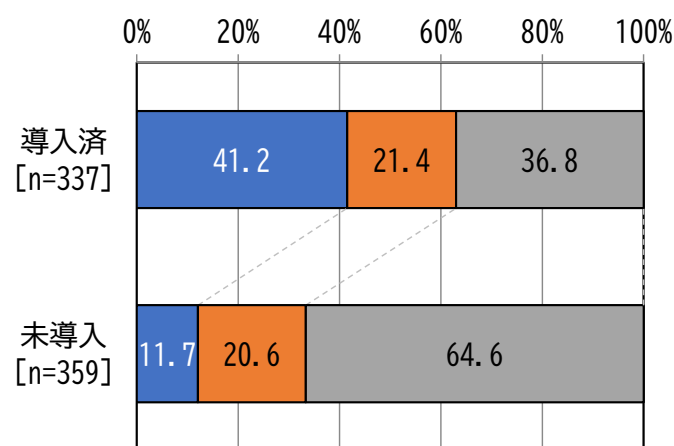
全体[n=696]



- 会議があることを知り、webサイトを見たことがある
- 会議があることを知っているが、webサイトは見たことがない
- 会議があることを知らず、webサイトを見たことがない

Q36 ,QII-5:
「建築BIMの将来像と工程表」について
(単一回答/%)

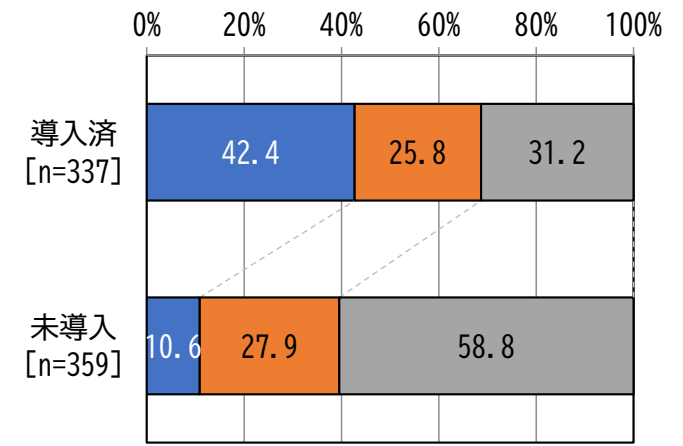
全体[n=696]



- 「建築BIMの将来像と工程表」があることを知り、読んだことがある
- 「建築BIMの将来像と工程表」があることを知っているが、読んだことがない
- 「建築BIMの将来像と工程表」があることを知らず、読んだことがない

Q37,QII-6:
「建築分野におけるBIMの標準ワーク
フローとその活用方策に関するガイド
ライン(第2版)」について
(単一回答/%)

全体[n=696]



- ガイドラインがあることを知り、読んだことがある
- ガイドラインがあることを知っているが、読んだことがない
- ガイドラインがあることを知らず、読んだことがない

・導入済の部署の方が未導入の部署より推進会議、将来像と工程表、BIMガイドラインについて知り、読んだことがある割合が高い。